岡 崎 市 市 民 意 識 調 査

報　告　書

平成 19 年３月

岡　崎　市

目次

Ⅰ　調査の概要 ..... - 2 -

Ⅱ　調査結果 ..... - 5 -

A　岡崎市のまちについて ..... - 5 -

B　市の取り組みに対する満足度・重要度について ..... - 24 -

C　今後の公共サービスのあり方について ..... - 39 -

D　市民参加のまちづくりについて ..... - 48 -

E　市全体の環境や交通について ..... - 58 -

F　居住地域のまちづくりについて ..... - 70 -

G　自由回答 ..... - 78 -

参考：調査票 ..... - 82 -

Ⅰ　調査の概要

調査内容

・調査対象

20 歳以上の岡崎市民 5,000 人

（住民基本台帳から無作為に抽出）

・調査方法

郵送による配布・回収

・調査期間

平成 18 年 10 月 5 日から平成 18 年 10 月 22 日

・回収状況

配布数 5,000　回収票数 2,867　　回収率 57.3%

・調査結果の見かた

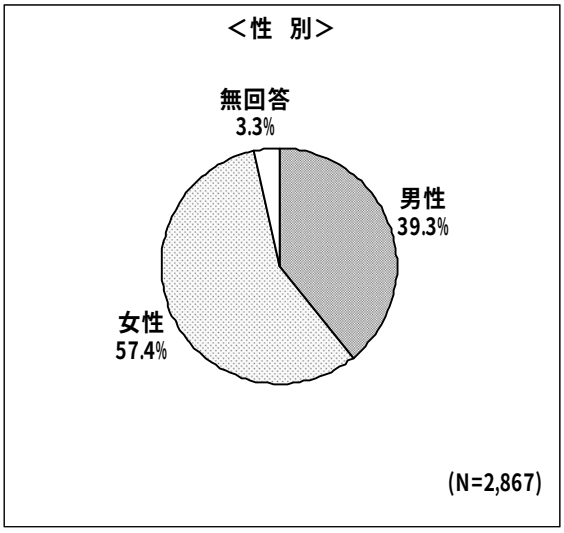
（１）　回答結果について、比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第２位を四捨五入して算出した。なお、各回答の合計が 100%にならない場合は、無回答（無回答がない場合は「分からない」）の値を調整している。

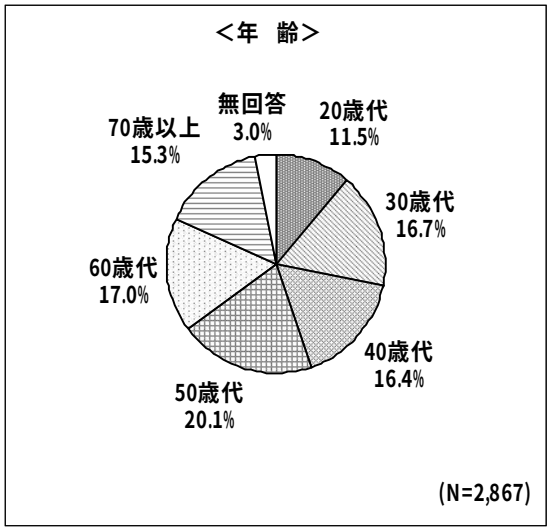
（２）　基数となるべき実数は、N として掲載した。すべての比率は、N を 100%として算出している。

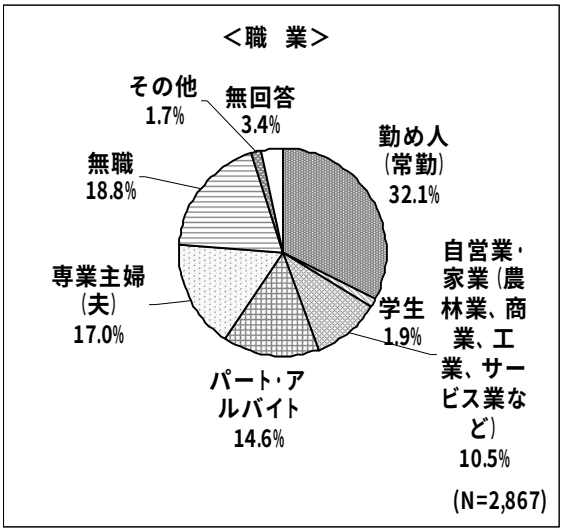
（３）　複数回答が可能な設問では、比率算出の基数は回答者数（票数）とし、その項目を選択した人の回答者数に対する比率を算出している。そのため、各項目の比率を合計すると 100%を超える。

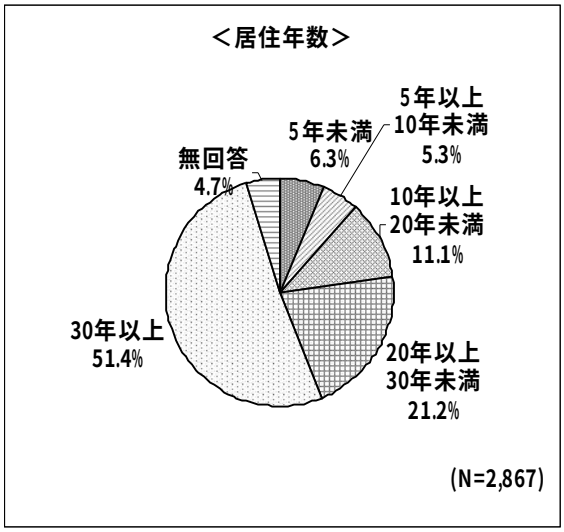
（４）　各設問に対する結果レポートは、回答者の属性（居住地区、年齢）によるクロス集計結果及び前回（平成１４年実施）、前々回（平成１０年実施）調査結果との比較について記載を行っている。

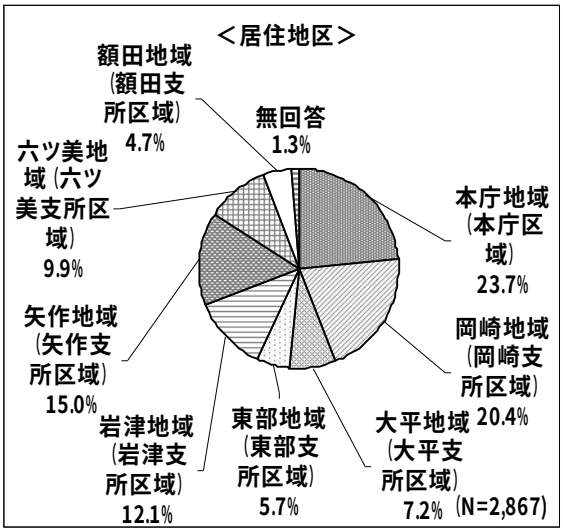
・回答者の属性


＜性　別＞
無回答
3.3%
男性
39.3%
女性
57.4%
(N=2,867)


＜年　齢＞
無回答
3.0%
20歳代
11.5%
30歳代
16.7%
40歳代
16.4%
50歳代
20.1%
60歳代
17.0%
70歳以上
15.3%
(N=2,867)


＜職　業＞
その他
1.7%
無回答
3.4%
勤め人
(常勤)
32.1%
無職
18.8%
自営業・
家業(農
林業、商
業、工
業、サー
ビス業な
ど)
10.5%
専業主婦
(夫)
17.0%
学生
1.9%
パート・ア
ルバイト
14.6%
(N=2,867)


＜居住年数＞
5年以上
10年未満
5.3%
5年未満
6.3%
無回答
4.7%
10年以上
20年未満
11.1%
30年以上
51.4%
20年以上
30年未満
21.2%
(N=2,867)


＜居住地区＞
額田地域
(額田支
所区域)
4.7%
無回答
1.3%
六ツ美地
域(六ツ
美支所区
域)
9.9%
本庁地域
(本庁区
域)
23.7%
矢作地域
(矢作支
所区域)
15.0%
岡崎地域
(岡崎支
所区域)
20.4%
岩津地域
(岩津支
所区域)
12.1%
東部地域
(東部支
所区域)
5.7%
大平地域
(大平支
所区域)
7.2%
(N=2,867)

調査項目

A　岡崎のまちについて

・岡崎市の住みやすさ（問１）

・居住継続意向（問２）

・市政関心度（問３）

B　市の取り組みについて

・市の行政施策の満足度・重要度（問４）

C　今後の公共サービスのあり方について

・「権利」と「義務」（問５）

・民間委託（問６）

・市政との関わりについて、関心ある活動（問７）

D　市政参加のまちづくりについて

・「市民参加によるまちづくりの取り組み」での過去 1 年間での参加の有無（問８－１）

・市民活動活性化のために重要な取り組み（問８－２）

・市民活動活性化のために重要な行政支援（問９）

E　市全体の環境や交通

・美しい都市をめざすために重要な取り組み（問１０）

・交通機関の利用頻度（問１１）

・主要駅において重要な交通環境の整備・拡充項目（問１２）

F　居住地域のまちづくりについて

・居住地域（問１３）

・居住地域におけるまちづくりの満足度・重要度（問１４）

・地域の資源や特性を活かしたまちづくりでの重要項目（問１５）

G　属性

・性別（問１６）

・年齢（問１７）

・職業（問１８）

・居住年数（問１９）

・家族構成（問２０）

H　自由回答

・将来に残したい、伸ばしていきたい「自然・歴史の地域資源」（問２１）

・岡崎市の行政施策についての意見・提案（問２２）

Ⅱ　調査結果

Ａ　岡崎市のまちについて

問１　岡崎市の住みやすさ

岡崎市の住みやすさについてうかがったところ、「まあ住みよい」と答えた人が 49.4%と最も多く、「住みよい」と「まあ住みよい」を合わせると 80.2%の市民が岡崎市の生活に満足している。

全体の傾向として生活への満足度水準は高い状態が維持され、住みにくさを感じている市民は少数に抑えられているといえる。

前回（平成 14 年）、前々回（平成 10 年）と合わせた 3 時点の経年変化をみると、「住みよい」と「まあ住みよい」を合わせた肯定的意見は 80%以上を維持している。一方で、「住みにくい」「やや住みにくい」を合わせた否定的意見は、平成 10 年から平成 14 年にかけて 6.8%から 19.4%と大幅に増加したが、平成 18 年は 16.6%とやや減少した。ただし、平成 10 年から平成 14 年の変化は、平成 10 年の「どちらともいえない」の選択肢がなくなったことで、平成 14 年に「やや住みにくい」が増加したと考えられる。

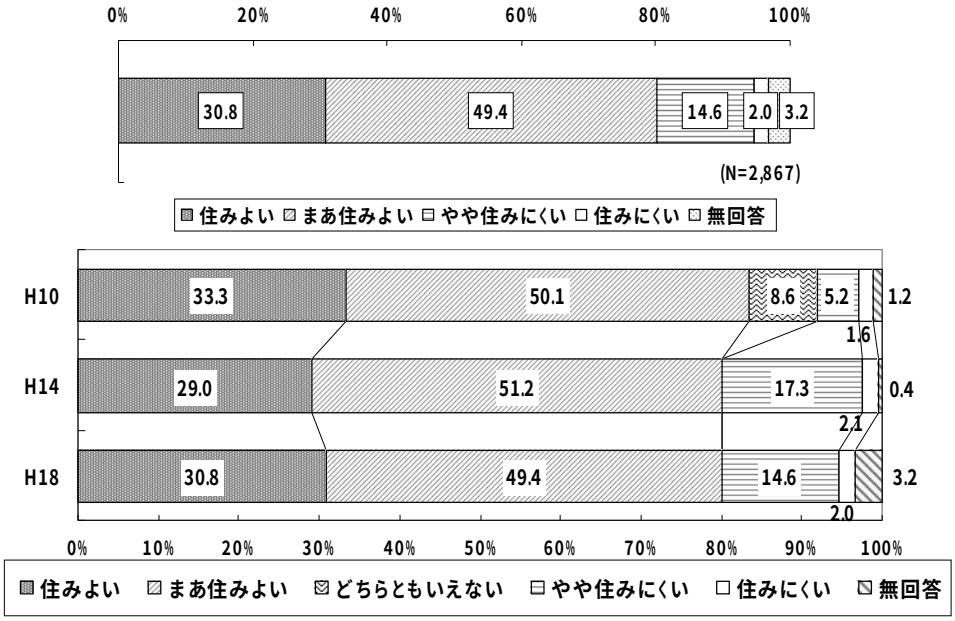
問１
あなたは、岡崎市を住みよいまちだと思いますか。次の中から１つ選び、その番号を○で囲んでください。

表１　岡崎市の住みやすさ

（単位：人、%）

	全体	住みよい	まあ住みよい	やや住みにくい	住みにくい	無回答
回答者数	2,867	883	1,415	418	56	95
割合	100	30.8	49.4	14.6	2.0	3.2

図１　岡崎市の住みやすさ（上段：単純、下段：経年変化）

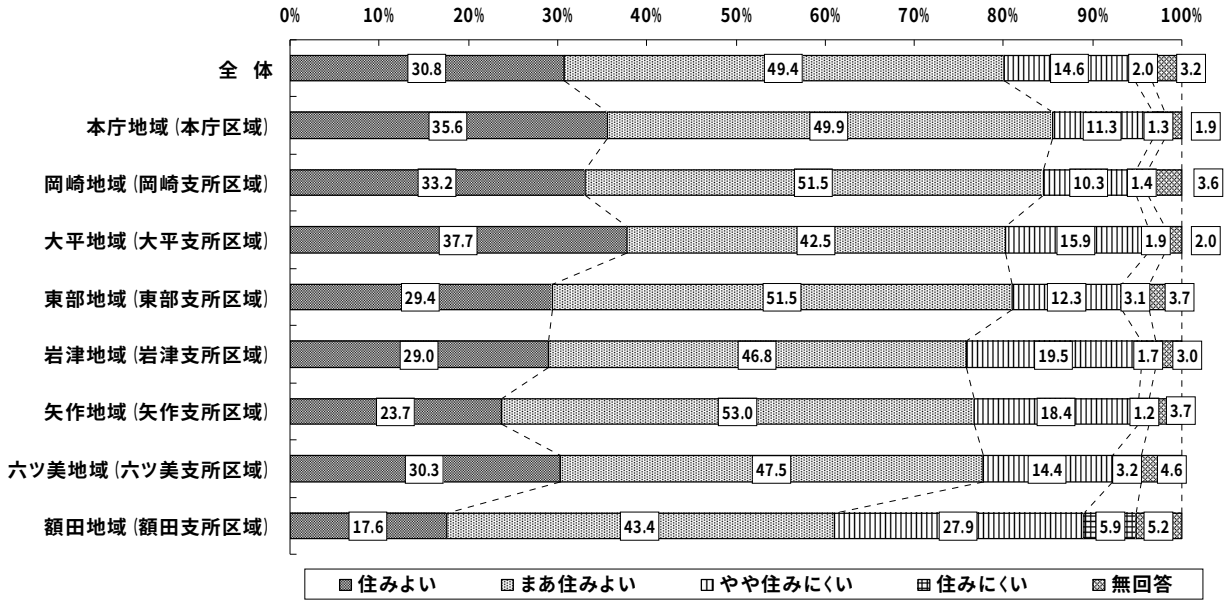


注）平成 14 年調査、平成 18 年調査では、「どちらともいえない」の選択肢が設定されていない。

＜地域別＞

地域別にみると、「住みよい」と答えた人の割合が高いのは大平地域（37.7%）、本庁地域（35.6%）で、「住みにくい」と答えた人の割合が高いのは額田地域（5.9%）となっている。

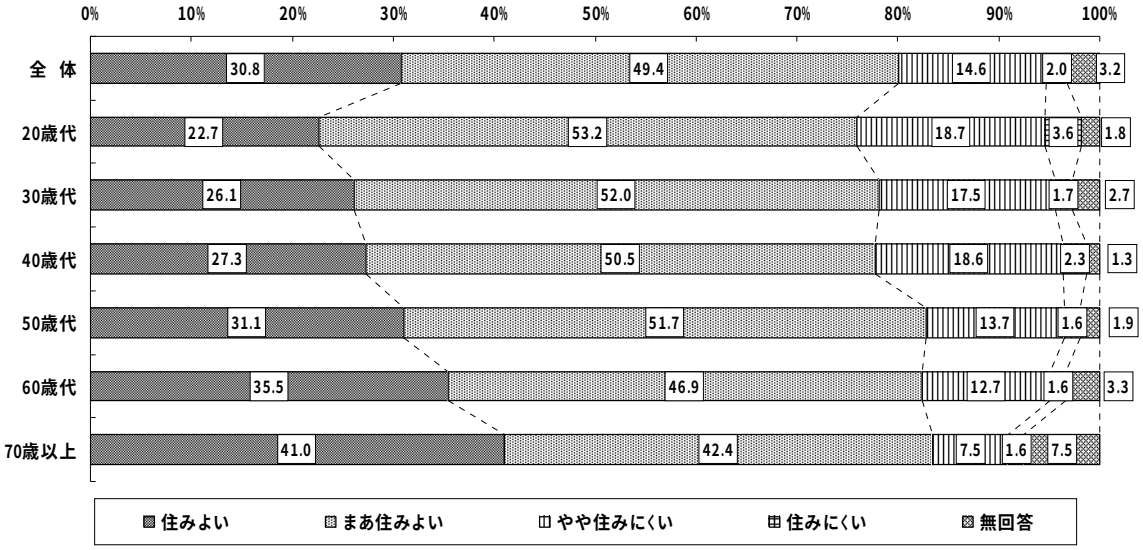
図１a　岡崎市の住みやすさ（地域別）



＜年齢別＞

年齢別にみると、「住みよい」と答えた人の割合は、年齢が高いほど高い傾向が現れており、20 歳代では 22.7%であるのに対して、70 歳以上では 41.0%となっている。

図１b　岡崎市の住みやすさ（年齢別）



問１-１　住みよいと思う理由

問１で「住みよい」、「まあ住みよい」と答えた人に住みよいと思う理由をうかがったところ、「買い物が便利である」との回答が 49.5%と最も多く、次いで「緑や自然環境が豊かである」との回答が多くなっている（45.4%）。

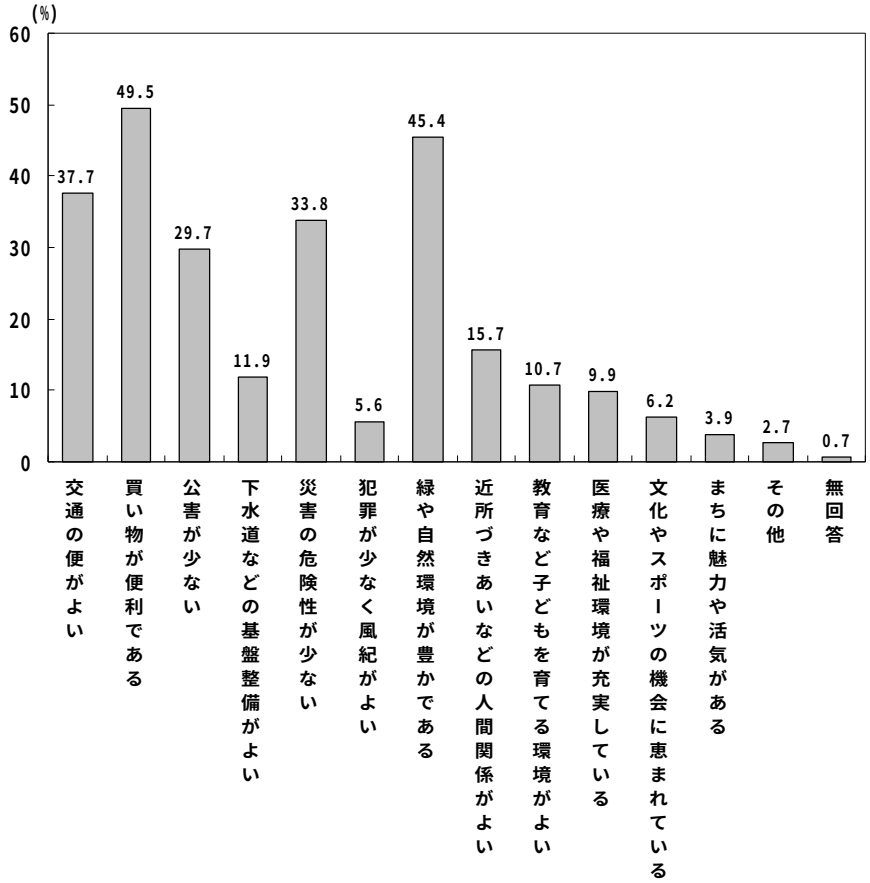
問１－１（問１で「住みよい」、「まあ住みよい」と回答した方のみ）
それはどういった理由からですか。次の中から主なものを最大 3 つまで選び、その番号を○で囲んでください。

表１－１　住みよいと思う理由

（単位：人、%）

	全体	交通の便がよい	買い物が便利である	公害が少ない	下水道などの基盤整備がよい	災害の危険性が少ない	犯罪が少なく風紀がよい	緑や自然環境が豊かである	近所づきあいなどの人間関係がよい	教育など子どもを育てる環境がよい	医療や福祉環境が充実している	文化やスポーツの機会に恵まれている	まちに魅力や活気がある	その他	無回答
回答者数	2,298	866	1,137	683	274	777	129	1,043	361	247	228	142	89	63	15
割合	100	37.7	49.5	29.7	11.9	33.8	5.6	45.4	15.7	10.7	9.9	6.2	3.9	2.7	0.7

図１－１　住みよいと思う理由



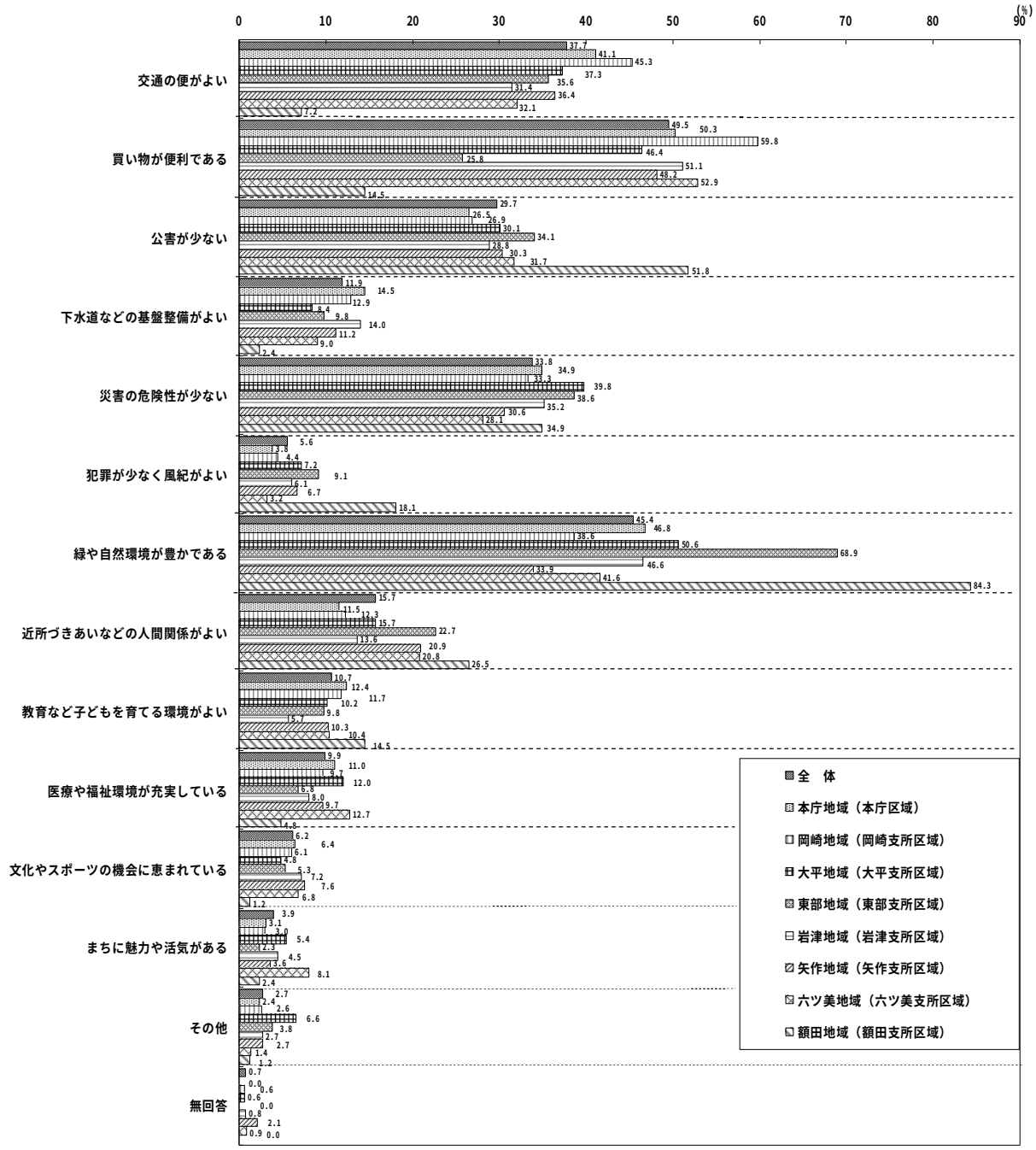
＜地域別＞

地域別にみると、全体で最も多かった「買い物が便利である」と答えた人は岡崎地域で多く、59.8%となっている。一方で、額田地域、東部地域においては、それぞれ 14.5%、25.8%と、全体の回答の 2 分の 1 程度から 2 分の 1 以下となっている。

全体で次に多かった「緑や自然環境が豊かである」と答えた人は額田地域で 84.3%、東部地域で 68.9%と特に多くなっている。

また、「交通の便がよい」と答えた人は、全体が 4 割弱であるのに対し、額田地域では 7.2%と極端に低くなっている。一方で、「公害が少ない」との回答は額田地域だけが突出しており、5 割強となっている。

図１－１a　住みよいと思う理由（地域別）



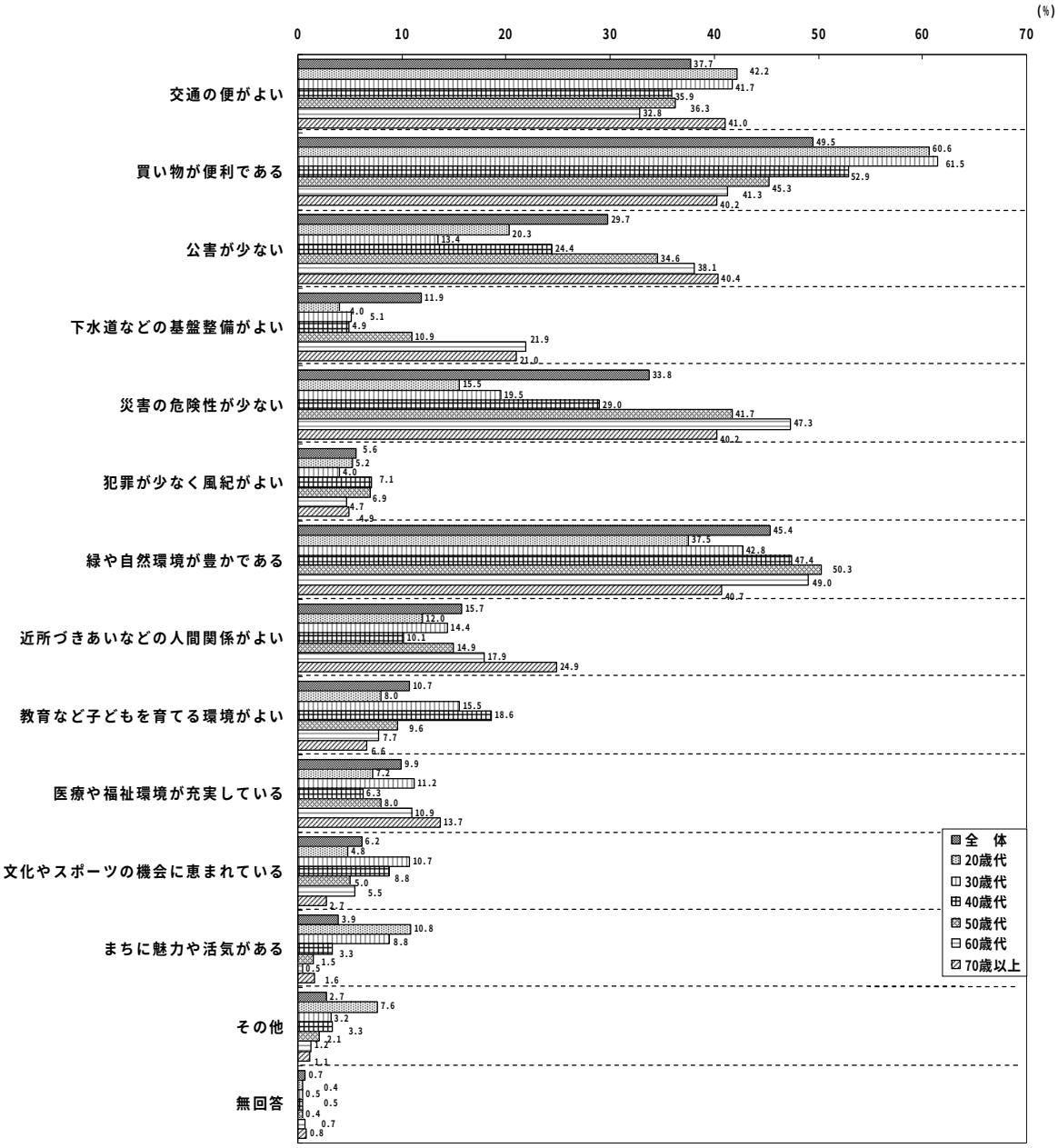
＜年齢別＞

年齢別にみると、全体で「買い物が便利である」と答えた人は 30 歳代、20 歳代で多く、それぞれ 61.5%、60.6%と 6 割に達している。

全体で次に多かった「緑や自然環境が豊かである」と答えた人は 50 歳代、60 歳代で多く、それぞれ 50.3%、49.0%となっている。

「買い物が便利である」「交通の便がよい」との回答は若いほど多くなっているのに対し、「公害が少ない」「災害の危険性が少ない」や「近所づきあいなどの人間関係がよい」との回答は年齢が高くなるほど回答が多くなっている。また、「教育など子どもを育てる環境がよい」との回答は、30～40 歳代での指摘が高く、40 歳代で 18.6%となっており、それより高齢になるほど回答が少なくなっている。

図１－１b　住みよいと思う理由（年齢別）



問１-２　住みにくいと思う理由

問１で「住みにくい」「やや住みにくい」と答えた人に、住みにくいと思う理由についてうかがったところ、「交通の便が悪い」との回答が約 6 割（59.1%）となっており、他の理由の約 2 倍と大差をつけている。問１－１住みよいと思う理由では、「交通の便がよい」との回答が 3 番目に位置していることから、居住地域や年齢等の属性、自家用車の所有の有無等により、二分されていると考えられる。次いで、「まちに魅力や活気がない」（32.9%）、「犯罪に対する不安が大きい」（30.8%）が多くなっている。

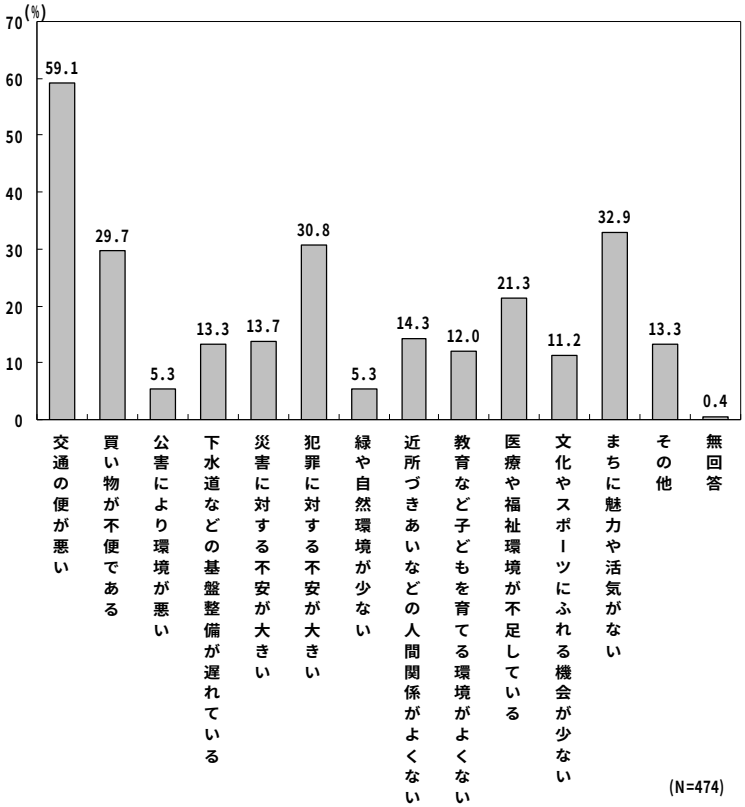
問１－２（問１で「やや住みにくい」、「住みにくい」と回答した方のみ）
それはどういった理由からですか。次の中から主なものを最大 3 つまで選び、その番号を○で囲んでください。

表１－２　住みにくいと思う理由

（単位：人、%）

	全体	交通の便が悪い	買い物が不便である	公害により環境が悪い	下水道などの基盤整備が遅れている	災害に対する不安が大きい	犯罪に対する不安が大きい	緑や自然環境が少ない	近所づきあいなどの人間関係がよくない	教育など子どもを育てる環境がよくない	医療や福祉環境が不足している	文化やスポーツにふれる機会が少ない	まちに魅力や活気がない	その他	無回答
回答者数	474	280	141	25	63	65	146	25	68	57	101	53	156	63	2
割合	100	59.1	29.7	5.3	13.3	13.7	30.8	5.3	14.3	12.0	21.3	11.2	32.9	13.3	0.4

図１－２　住みにくいと思う理由



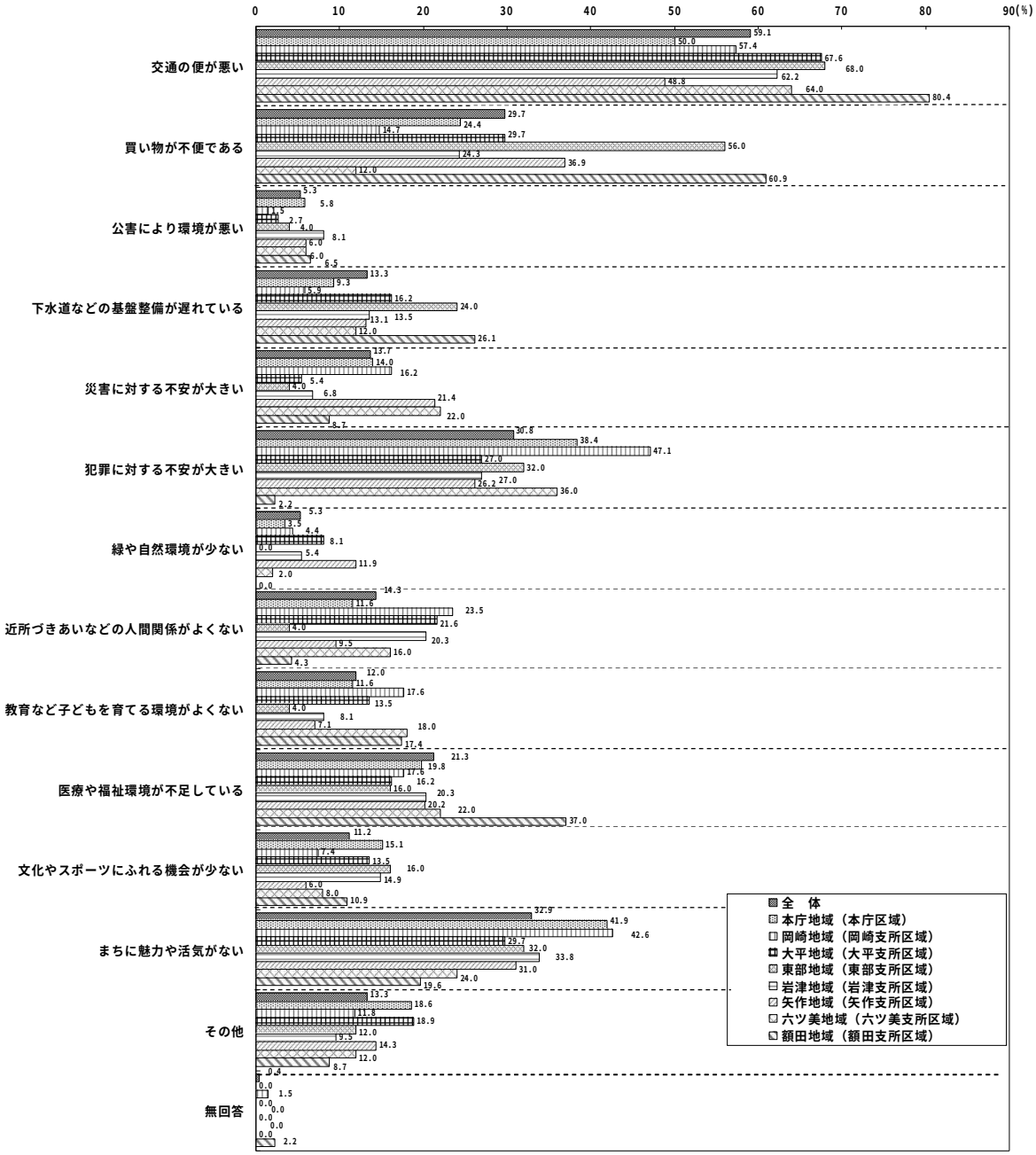
＜地域別＞

地域別にみると、「交通の便が悪い」との答えが多かったのは額田地域で、80.4%となっている。これは額田地域が合併により岡崎市となり、岡崎市中心部へ行く機会が増加したものの、公共交通機関および幹線道路へのアクセスが悪いことが要因となっていると考えられる。その他の地域でも、「交通の便が悪い」との答えは、他の理由に勝っている。

「まちに魅力や活気がない」、「犯罪に対する不安が大きい」との答えが多かったのは、岡崎地域（42.6%、47.1%）、本庁地域（41.9%、38.4%）である。市の中心部に近い地域で「まちに魅力や活気がない」、「犯罪に対する不安が大きい」と考えている人が多いことが読み取れる。

また、「買い物が不便である」との回答が、額田地域（60.9%）、東部地域（56.0%）で突出している。さらに、額田地域では「医療や福祉環境が不足している」との回答が 37.0%と他地域と比して 15 ポイント以上高くなっている。

図１－２a　住みにくいと思う理由（地域別）



＜年齢別＞

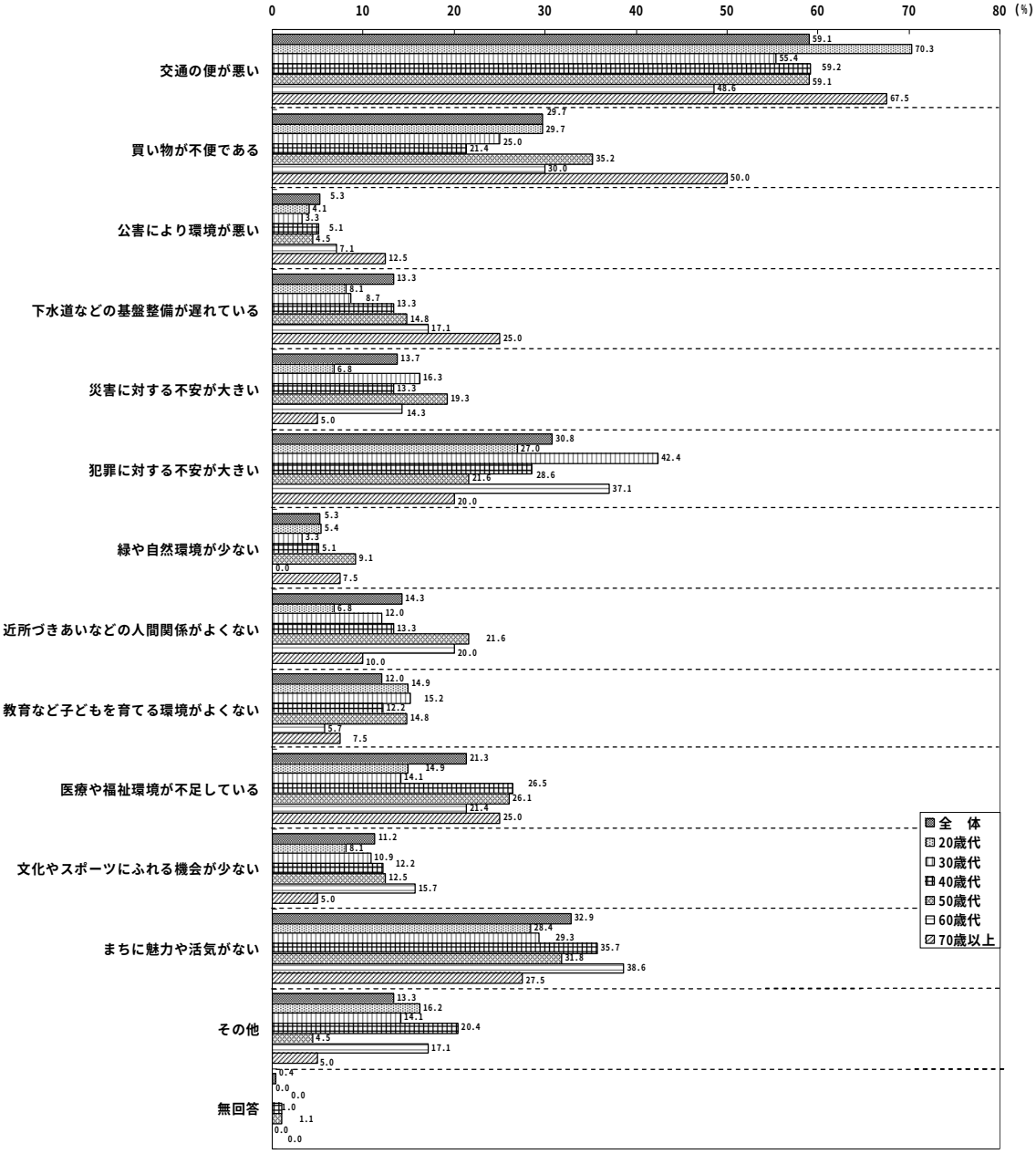
年齢別にみると、「交通の便が悪い」と答えた人が多かったのは 20 歳代と 70 歳以上で、それぞれ 70.3%、67.5%となっている。これは若年者層は公共交通機関の利用率が比較的高く、また高齢者層は自家用車利用率が比較的低く、公共交通機関の利便性を求めるためと考えられる。他の年代層でも約 6 割（60 歳代のみ約 5 割）となっている。

次に「まちに魅力や活気がない」と答えた人が多かったのは 60 歳代で、4 割弱（38.6%）となっている。

「犯罪に対する不安が大きい」のは、30 歳代で強い反応を示しており、4 割を超えている（42.4%）。次に多いのは 60 歳代で 37.1%となっている。30 歳代が「犯罪に対する不安が大きい」と答えているのは、小さな子どもを持つ親が多いためと考えられる。

「買い物が不便である」との回答は、全体で 3 割前後となっているところ、70 歳代以上で 5 割に達している。

図１－２b　住みにくいと思う理由（年齢別）



問２　居住継続意向

今後の居住継続に対する意向をうかがったところ、「ずっと住んでいたい」との回答が 62.1%と多く、「しばらくは住むつもりだ」（22.2%）、「市内の他の地域に移りたい」（2.7%）を含めて、9 割近くの市民が引き続き岡崎市に住み続けたいと回答している。

前回（平成 14 年）、前々回（平成 10 年）と合わせた 3 時点の経年変化をみると、「ずっと住んでいたい」「しばらくは住むつもりだ」を合わせた市内居住に対する肯定的意見は平成 10 年（75.3%）から平成 14 年（83.1%）、平成 18 年（84.3%）へかけて増加している。

一方で、「市外に移りたい」という市内居住に対する否定的意見は平成 10 年（4.8%）から平成 14 年（2.8%）、平成 18 年（2.2%）へかけて減少している。

以上より、岡崎市に対する居住継続意向は毎年高まってきているといえる。

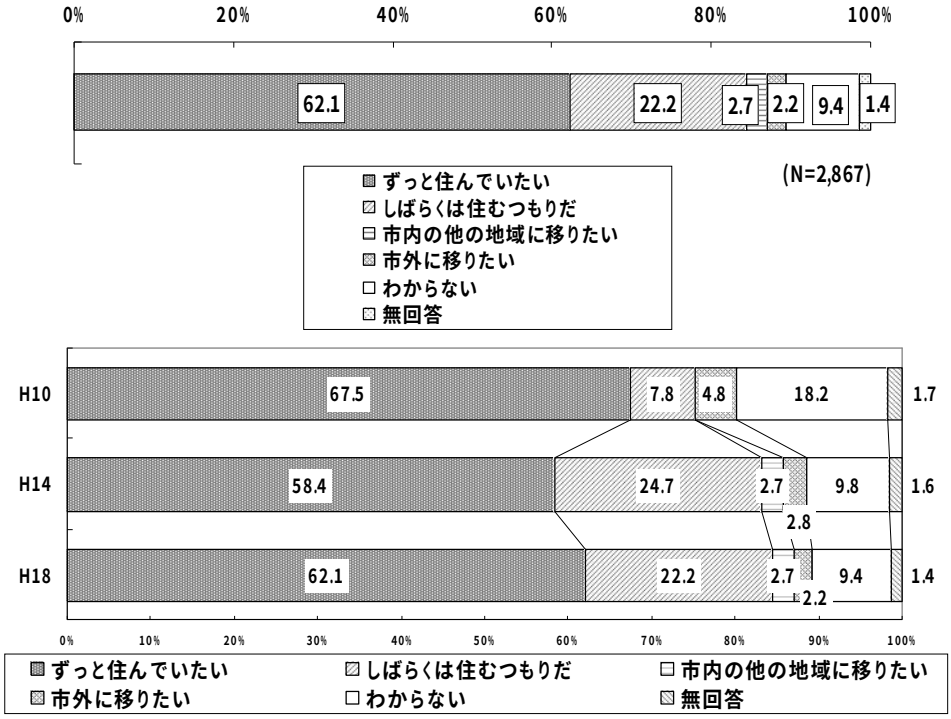
問２
あなたは今後も岡崎のまちに住み続けたいと思いますか。次の中から 1 つ選び、その番号を○で囲んでください。

表２　居住継続意向

（単位：人、%）

	全体	ずっと住んでいたい	しばらくは住むつもりだ	市内の他の地域に移りたい	市外に移りたい	わからない	無回答
回答者数	2,867	1,781	637	77	64	270	38
割合	100	62.1	22.2	2.7	2.2	9.4	1.4

図２　居住継続意向（上段：単純、下段：経年変化）



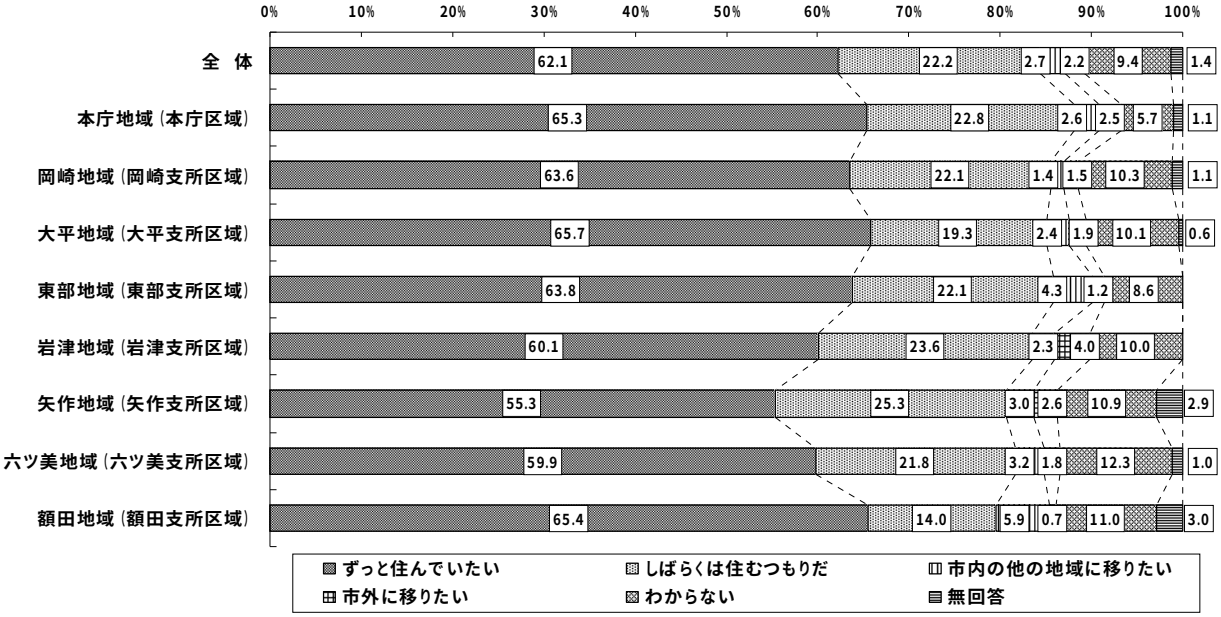
注）平成 10 年の調査においては「市内の他の地域に移りたい」との選択肢を設けていない。

＜地域別＞

地域別にみると、「ずっと住んでいたい」と答えた人の割合が高いのは、大平地域（65.7%）、次いで額田地域（65.4%）となっているのに対し、最も低いのは矢作地域で 55.3%となっている。

一方で、「市外に移りたい」と答えた人の割合が他地域と比して高かったのは、岩津地域で 4.0%となっている。

図 2a　居住継続意向（地域別）

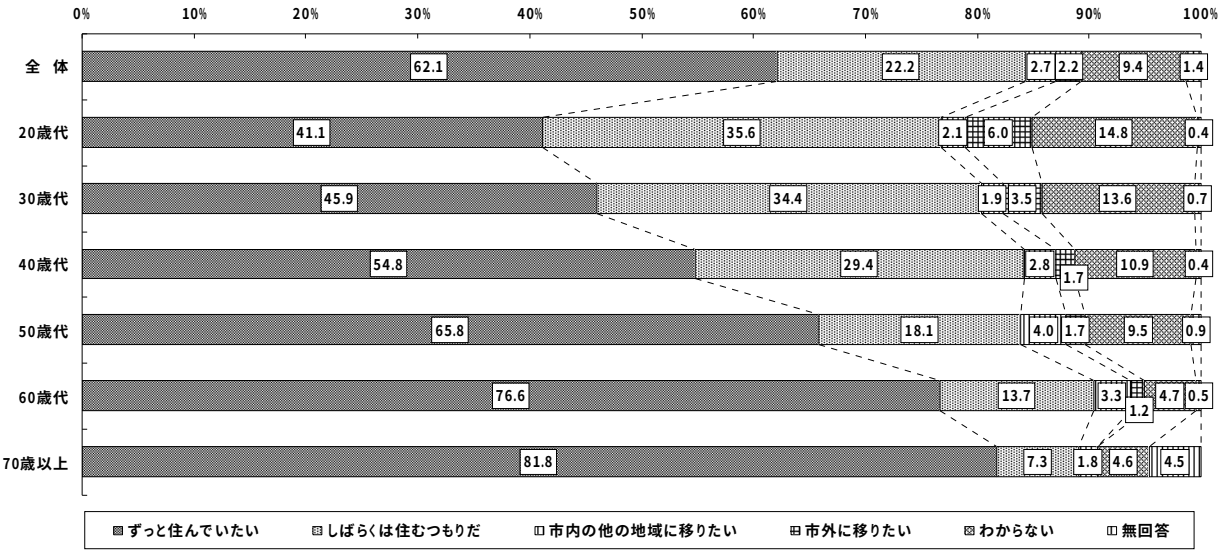


＜年齢別＞

年齢別にみると、「ずっと住んでいたい」との回答は、年齢が高くなるにつれ割合が高くなっており、70 歳以上では 81.8%となっているのに対し、20 歳代では 41.1%となっており、約 2 倍の差がみられる。

一方で、「市外に移りたい」と答えた人の割合は 20 歳代で 6.0%、30 歳代で 3.5%である。

図 2b　居住継続意向（年齢別）



問３　市政関心度

市政に対する関心度をうかがったところ、「ある程度関心がある」との回答が 54.8%と最も多く、「非常に関心がある」と合わせて 65.6%の市民が市政に関心を寄せていることが読み取れる。

前回（平成 14 年）、前々回（平成 10 年）と合わせた 3 時点の経年変化をみると、「非常に関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた市政に対する関心のある層は平成 10 年（73.0%）から平成 14 年（66.8%）、平成 18 年（65.6%）と漸減しているものの、概ね高水準にあるといえる。

一方で「まったく関心がない」「あまり関心がない」を合わせた市政に対して関心のない層は平成 10 年（24.5%）から平成 14 年（32.5%）にかけて大きく増加し、平成 18 年（31.5%）にかけて微減した。ただし「まったく関心がない」層は毎回増加し続けており、平成 18 年には平成 10 年の 2.5 倍以上となっている。

このことより、市政への市民の関心は概ね高水準ではあるものの、関心のない層も一定程度存在しているといえる。

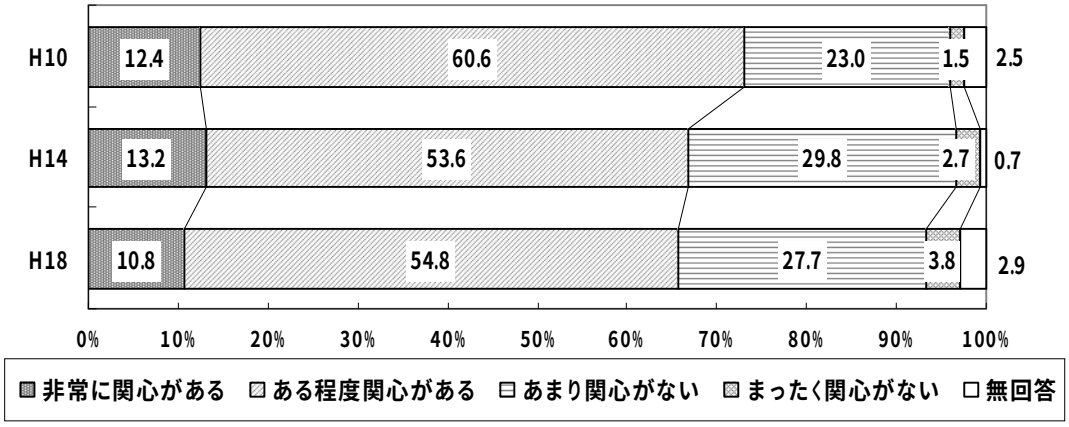
問３
あなたは岡崎市の市政に関心をお持ちですか。次の中から１つ選び、その番号を○で囲んでください。

表 3　市政関心度

（単位：人、%）

	全体	非常に関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	まったく関心がない	無回答
回答者数	2,867	310	1,571	795	108	83
割合	100	10.8	54.8	27.7	3.8	2.9

図 3　市政関心度（上段：単純、下段：経年変化）

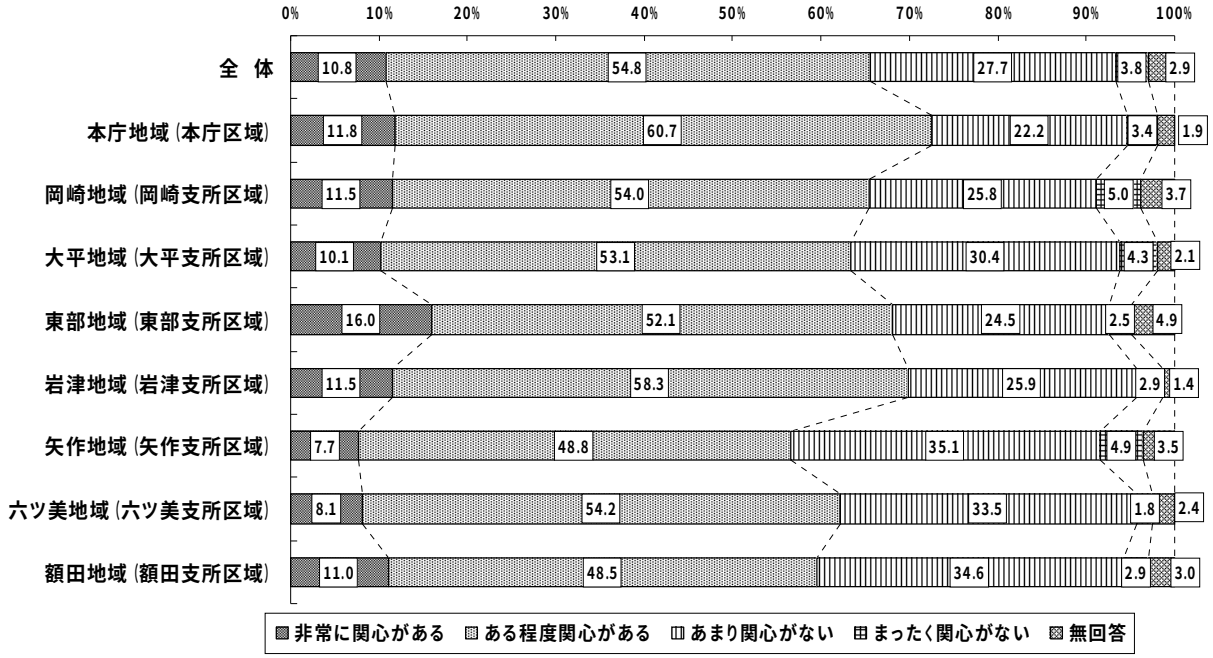


＜地域別＞

地域別にみると、「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」と答えた人を合わせると、本庁地域（72.5%）と岩津地域（69.8%）、東部地域（68.1%）の順で高くなっている。なお、東部地域では「非常に関心がある」との答えが 16.0%と最も高くなっている。

一方で、「まったく関心がない」との回答は、岡崎地域（5.0%）、矢作地域（4.9%）、大平地域（4.3%）で多くなっている。

図 3a　市政関心度（地域別）

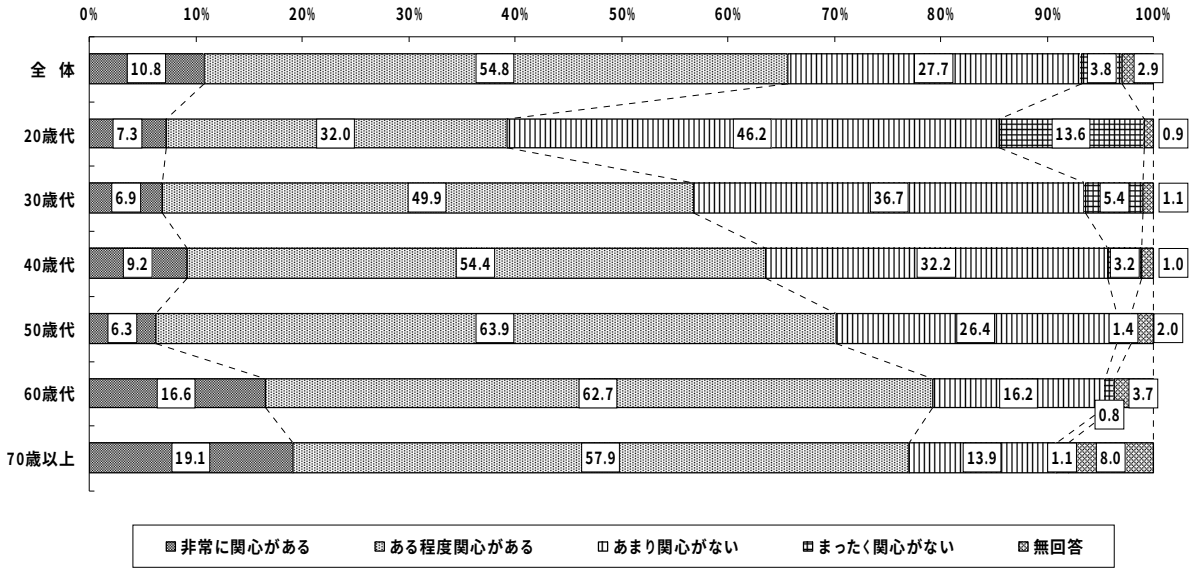


＜年齢別＞

年齢別にみると、「非常に関心がある」「ある程度関心がある」と答えた人は、年齢が高くなるにつれ割合が高くなっている。20 歳代は 39.3%であるが、50 歳代から 70 歳以上にかけては 7 割以上となっている。また、60 歳代、70 歳以上の年齢層では、「非常に関心がある」との回答の割合が、16.6%、19.1%と高い値を示している。

一方で「まったく関心がない」との回答の割合は 20 歳代で非常に高く 13.6%であり、全体（3.8%）の約 3.5 倍となっている。

図 3b　市政関心度（年齢別）



問３-１　市政に関心がある理由

市政に「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」と答えた人に関心がある理由をうかがったところ、「自分の暮らし向きに直接関係がある」（44.7%）との回答と、「自分の住む岡崎市をもっとよくしたい」（40.6%）との回答が大半を占めている。

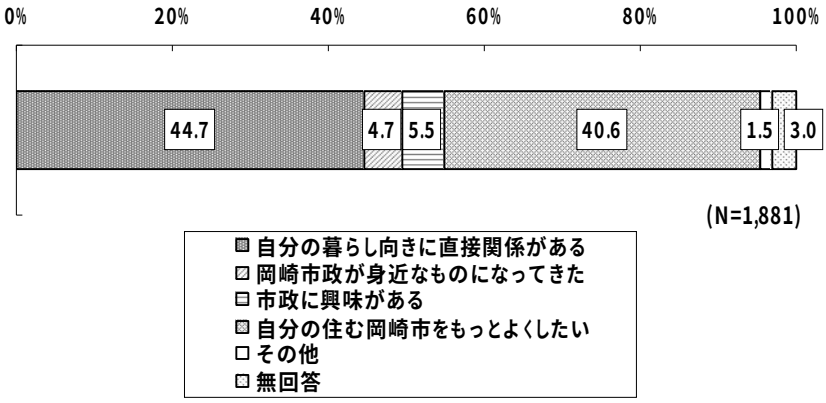
問３－１　（問３で「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」と回答した方のみ）
それはどういった理由からですか。次の中から主なものを１つ選び、その番号を○で囲んでください。

表 3－1　市政に関心がある理由

（単位：人、%）

	全体	自分の暮らし向きに直接関係がある	岡崎市政が身近なものになってきた	市政に興味がある	自分の住む岡崎市をもっとよくしたい	その他	無回答
回答者数	1,881	841	89	103	763	29	56
割　合	100	44.7	4.7	5.5	40.6	1.5	3.0

図 3－1　市政に関心がある理由

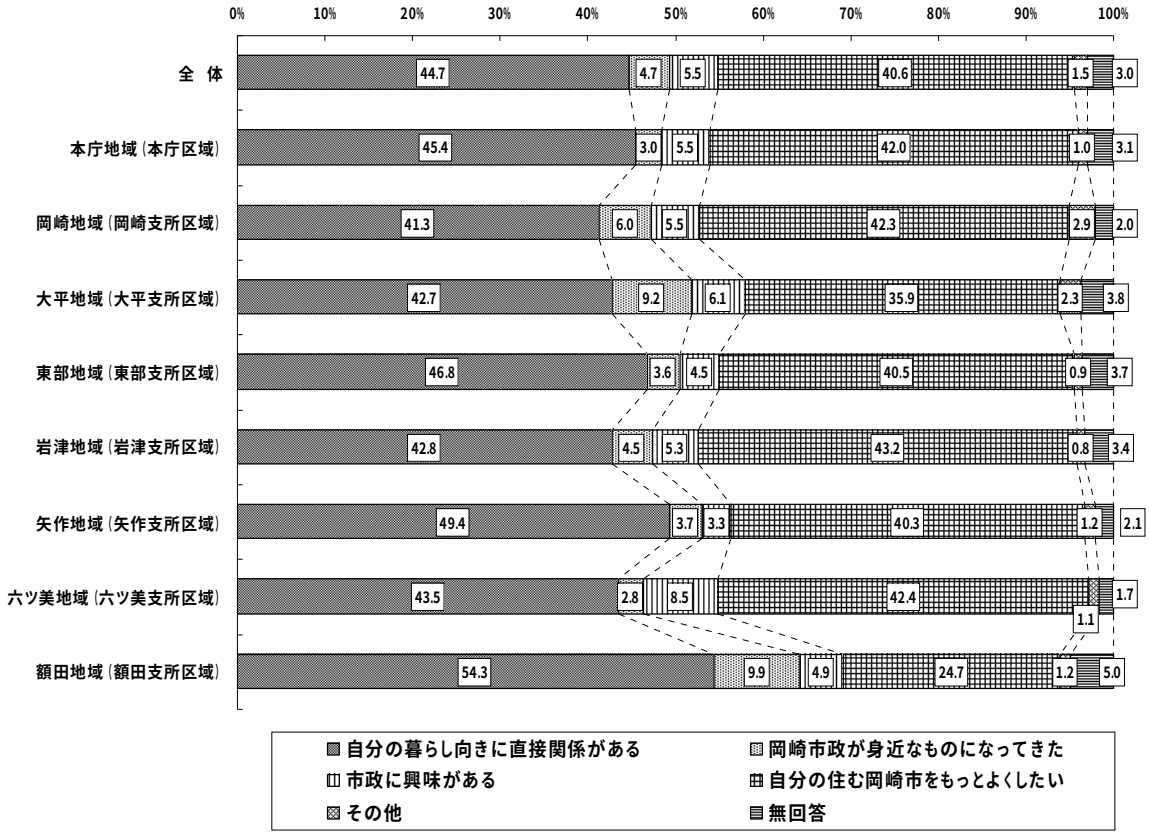


＜地域別＞

地域別にみると、「自分の暮らし向きに直接関係がある」と答えた人が多かったのは額田地域で、54.3%であり、唯一 50%を超えている。

次に、「自分の住む岡崎市をもっとよくしたい」と答えた人が多かったのは岩津地域で、43.2%であるが、六ツ美地域（42.4%）、岡崎地域（42.3%）、本庁地域（42.0%）でも同程度の回答割合となっている。一方で、額田地域においては 24.7%と低くなっている。

図 3－1a　市政に関心がある理由（地域別）



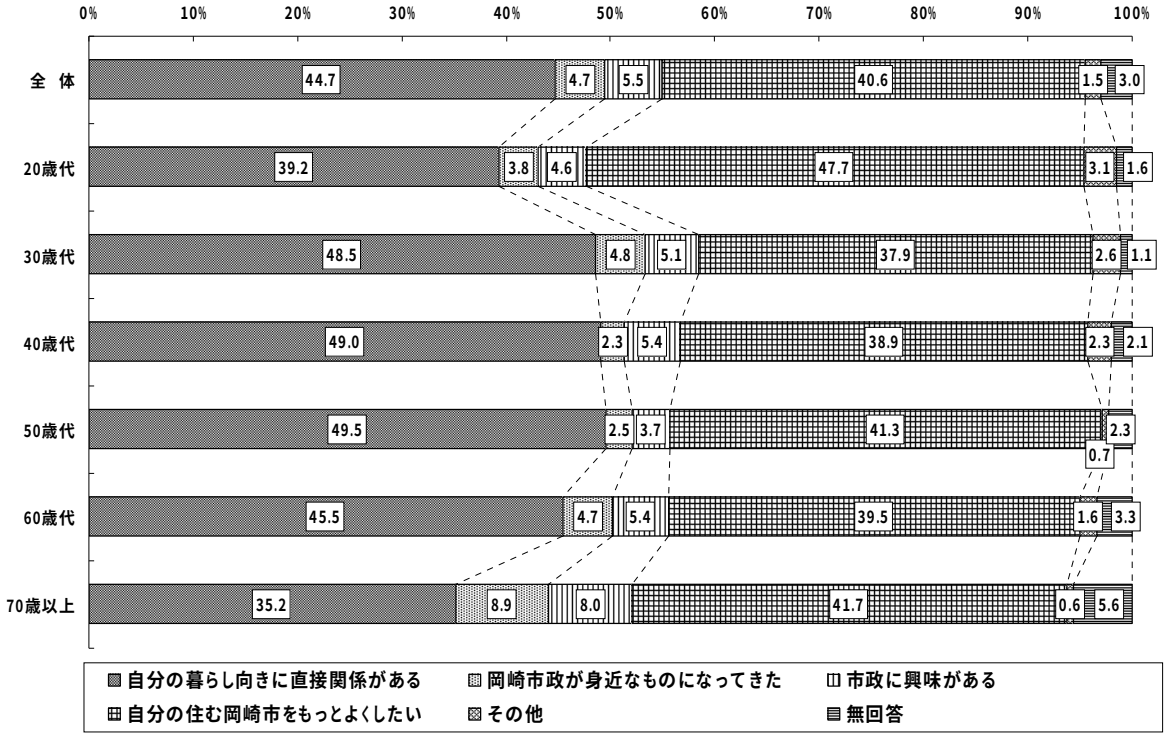
＜年齢別＞

年齢別にみると、30 歳代から 60 歳代にかけては、「自分の暮らし向きに直接関係がある」と答えた人の割合が 40%代後半となっている。

一方で、「自分の住む岡崎市をもっとよくしたい」と答えた人が 47.7%と最も高くなったのは 20 歳代である。50 歳代、70 歳以上も 4 割以上である。

また、「岡崎市政が身近なものになってきた」「市政に興味がある」との回答割合が他の年齢層と比して高いのは 70 歳以上で、それぞれ 8.9%、8.0%となっている。これらの回答は、特に 50 歳代において低くなっている。

図 3－1b　市政に関心がある理由（年齢別）



問３-２　市政に関心を持ってもらう施策

現時点で市政に関心を持っていない方に対し、市政に関心を持ってもらうための施策についてうかがったところ、「岡崎市をもっと魅力的なまちにする」との回答が 42.3%ともっとも多くなっており、他の選択肢に大差をつけている。次いで「いろいろなメディアを使って市政を PR する」（14.2%）が多くなっている。

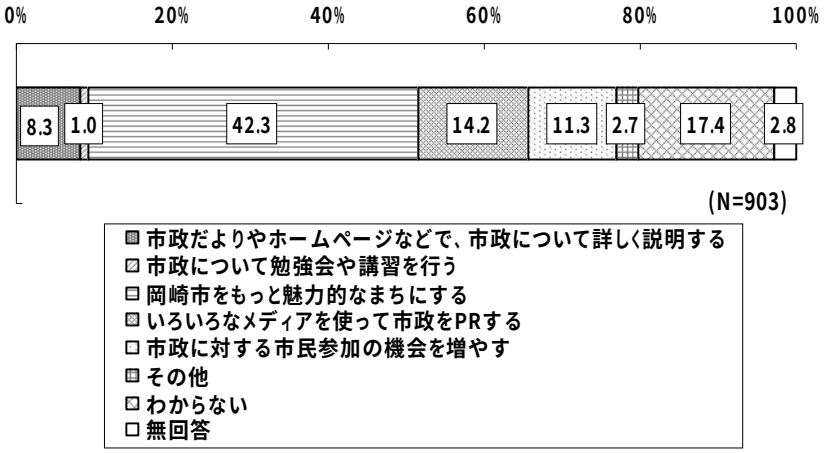
問３－２（問３で「あまり関心がない」、「まったく関心がない」と回答した方のみ）
市政に関心を持ってもらうには、どのようにしたらよいと思いますか。次の中から１つ選び、その番号を○で囲んでください。

表 3－2　市政に関心を持ってもらう施策

（単位：人、%）

	全体	市政だよりやホームページなどで、市政について詳しく説明する	市政について勉強会や講習を行う	岡崎市をもっと魅力的なまちにする	いろいろなメディアを使って市政をPRする	市政に対する市民参加の機会を増やす	その他	わからない	無回答
回答者数	903	75	9	382	128	102	24	157	26
割合	100	8.3	1.0	42.3	14.2	11.3	2.7	17.4	2.8

図 3－2　市政に関心を持ってもらう施策



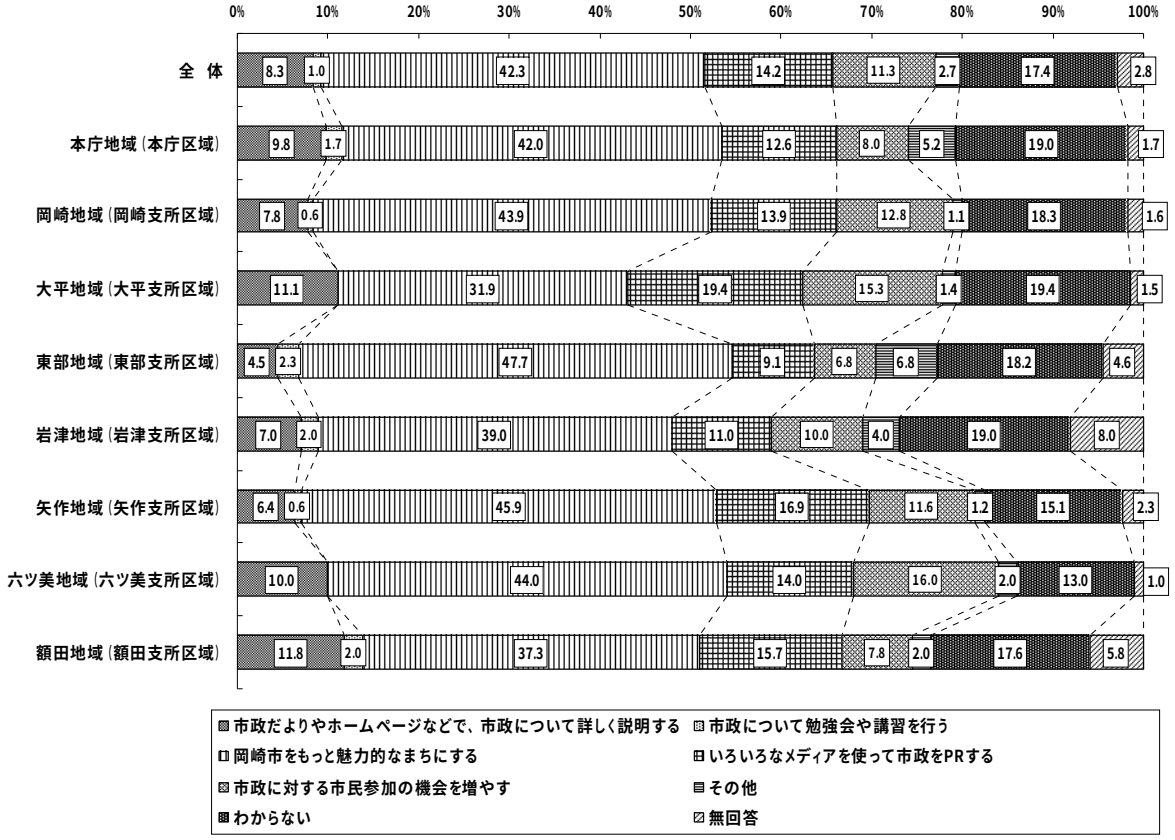
＜地域別＞

地域別にみると、「岡崎市をもっと魅力的なまちにする」との回答が多かったのは東部地域（47.7%）、矢作地域（45.9%）で、「いろんなメディアを使って市政を PR する」との回答が多かったのは大平地域（19.4%）、矢作地域（16.9%）である。

また、「市政に対する市民参加の機会を増やす」との回答が多かったのは六ツ美地域（16.0%）、大平地域（15.3%）である。

いずれかの施策（その他含む）を行うべきと答えた人の割合が高かったのは、六ツ美地域で 86.0%となっている。

図 3－2a　市政に関心を持ってもらう施策（地域別）



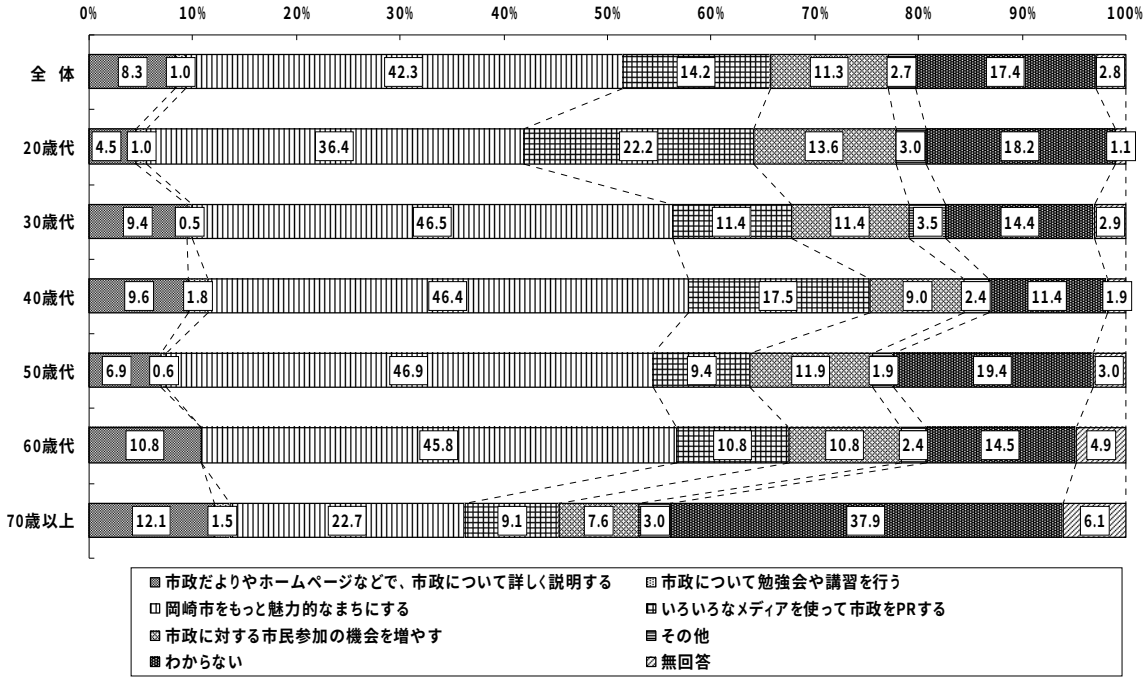
＜年齢別＞

年齢別にみると、30 歳代から 60 歳代にかけては、「岡崎市をもっと魅力的なまちにする」との回答が 40%代後半となっている。70 歳以上では、22.7%と少ない。

「市政だよりやホームページなどで、市政について詳しく説明する」との回答が多かったのは 70 歳以上（12.1%）である。

「いろいろなメディアを使って市政を PR する」、「市政に対する市民参加の機会を増やす」との回答が多かったのは 20 歳代（22.2%、13.6%）で、特に「いろいろなメディアを使って市政を PR する」との回答は他の年齢層と比して突出している。

図 3－2b　市政に関心を持ってもらう施策（年齢別）



Ｂ　市の取り組みに対する満足度・重要度について

問４（１）　市の行政施策に係る「現状の満足度」

市の行政施策に係る「現状の満足度」をうかがったところ、「6.ごみ処理・リサイクルなどの環境対策」（60.3%）、「7.上水道の整備」（59.8%）の項目で「満足している」「やや満足している」の回答割合が高く、満足度が高い一方、「10.中心部や市街地の整備」（38.3%）、「12.公共交通（鉄道・バスなど）の充実」（36.1%）の項目で「やや不満である」「不満である」の回答割合が高く、満足度が低くなっている。

問４
あなたは市の行政施策について、どのようにお考えですか。以下のそれぞれの取り組みに係る「現状の満足度」と「今後の重要度」について、あなたのお考えにもっとも近いものをそれぞれ１つ選び、その番号を○で囲んでください。

表４（1）　市の行政施策に係る「現状の満足度」

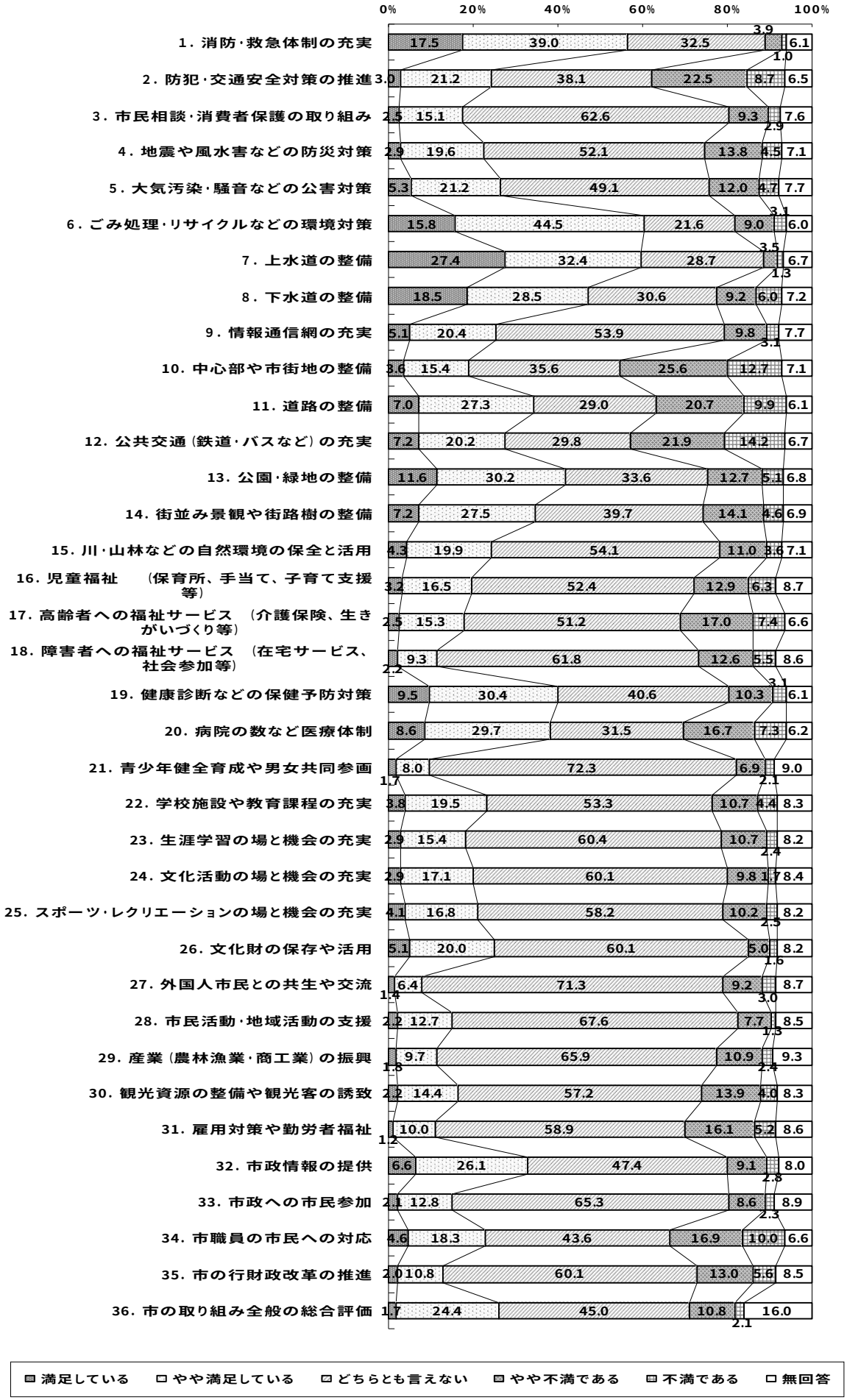
（単位：人、%）

問４（１）　市の行政施策に係る「現状の満足度」	全体	満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	無回答	平均[注]
１．消防・救急体制の充実	2,867	503	1,119	932	111	30	172	3.63
	100	17.5	39.0	32.5	3.9	1.0	6.1	
２．防犯・交通安全対策の推進	2,867	85	609	1,092	646	249	186	-0.68
	100	3.0	21.2	38.1	22.5	8.7	6.5	
３．市民相談・消費者保護の取り組み	2,867	71	434	1,795	268	83	216	0.27
	100	2.5	15.1	62.6	9.3	2.9	7.6	
４．地震や風水害などの防災対策	2,867	82	562	1,494	395	128	206	0.14
	100	2.9	19.6	52.1	13.8	4.5	7.1	
５．大気汚染・騒音などの公害対策	2,867	151	607	1,407	345	136	221	0.55
	100	5.3	21.2	49.1	12.0	4.7	7.7	
６．ごみ処理・リサイクルなどの環境対策	2,867	454	1,276	618	258	88	173	3.25
	100	15.8	44.5	21.6	9.0	3.1	6.0	
７．上水道の整備	2,867	786	928	823	100	36	194	4.35
	100	27.4	32.4	28.7	3.5	1.3	6.7	
８．下水道の整備	2,867	531	818	878	265	172	203	2.39
	100	18.5	28.5	30.6	9.2	6.0	7.2	
９．情報通信網の充実	2,867	146	585	1,545	280	89	222	0.79
	100	5.1	20.4	53.9	9.8	3.1	7.7	
10．中心部や市街地の整備	2,867	102	442	1,021	733	364	205	-1.53
	100	3.6	15.4	35.6	25.6	12.7	7.1	
11．道路の整備	2,867	200	782	830	593	284	178	0.04
	100	7.0	27.3	29.0	20.7	9.9	6.1	
12．公共交通（鉄道・バスなど）の充実	2,867	207	579	855	629	408	189	-0.84
	100	7.2	20.2	29.8	21.9	14.2	6.7	
13．公園・緑地の整備	2,867	333	867	963	365	145	194	1.64
	100	11.6	30.2	33.6	12.7	5.1	6.8	
14．街並み景観や街路樹の整備	2,867	207	789	1,138	405	131	197	1.00
	100	7.2	27.5	39.7	14.1	4.6	6.9	

問４（１）　市の行政施策に係る「現状の満足度」	全体	満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	無回答	平均注
15．川・山林などの自然環境の保全と活用	2,867	123	570	1,550	316	103	205	0.55
	100	4.3	19.9	54.1	11.0	3.6	7.1	
16．児童福祉　（保育所、手当て、子育て支援等）	2,867	93	474	1,503	371	180	246	-0.14
	100	3.2	16.5	52.4	12.9	6.3	8.7	
17．高齢者への福祉サービス（介護保険、生きがいづくり等）	2,867	73	439	1,468	486	213	188	-0.61
	100	2.5	15.3	51.2	17.0	7.4	6.6	
18．障害者への福祉サービス（在宅サービス、社会参加等）	2,867	64	268	1,771	360	159	245	-0.54
	100	2.2	9.3	61.8	12.6	5.5	8.6	
19．健康診断などの保健予防対策	2,867	273	871	1,163	294	89	177	1.76
	100	9.5	30.4	40.6	10.3	3.1	6.1	
20．病院の数など医療体制	2,867	246	852	903	478	210	178	0.83
	100	8.6	29.7	31.5	16.7	7.3	6.2	
21．青少年健全育成や男女共同参画	2,867	48	230	2,073	197	60	259	0.02
	100	1.7	8.0	72.3	6.9	2.1	9.0	
22．学校施設や教育課程の充実	2,867	109	559	1,527	307	125	240	0.42
	100	3.8	19.5	53.3	10.7	4.4	8.3	
23．生涯学習の場と機会の充実	2,867	83	441	1,733	308	68	234	0.31
	100	2.9	15.4	60.4	10.7	2.4	8.2	
24．文化活動の場と機会の充実	2,867	83	489	1,722	281	48	244	0.53
	100	2.9	17.1	60.1	9.8	1.7	8.4	
25．スポーツ・レクリエーションの場と機会の充実	2,867	118	482	1,668	292	71	236	0.54
	100	4.1	16.8	58.2	10.2	2.5	8.2	
26．文化財の保存や活用	2,867	146	574	1,722	142	45	238	1.21
	100	5.1	20.0	60.1	5.0	1.6	8.2	
27．外国人市民との共生や交流	2,867	40	183	2,045	265	86	248	-0.33
	100	1.4	6.4	71.3	9.2	3.0	8.7	
28．市民活動・地域活動の支援	2,867	63	364	1,939	222	36	243	0.37
	100	2.2	12.7	67.6	7.7	1.3	8.5	
29．産業（農林漁業・商工業）の振興	2,867	53	279	1,889	312	70	264	-0.13
	100	1.8	9.7	65.9	10.9	2.4	9.3	
30．観光資源の整備や観光客の誘致	2,867	62	412	1,641	398	116	238	-0.18
	100	2.2	14.4	57.2	13.9	4.0	8.3	
31．雇用対策や勤労者福祉	2,867	35	286	1,690	463	148	245	-0.77
	100	1.2	10.0	58.9	16.1	5.2	8.6	
32．市政情報の提供	2,867	189	749	1,359	261	81	228	1.33
	100	6.6	26.1	47.4	9.1	2.8	8.0	
33．市政への市民参加	2,867	61	367	1,872	247	66	254	0.21
	100	2.1	12.8	65.3	8.6	2.3	8.9	
34．市職員の市民への対応	2,867	132	525	1,251	484	287	188	-0.50
	100	4.6	18.3	43.6	16.9	10.0	6.6	
35．市の行財政改革の推進	2,867	56	311	1723	372	160	245	-0.51
	100	2.0	10.8	60.1	13.0	5.6	8.5	
36．市の取り組み全般の総合評価	2,867	50	699	1,290	309	60	459	0.77
	100	1.7	24.4	45.0	10.8	2.1	16.0	

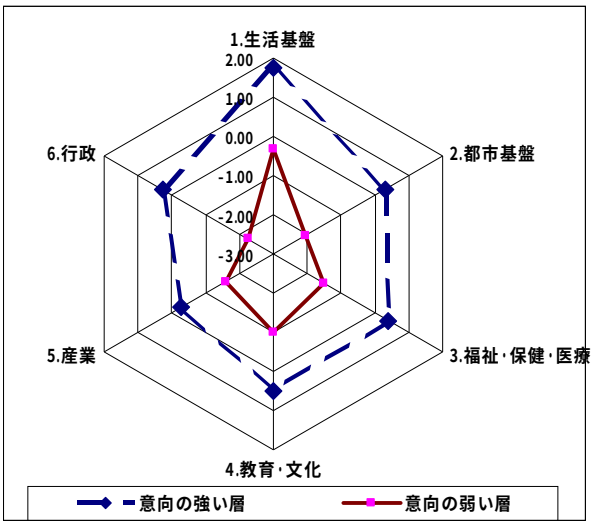
注：平均とは『満足している』～『不満である』の回答数に、それぞれ、10 点・5 点・0 点・－5 点・－10 点の得点を与え、合計得点を求め、有回答(『満足している』～『不満である』のいずれかに回答があるもの)件数を母数として割り算を行ったものである。

図４（１）　市の行政施策に係る「現状の満足度」



次に問 4（1）市の行政施策に係る「現状の満足度」について 6 つのカテゴリに分け、6 つのカテゴリ別に問 2 の居住継続意向をグループ化して比較する。全体として継続居住意向が強い層は全ての項目に対し継続居住意向が弱い層よりも高い満足度評価をしている。「都市基盤」と「行政」の 2 カテゴリについては意向の強い層と弱い層との間で現状満足度評価の得点に特に大きな差が出た。

図 4（1）－1　居住継続意向別　満足度評価（カテゴリ別）



注：まず、居住継続意向が「ずっと住んでいたい」「しばらくは住むつもりだ」の回答を意向の強い意見、「市内の他地域に移りたい」「市外に移りたい」を意向の弱い意見とした。続いて問 4（1）現状の満足度についての 1.から 35.までの 35 項目を、その内容により「生活基盤」「都市基盤」「福祉・保健・医療」「教育・文化」「産業」「行政」の 6 カテゴリに分類し、カテゴリ別の平均点を算出した。問 2 の「ずっと住んでいたい」「しばらくは住むつもりだ」「市内の他地域に移りたい」「市外に移りたい」の回答に、それぞれ 2 点、1 点、1 点、2 点の得点を与え、各カテゴリの平均点にかけて算出した。なお、問 4（1）の各項目の満足度平均得点は『満足している』～『不満である』の回答数に、それぞれ、10 点・5 点・0 点・－5 点・－10 点の得点を与え、合計得点を求め、有回答(『満足している』～『不満である』の何れかに回答があるもの)件数を母数として割り算を行っている。以降のチャートグラフの算出方法はこれに従った。

続いて問 2 の居住継続意向と、問 4（1）市の行政施策に係る「現状の満足度」とを合わせたものについて、各カテゴリについて項目ごとにみたものが次ページの図 4（1）－2 である。

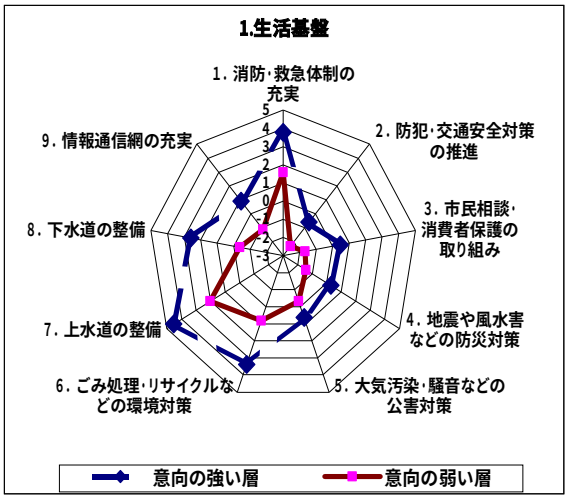
全体として、継続居住意向の弱い層の得点は強い層の得点の半分以下である場合が多い。一方で、各カテゴリ内で特にどの項目に満足しているかという傾向は、意向の強い層と弱い層とであまり違いは見られない場合が多い。強い層と弱い層で異なる傾向を示した項目は以下の通りである。

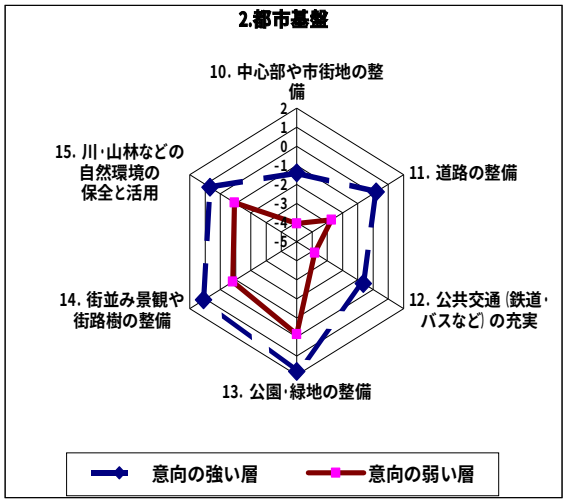
生活基盤について、他の項目と比較して、意向の強い層と弱い層で異なる傾向を示した（意向の弱い層が相対的に低い評価をした）項目は、「8.下水道の整備」「6.ごみ処理・リサイクルなどの環境対策」「7.上水道の整備」などである。

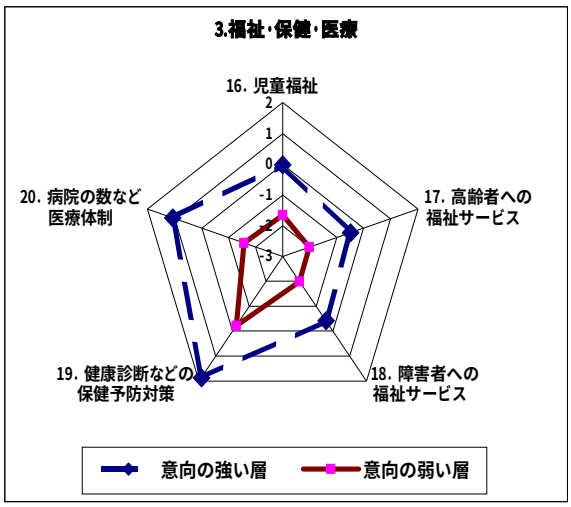
都市基盤について、他の項目と比較して、意向の弱い層が特に低い評価をした項目は、「12.公共交通の充実」「11.道路整備」「10.中心部や市街地の整備」などである。都市基盤の中では、日常生活に直結する身の回りのインフラ整備に対する評価の差が、大きく影響を与えていると考えられる。

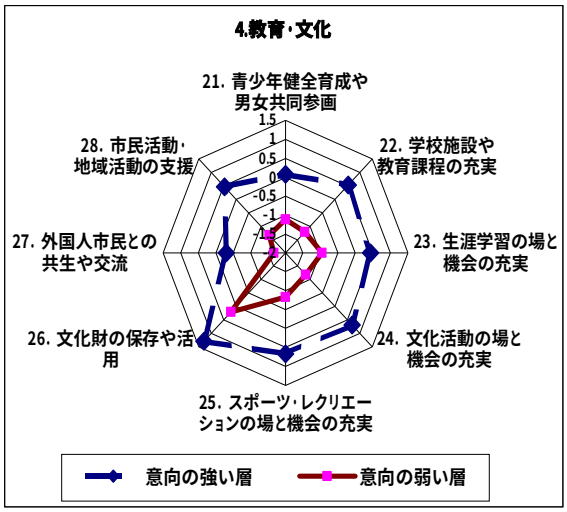
福祉・保健・医療について、他の項目と比較して、意向の弱い層が特に低い評価をした項目は、「20.病院の数など医療体制」、教育・文化については、「24.文化活動の場と機会の充実」「22.学校施設や教育課程の充実」「28.市民活動・地域活動の支援」などである。産業について、他の項目と比較して、意向の弱い層が特に低い評価をした項目は、「31.雇用対策や勤労者福祉」である。行政について、他の項目と比較して、意向の弱い層が特に低い評価をした項目は、「34.市職員の市民への対応」「32.市政情報の提供」となっている。

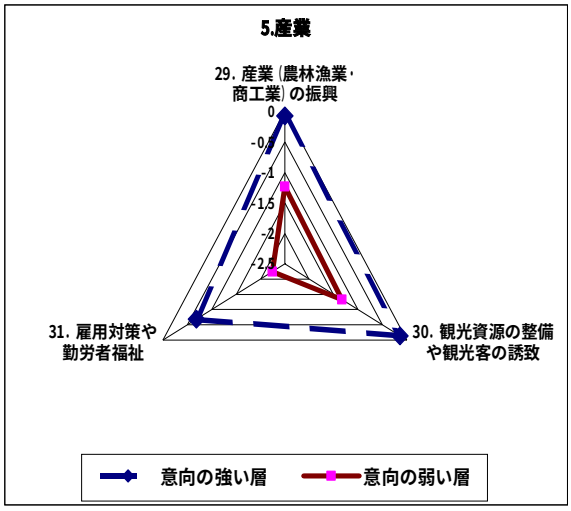
図４（１）－２　居住継続意向別　満足度評価（項目別）

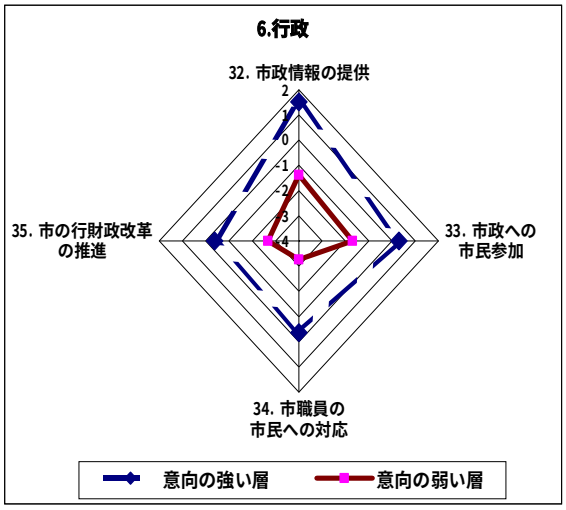












（参考）居住継続意向別　満足度評価（項目別）

カテゴリ 1.生活基盤	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
1. 消防･救急体制の充実	3.77	1.58	2.18
2. 防犯･交通安全対策の推進	-0.59	-2.34	1.75
3. 市民相談･消費者保護の取り組み	0.45	-1.66	2.11
4. 地震や風水害などの防災対策	0.27	-1.45	1.72
5. 大気汚染･騒音などの公害対策	0.62	-0.34	0.95
6. ごみ処理･リサイクルなどの環境対策	3.37	0.80	2.57
7. 上水道の整備	4.51	2.01	2.50
8. 下水道の整備	2.57	-0.38	2.95
9. 情報通信網の充実	0.90	-1.14	2.04

カテゴリ 2.都市基盤	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
10. 中心部や市街地の整備	-1.40	-4.06	2.66
11. 道路の整備	0.22	-2.72	2.94
12. 公共交通（鉄道･バスなど）の充実	-0.63	-3.84	3.20
13. 公園･緑地の整備	1.81	-0.15	1.96
14. 街並み景観や街路樹の整備	1.10	-0.81	1.91
15. 川･山林などの自然環境の保全と活用	0.69	-0.92	1.61

カテゴリ 3.福祉・保健・医療	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
16. 児童福祉	-0.02	-1.65	1.63
17. 高齢者への福祉サービス	-0.50	-2.02	1.53
18. 障害者への福祉サービス	-0.41	-1.98	1.57
19. 健康診断などの保健予防対策	1.87	-0.22	2.09
20. 病院の数など医療体制	1.07	-1.56	2.63

カテゴリ 4.教育・文化	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
21. 青少年健全育成や男女共同参画	0.08	-1.11	1.19
22. 学校施設や教育課程の充実	0.54	-1.22	1.77
23. 生涯学習の場と機会の充実	0.43	-0.95	1.39
24. 文化活動の場と機会の充実	0.69	-1.19	1.87
25. スポーツ･レクリエーションの場と機会の充実	0.67	-0.84	1.50
26. 文化財の保存や活用	1.29	0.19	1.10
27. 外国人市民との共生や交流	-0.31	-1.67	1.37
28. 市民活動･地域活動の支援	0.47	-1.34	1.81

カテゴリ 5.産業	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
29. 産業（農林漁業･商工業）の振興	-0.08	-1.23	1.16
30. 観光資源の整備や観光客の誘致	-0.14	-1.32	1.18
31. 雇用対策や勤労者福祉	-0.68	-2.25	1.57

カテゴリ 6.行政	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
32. 市政情報の提供	1.50	-1.38	2.89
33. 市政への市民参加	0.29	-1.71	2.00
34. 市職員の市民への対応	-0.37	-3.26	2.90
35. 市の行財政改革の推進	-0.40	-2.67	2.27

問４（２）　市の行政施策に係る「今後の重要度」

市の行政施策に関わる重要度については、「2.防犯・交通安全対策の推進」（84.5%）、「1.消防・救急体制の充実」（81.1%）、「4.地震や風水害などの防災対策」（79.4%）の項目で、「重要である」「やや重要である」の回答割合が高く、市民が重要性を感じている。

問４
あなたは市の行政施策について、どのようにお考えですか。以下のそれぞれの取り組みに係る「現状の満足度」と「今後の重要度」について、あなたのお考えにもっとも近いものをそれぞれ１つ選び、その番号を○で囲んでください。

表４（2）　市の行政施策に係る「今後の重要度」

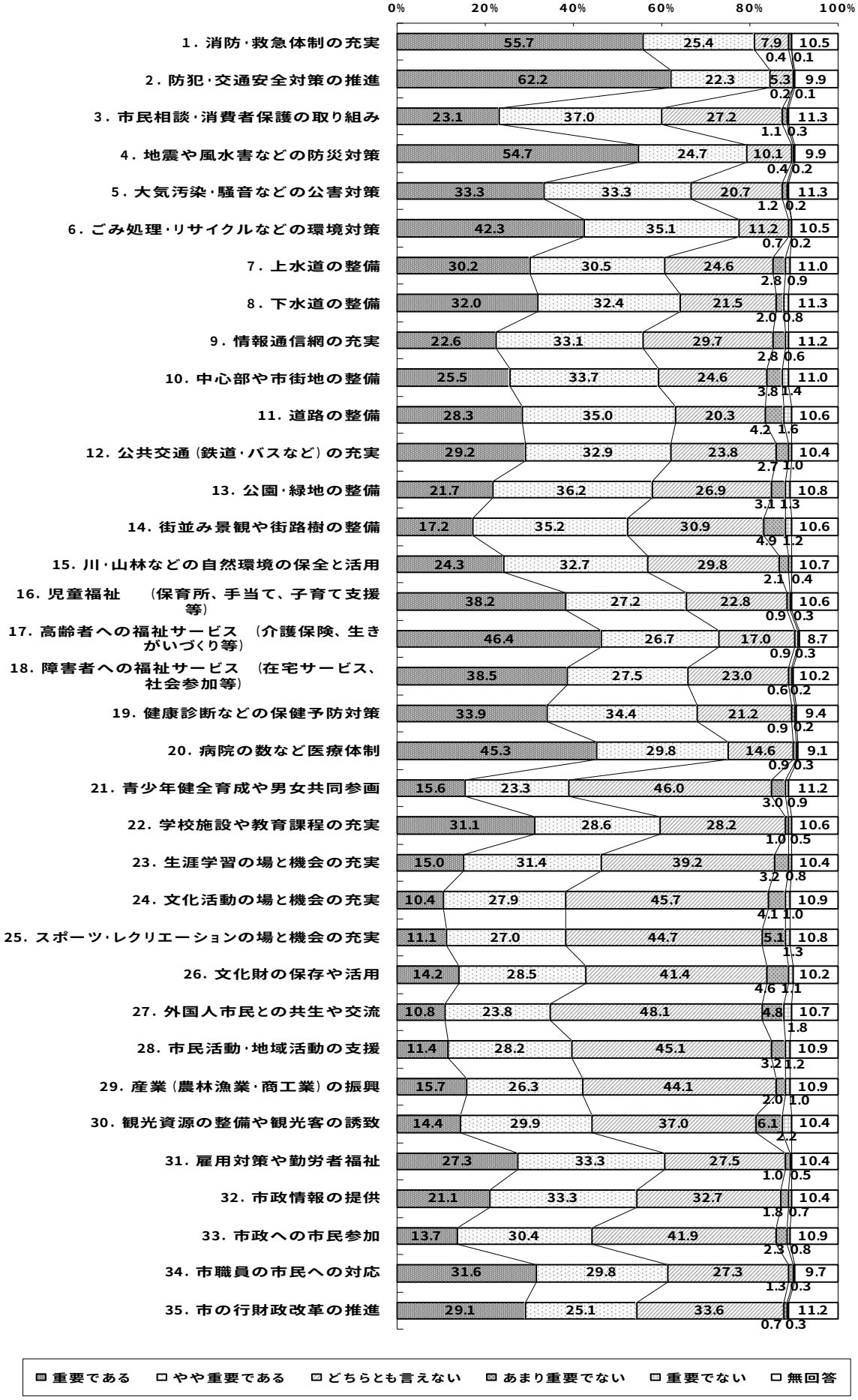
（単位：人、%）

問４（２）　市の行政施策に係る「今後の重要度」	全体	重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない	無回答	平均[注]
１．消防・救急体制の充実	2,867	1,596	727	226	11	3	304	7.61
	100	55.7	25.4	7.9	0.4	0.1	10.5	
２．防犯・交通安全対策の推進	2,867	1,783	638	153	6	4	283	8.11
	100	62.2	22.3	5.3	0.2	0.1	9.9	
３．市民相談・消費者保護の取り組み	2,867	661	1,061	780	32	8	325	4.59
	100	23.1	37.0	27.2	1.1	0.3	11.3	
４．地震や風水害などの防災対策	2,867	1568	707	289	11	5	287	7.41
	100	54.7	24.7	10.1	0.4	0.2	9.9	
５．大気汚染・騒音などの公害対策	2,867	956	955	593	35	7	321	5.53
	100	33.3	33.3	20.7	1.2	0.2	11.3	
６．ごみ処理・リサイクルなどの環境対策	2,867	1212	1,007	321	19	7	301	6.62
	100	42.3	35.1	11.2	0.7	0.2	10.5	
７．上水道の整備	2,867	866	874	706	81	26	314	4.84
	100	30.2	30.5	24.6	2.8	0.9	11.0	
８．下水道の整備	2,867	917	929	616	57	22	326	5.24
	100	32.0	32.4	21.5	2.0	0.8	11.3	
９．情報通信網の充実	2,867	648	950	851	79	16	323	4.20
	100	22.6	33.1	29.7	2.8	0.6	11.2	
10．中心部や市街地の整備	2,867	731	965	705	109	39	318	4.39
	100	25.5	33.7	24.6	3.8	1.4	11.0	
11．道路の整備	2,867	812	1,004	583	119	45	304	4.72
	100	28.3	35.0	20.3	4.2	1.6	10.6	
12．公共交通（鉄道・バスなど）の充実	2,867	837	944	681	77	29	299	4.83
	100	29.2	32.9	23.8	2.7	1.0	10.4	
13．公園・緑地の整備	2,867	623	1,037	772	89	38	308	4.14
	100	21.7	36.2	26.9	3.1	1.3	10.8	
14．街並み景観や街路樹の整備	2,867	492	1,008	885	141	34	307	3.48
	100	17.2	35.2	30.9	4.9	1.2	10.6	
15．川・山林などの自然環境の保全と活用	2,867	697	938	854	60	12	306	4.39
	100	24.3	32.7	29.8	2.1	0.4	10.7	
16．児童福祉　　（保育所、手当て、子育て支援等）	2,867	1,095	780	655	26	10	301	5.70
	100	38.2	27.2	22.8	0.9	0.3	10.6	

問４（２）　市の行政施策に係る「今後の重要度」	全体	重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない	無回答	平均
17．高齢者への福祉サービス（介護保険、生きがいづくり等）	2,867	1,331	765	486	26	10	249	6.46
	100	46.4	26.7	17.0	0.9	0.3	8.7	
18．障害者への福祉サービス（在宅サービス、社会参加等）	2,867	1,104	788	658	17	6	294	5.77
	100	38.5	27.5	23.0	0.6	0.2	10.2	
19．健康診断などの保健予防対策	2,867	972	985	607	26	6	271	5.57
	100	33.9	34.4	21.2	0.9	0.2	9.4	
20．病院の数など医療体制	2,867	1,299	855	420	26	9	258	6.53
	100	45.3	29.8	14.6	0.9	0.3	9.1	
21．青少年健全育成や男女共同参画	2,867	446	668	1,319	86	27	321	2.79
	100	15.6	23.3	46.0	3.0	0.9	11.2	
22．学校施設や教育課程の充実	2,867	891	819	808	29	15	305	4.96
	100	31.1	28.6	28.2	1.0	0.5	10.6	
23．生涯学習の場と機会の充実	2,867	431	899	1,124	91	22	300	3.17
	100	15.0	31.4	39.2	3.2	0.8	10.4	
24．文化活動の場と機会の充実	2,867	299	800	1,309	118	30	311	2.39
	100	10.4	27.9	45.7	4.1	1.0	10.9	
25．スポーツ・レクリエーションの場と機会の充実	2,867	317	773	1,282	147	37	311	2.32
	100	11.1	27.0	44.7	5.1	1.3	10.8	
26．文化財の保存や活用	2,867	407	816	1,186	131	31	296	2.79
	100	14.2	28.5	41.4	4.6	1.1	10.2	
27．外国人市民との共生や交流	2,867	310	683	1,379	139	53	303	2.06
	100	10.8	23.8	48.1	4.8	1.8	10.7	
28．市民活動・地域活動の支援	2,867	327	809	1,293	93	34	311	2.55
	100	11.4	28.2	45.1	3.2	1.2	10.9	
29．産業（農林漁業・商工業）の振興	2,867	450	753	1,264	58	29	313	3.01
	100	15.7	26.3	44.1	2.0	1.0	10.9	
30．観光資源の整備や観光客の誘致	2,867	414	857	1,061	174	62	299	2.70
	100	14.4	29.9	37.0	6.1	2.2	10.4	
31．雇用対策や勤労者福祉	2,867	783	954	787	30	13	300	4.80
	100	27.3	33.3	27.5	1.0	0.5	10.4	
32．市政情報の提供	2,867	604	956	937	51	19	300	4.04
	100	21.1	33.3	32.7	1.8	0.7	10.4	
33．市政への市民参加	2,867	393	873	1,200	67	22	312	3.03
	100	13.7	30.4	41.9	2.3	0.8	10.9	
34．市職員の市民への対応	2,867	905	855	783	38	8	278	5.04
	100	31.6	29.8	27.3	1.3	0.3	9.7	
35．市の行財政改革の推進	2,867	834	721	964	21	9	318	4.61
	100	29.1	25.1	33.6	0.7	0.3	11.2	

注：平均とは『重要である』～『重要でない』の回答数に、それぞれ、10 点・5 点・0 点・－5 点・－10 点の得点を与え、合計得点を求め、有回答(『重要である』～『重要でない』の何れかに回答があるもの)件数を母数として割り算を行ったものである。

図４（2）　市の行政施策に係る「今後の重要度」

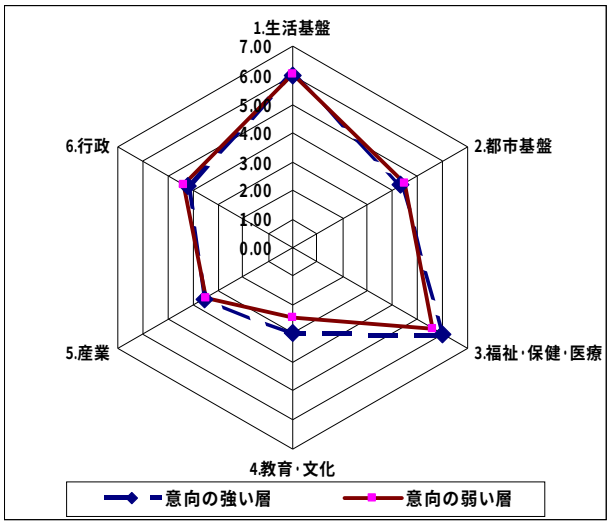


次に、問 4（2）市の行政施策に係る「今後の重要度」について 6 つのカテゴリに分け、6 つのカテゴリ別に問 2 の居住継続意向をグループ化して比較する。

全体として、施策の中で特に何を重視するかについて、その重視する項目および重視度合いは、居住継続意向の強い層と弱い層でほとんど差はみられない。前掲の満足度評価では居住継続意向の強い層と弱い層の得点差は大きく、全ての項目において意向の強い層の方が、得点が高かったのに対し、重要度については意向の強い層と弱い層とで得点にあまり差異がないことが読み取れる。

また、項目によっては、意向の弱い層の方が、重要度得点が高い場合もある。たとえば、「生活基盤」「都市基盤」「行政」は居住継続意向の弱い層の方が、評価が高くなっている。

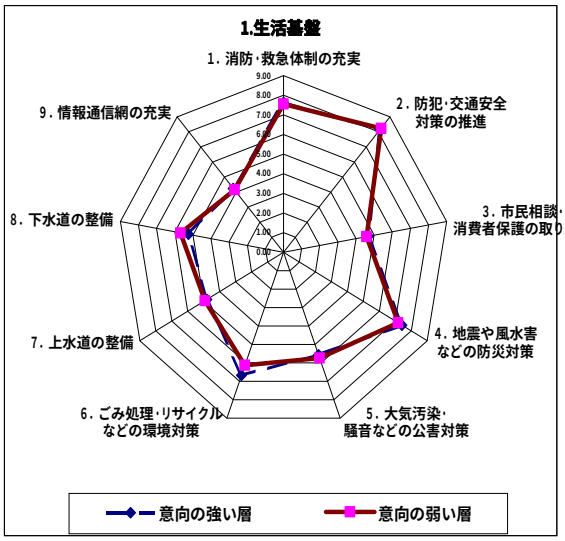
図 4（2）－1　居住継続意向別　重要度評価（カテゴリ別）

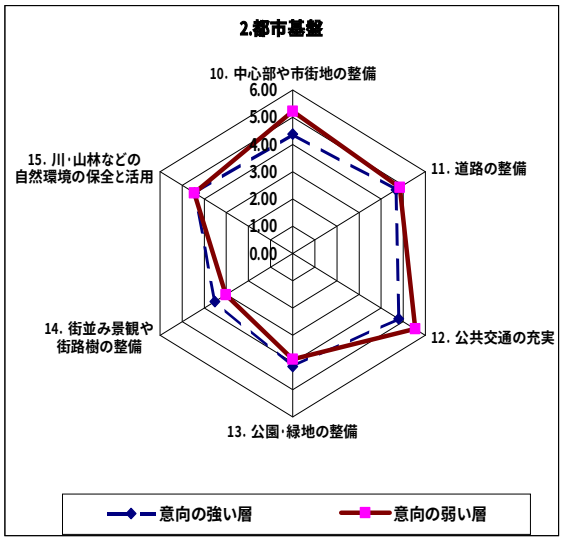


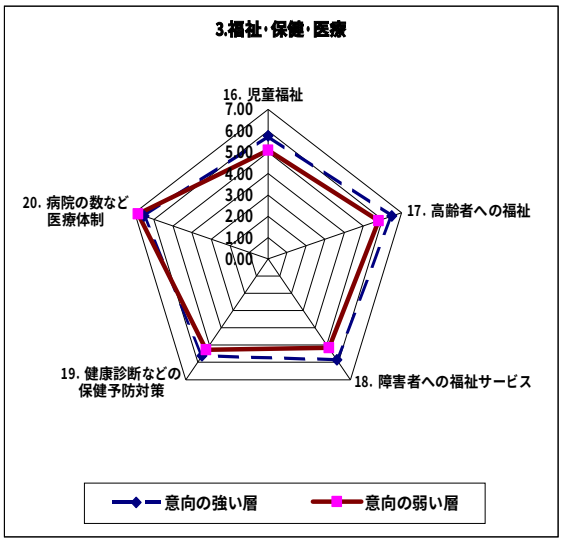
生活基盤については、居住継続意向の強い層も弱い層もほぼ同じ意見を有している。そのなかで若干ではあるが違いが見られるのは、「6.ごみ処理・リサイクルなどの環境対策」と「8.下水道の整備」である。「6.ごみ処理・リサイクルなどの環境対策」においては意向の強い層が、「8.下水道の整備」においては意向の弱い層の方が、それぞれ若干ではあるが重要度が高くなっている。都市基盤については、居住継続意向の弱い層と強い層との意見の差異が生活基盤よりも大きく出ている。「10.中心部や市街地の整備」「12.公共交通の充実」は、居住継続意向の弱い層の方が重要度を特に高く評価している。また、福祉・保健・医療については「20.病院の数など医療体制」以外の全ての項目について、意向の強い層の重要度は意向の弱い層よりも高くなっている。同様に、教育・文化についても「24.文化活動の場と機会の充実」「23.生涯学習の場と機会の充実」「27.外国人市民との共生や交流」の 3 項目の重要度はほぼ同じであるものの、意向の強い層の方が意向の弱い層よりも全体的に重要度が高くなっていることが読み取れる。産業については、居住継続意向の強弱による差異は、ほとんどみられない。最後に行政について、若干の差異がみられるのは、「34.市職員の市民への対応」「35.市の行財政改革の推進」であり、居住継続意向の弱い層の方が、重要度を高く評価している。

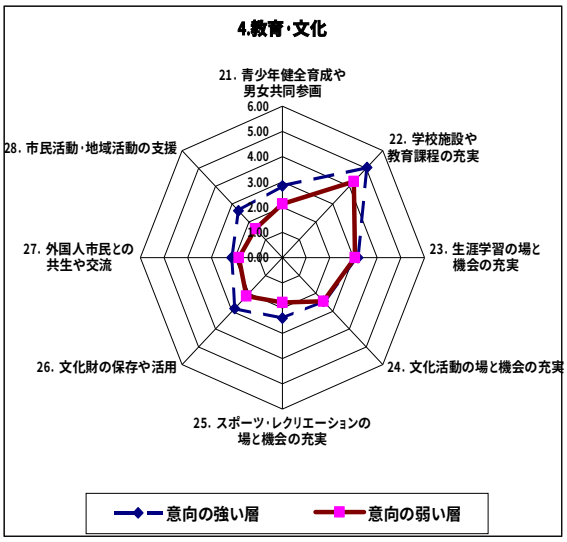
以上より、都市基盤や行政のカテゴリの一部の項目については、居住継続意向の弱い層の方が重要度を高く評価しているものの、福祉・保健・医療や教育・文化といったソフトに係るカテゴリにおいては、居住継続意向の強い層の方が全般的に重要度を高く評価していると読み取れる。

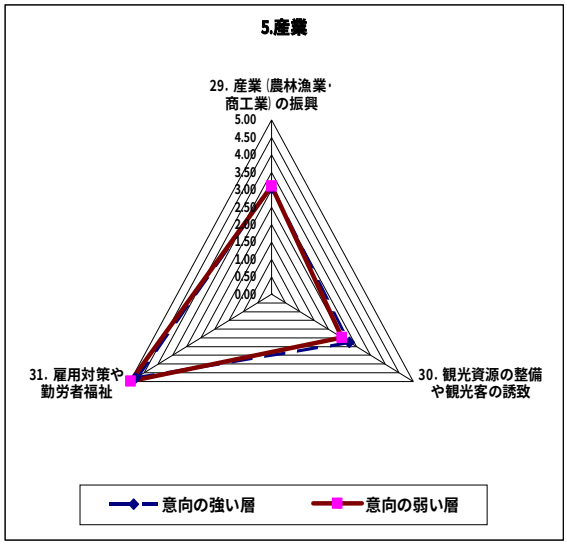
図４（2）－2　居住継続意向別　重要度評価（項目別）

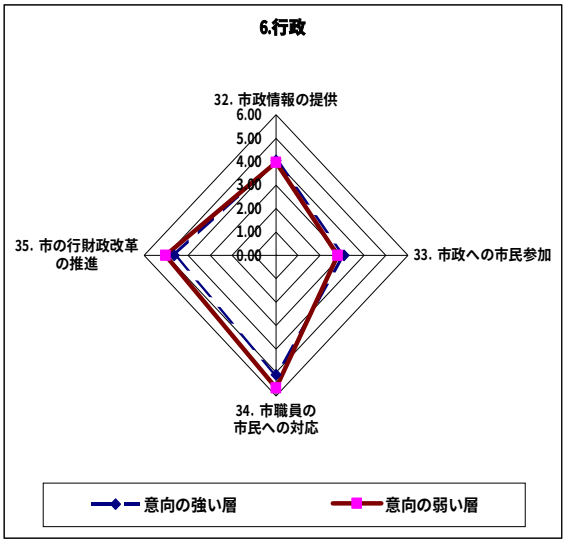












（参考）居住継続意向別　重要度評価（項目別）

カテゴリ 1.生活基盤	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
1. 消防･救急体制の充実	7.62	7.53	0.09
2. 防犯･交通安全対策の推進	8.13	8.23	-0.10
3. 市民相談･消費者保護の取り組み	4.66	4.56	0.10
4. 地震や風水害などの防災対策	7.42	7.18	0.24
5. 大気汚染･騒音などの公害対策	5.54	5.73	-0.19
6. ごみ処理･リサイクルなどの環境対策	6.66	6.12	0.55
7. 上水道の整備	4.81	4.91	-0.10
8. 下水道の整備	5.23	5.66	-0.43
9. 情報通信網の充実	4.24	4.13	0.11

カテゴリ 2.都市基盤	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
10. 中心部や市街地の整備	4.37	5.21	-0.84
11. 道路の整備	4.66	4.83	-0.18
12. 公共交通の充実	4.79	5.51	-0.73
13. 公園･緑地の整備	4.14	3.87	0.27
14. 街並み景観や街路樹の整備	3.51	3.02	0.50
15. 川･山林などの自然環境の保全と活用	4.41	4.43	-0.02

カテゴリ 3.福祉・保健・医療	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
16. 児童福祉	5.77	5.08	0.69
17. 高齢者への福祉	6.50	5.79	0.70
18. 障害者への福祉サービス	5.85	5.16	0.68
19. 健康診断などの保健予防対策	5.61	5.28	0.33
20. 病院の数など医療体制	6.50	6.84	-0.33

カテゴリ 4.教育・文化	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
21. 青少年健全育成や男女共同参画	2.84	2.13	0.71
22. 学校施設や教育課程の充実	5.04	4.28	0.76
23. 生涯学習の場と機会の充実	3.19	3.07	0.12
24. 文化活動の場と機会の充実	2.45	2.44	0.01
25. スポーツ･レクリエーションの場と機会の充実	2.39	1.78	0.62
26. 文化財の保存や活用	2.86	2.16	0.70
27. 外国人市民との共生や交流	2.15	1.83	0.31
28. 市民活動･地域活動の支援	2.62	1.63	0.99

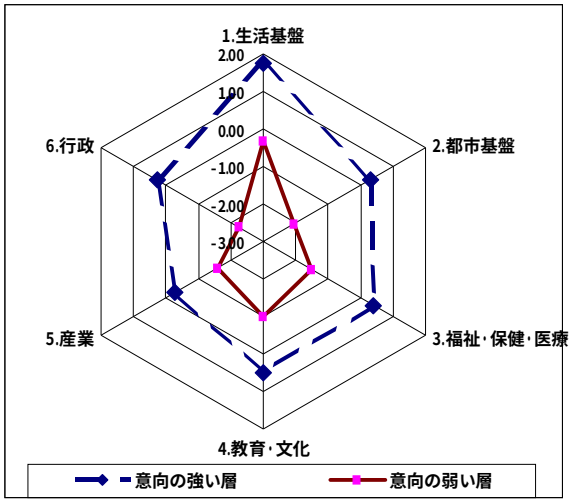
カテゴリ 5.産業	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
29. 産業（農林漁業･商工業）の振興	3.03	3.10	-0.07
30. 観光資源の整備や観光客の誘致	2.75	2.48	0.27
31. 雇用対策や勤労者福祉	4.81	4.98	-0.17

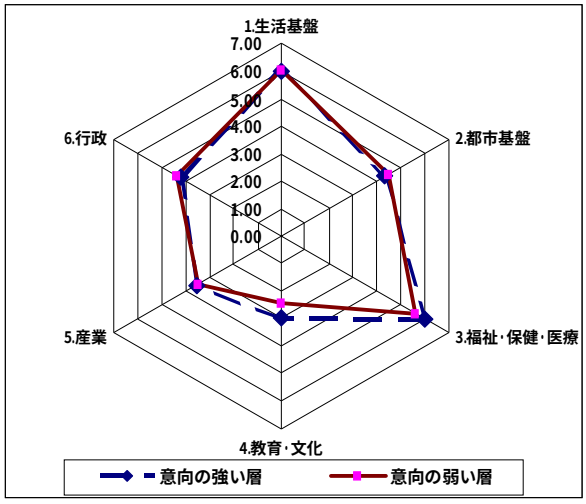
カテゴリ 6.行政	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
32. 市政情報の提供	4.05	3.97	0.08
33. 市政への市民参加	3.09	2.80	0.29
34. 市職員の市民への対応	5.09	5.66	-0.57
35. 市の行財政改革の推進	4.63	5.03	-0.40

居住継続意向と満足度および重要度との関係について

下図は前掲の図を再掲したものである。これらの図より、居住継続意向について、意向の強い層は市の行政施策に対する満足度が相対的に高く、意向の弱い層は満足度も相対的に低いことがわかる。ただし、どのカテゴリに対してより満足を感じるかという傾向、および今後行政施策として重視するカテゴリとその度合いについては居住継続意向の強弱による差異はあまりみられない。

図 4－2　居住継続意向別　満足度（左）と重要度（右）（それぞれ再掲）





ニーズ得点について

満足度と重要度から総合的に市民のニーズを測る「ニーズ得点」をみる。今回、ニーズ得点の高い項目としては、「防犯・交通安全対策の推進」（14.66）、「高齢者への福祉サービス」（13.59）、「地震や風水害などの防犯対策」（13.40）、「中心部や市街地の整備」（13.18）、「障害者への福祉サービス」（13.05）が挙げられる。これら上位の項目については、市民のニーズが高く、優先的に取り組むべき課題として認識する必要があるといえる。

図 4－3　ニーズ得点

前回調査と比較すると、「高齢者への福祉サービス」、「障害者への福祉サービス」、「市政情報の提供」が 1 点以上高くなっている。一方で、「上水道の整備」は 4 点以上低くなっており、他にも「ごみ処理・リサイクルなどの環境対策」、「下水道の整備」、「道路の整備」は 1.5 点以上低くなっており、事業の進捗による効果が現れているといえる。

前回調査との比較

ニーズが増加した上位 5 項目

順位	項目	得点の変化（今回－前回）
1	高齢者への福祉サービス	1.61
2	障害者への福祉サービス	1.26
3	市政情報の提供	1.08
4	児童福祉	0.88
5	健康診断などの保健予防対策	0.86

ニーズが減少した上位 5 項目

順位	項目	得点の変化（今回－前回）
1	上水道の整備	-4.29
2	ごみ処理・リサイクルなどの環境対策	-1.79
3	下水道の整備	-1.56
4	道路の整備	-1.50
5	地震や風水害などの防災対策	-1.11

（参考）ニーズ得点

ニーズ得点は、下式により算出される回答者ごとの得点の全体平均であり、ニーズ得点が高い項目は、その行政施策・サービス等に対する住民のニーズが高いものととらえることができる。式中の「満足度得点」、「重要度得点」は問４の回答内容によって決まり、下表のように設定した。

ニーズ得点　＝　重要度得点　×　（　6　－　満足度得点　）

注）満足度及び重要度に、次のように 5 段階のポイントをつける。

満足度	重要度	ポイント
満足	重要	5
やや満足	やや重要	4
どちらとも言えない	どちらとも言えない	3
やや不満	あまり重要でない	2
不満	重要でない	1

ここで（　6　－　満足度得点　）は不満度を意味し、また、ニーズ得点の範囲は 1～25 点となる。ニーズ得点は、重要度が高くなるほど、また満足度が低くなるほど（不満度が高くなるほど）高くなる。

内閣府国民生活局「国民生活選好度調査」より

C　今後の公共サービスのあり方について

問５　「権利」と「義務」について

公共サービスを受けるなどの「権利」と市民としての「義務」の関係についてうかがったところ、「税金等を極力安くして、負担額に見合ったサービス内容にすべき」（29.2%）、「公共サービスの一端を市民・ボランティアが担うことによって、税金等の負担を軽減すべき」（21.3%）の順に回答が多くなっており、負担を軽減すべきとの考えのほうが、サービス供給に対するニーズより大きいといえる。

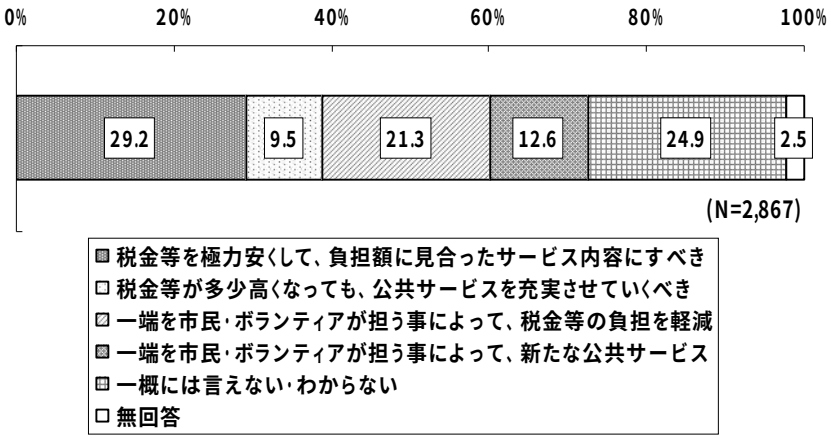
問５
あなたは公共サービス（福祉、教育、基盤整備など）を受けるなどの「権利」と、市民としての「義務」との関係についてどのようにお考えになりますか。次の中からあなたの気持ちにもっとも近いものを１つ選び、その番号を○で囲んでください。

表５　「権利」と「義務」について

（単位：人、%）

	全体	税金等を極力安くして、負担額に見合ったサービス内容にすべき	税金等が多少高くなっても、公共サービスを充実させていくべき	一端を市民・ボランティアが担う事によって、税金等の負担を軽減	一端を市民・ボランティアが担う事によって、新たな公共サービス	一概には言えない・わからない	無回答
回答者数	2,867	836	273	612	362	715	69
割合	100	29.2	9.5	21.3	12.6	24.9	2.5

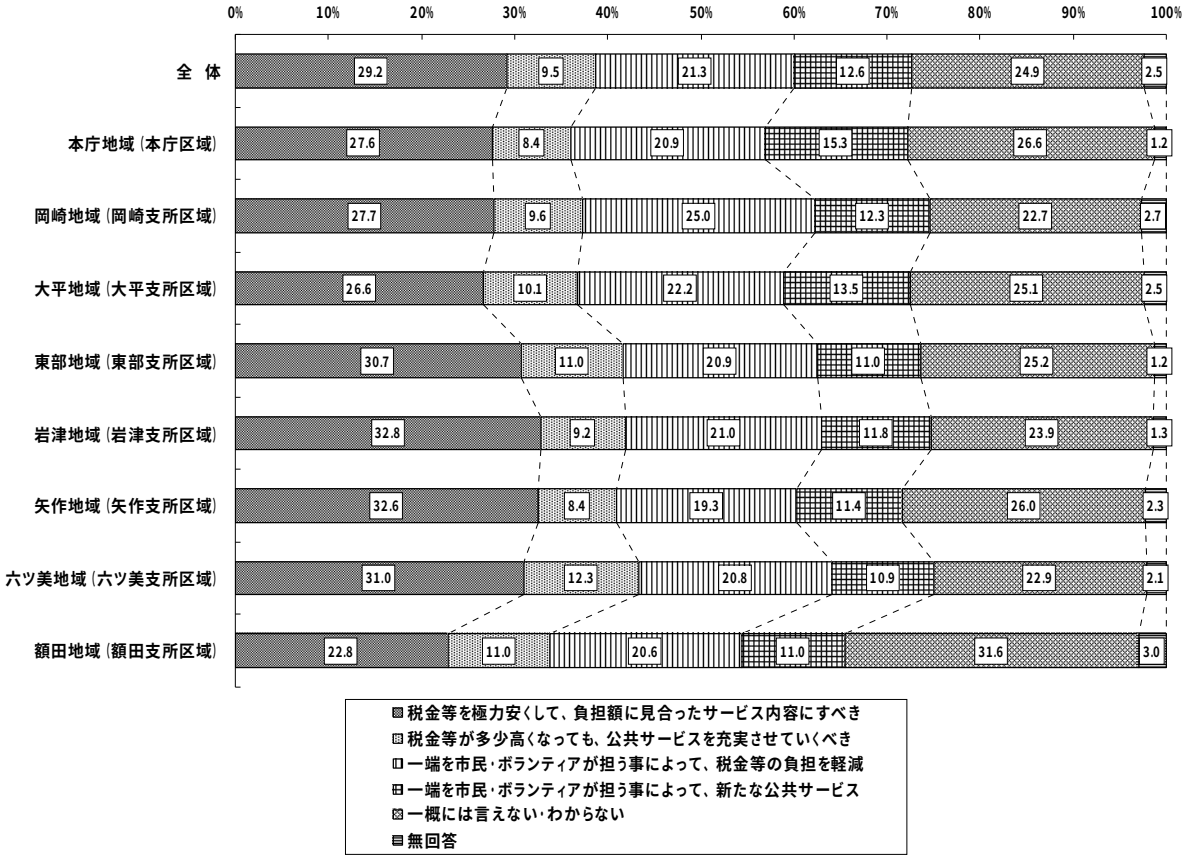
図５　「権利」と「義務」について



＜地域別＞

地域別にみると、岩津地域、矢作地域、六ツ美地域及び東部地域で「税金等を極力安くして、負担額に見合ったサービス内容にすべき」との回答が 30%以上となっている。一方で、六ツ美地域では「税金等が多少高くなっても、公共サービスを充実させていくべき」との回答が最も多い（12.3%）。「サービスの一端を市民・ボランティアが担うことによって、税金等の負担を軽減すべき」との回答割合は、岡崎地域で最も高く（25.0%）、「サービスの一端を市民・ボランティアが担うことによって、新たな公共サービスに振り向けるべき」との回答割合は本庁地域で最も高い（15.3%）。

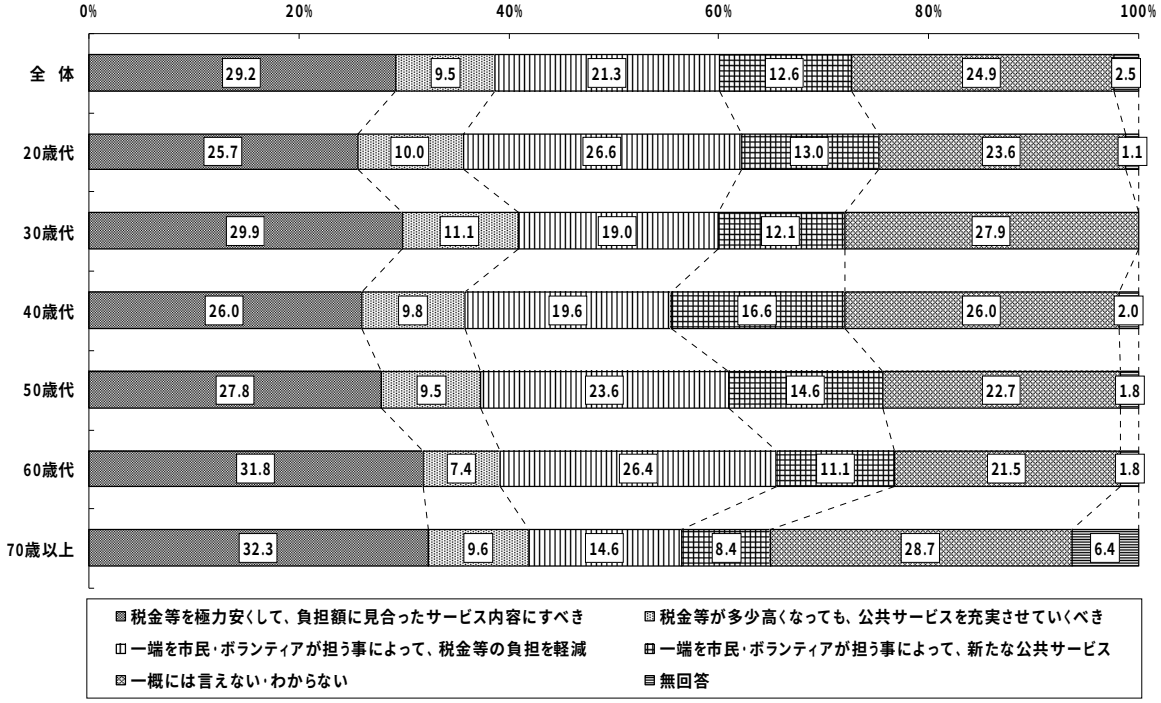
図 5a　「権利」と「義務」について（地域別）



＜年齢別＞

年齢別にみると、「税金等を極力安くして、負担額に見合ったサービス内容にすべき」との回答割合が高いのは、60 歳代（31.8%）、70 歳以上（32.3%）で、「税金等が多少高くなっても、公共サービスを充実させていくべき」との回答割合は 30 歳代で高い（11.1%）。「サービスの一端を市民・ボランティアが担うことによって、税金等の負担を軽減すべき」は 20 歳代（26.6%）、60 歳代（26.4%）で高く、「サービスの一端を市民・ボランティアが担うことによって、新たな公共サービスに振り向けるべき」との回答は 40 歳代（16.6%）、50 歳代（14.6%）で高い。

図 5b　「権利」と「義務」について（年齢別）



問６　民間委託について

公共サービスの民間委託についてうかがったところ、「サービスの質が向上するのであれば、民間にまかせてよい」（38.8%）、「利用料金などの負担が低いのであれば、民間にまかせてよい」（29.8%）の順に回答が多く、合わせて 68.6%の市民が民間委託に好意的な態度を示している。また、料金の低下よりサービスの向上が図られることを、民間委託に期待している。

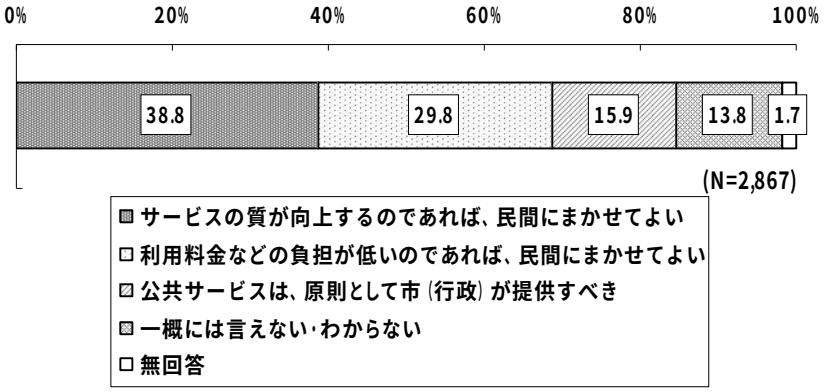
問６
あなたは公共サービスの一部を民間に委託することについて、どのようにお考えになりますか。次の中からあなたの気持ちにもっとも近いものを１つ選び、その番号を○で囲んでください。

表 6　民間委託について

（単位：人、%）

	全体	サービスの質が向上するのであれば、民間にまかせてよい	利用料金などの負担が低いのであれば、民間にまかせてよい	公共サービスは、原則として市（行政）が提供すべき	一概には言えない・わからない	無回答
回答者数	2,867	1,112	854	457	396	48
割合	100	38.8	29.8	15.9	13.8	1.7

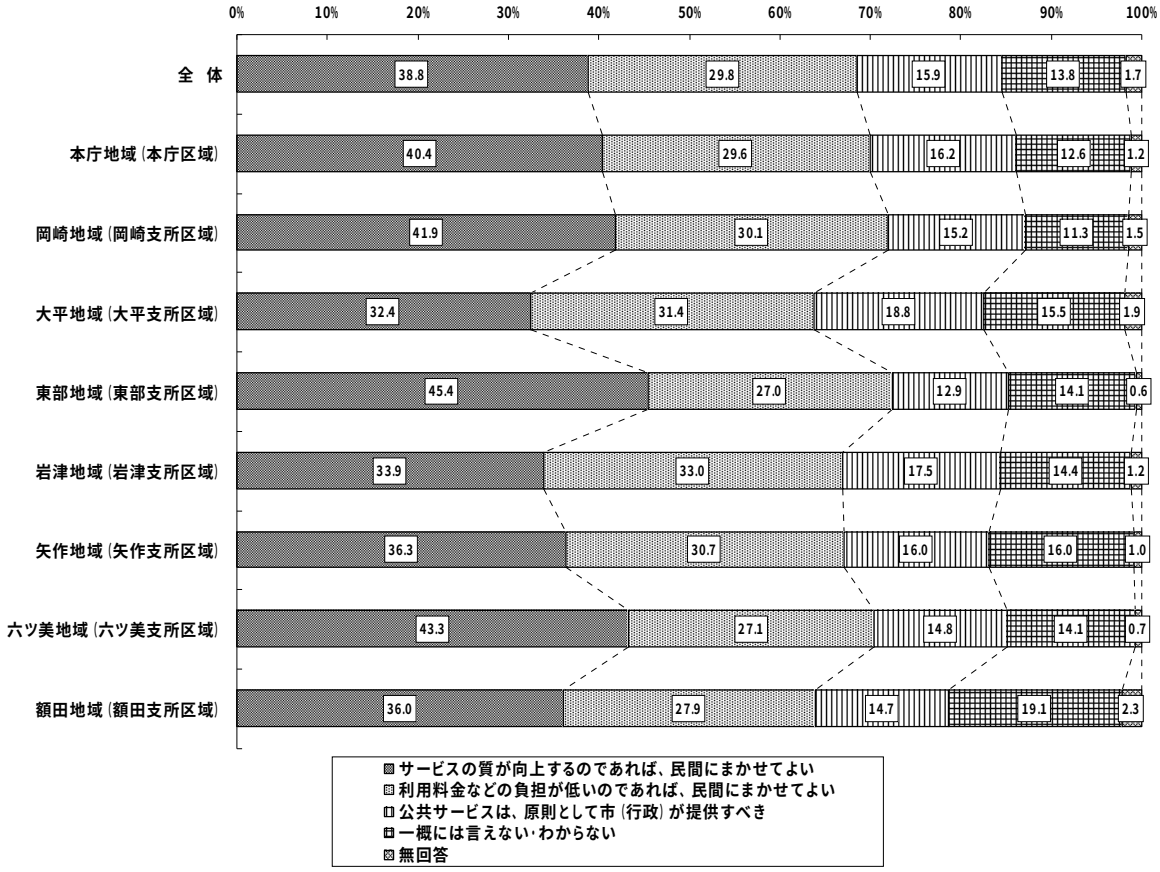
図 6　民間委託について



＜地域別＞

地域別にみると、「サービスの質が向上するのであれば、民間にまかせてよい」の回答割合は東部地域（45.4%）、六ツ美地域（43.3%）で高く、「利用料金などの負担が低いのであれば、民間にまかせてよい」と答えた人は岩津地域（33.0%）で多い。一方で「公共サービスは原則として市（行政）が提供すべき」と答えた人は大平地域（18.8%）で多い。

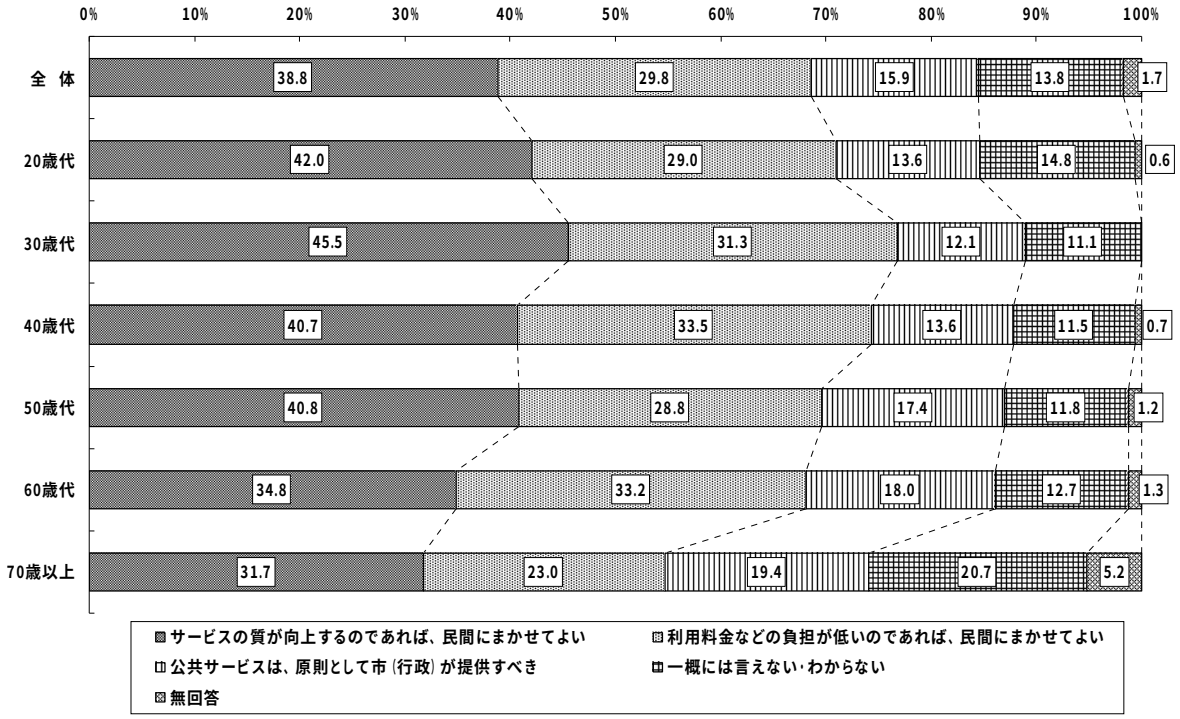
図 6a　民間委託について（地域別）



＜年齢別＞

年齢別にみると、「サービスの質が向上するのであれば、民間にまかせてよい」の回答割合は 30 歳代（45.5%）、20 歳代（42.0%）で高く、「利用料金などの負担が低いのであれば、民間にまかせてよい」の回答割合は 40 歳代（33.5%）、60 歳代（33.2%）で高い。一方で、「公共サービスは原則として市（行政）が提供すべき」との回答割合は、年齢が高くになるにつれ高くなり、70 歳以上では 19.4%となっている。

図 6b　民間委託について（年齢別）



問７　市政との関わりについて、関心のある活動

市政とのかかわりについて、関心のある活動をうかがったところ、なんらかの形で市政に参加したいと回答した人が 64.8%である。特に「世論調査やアンケートで参加したい」との回答が最も多く、31.7%である。

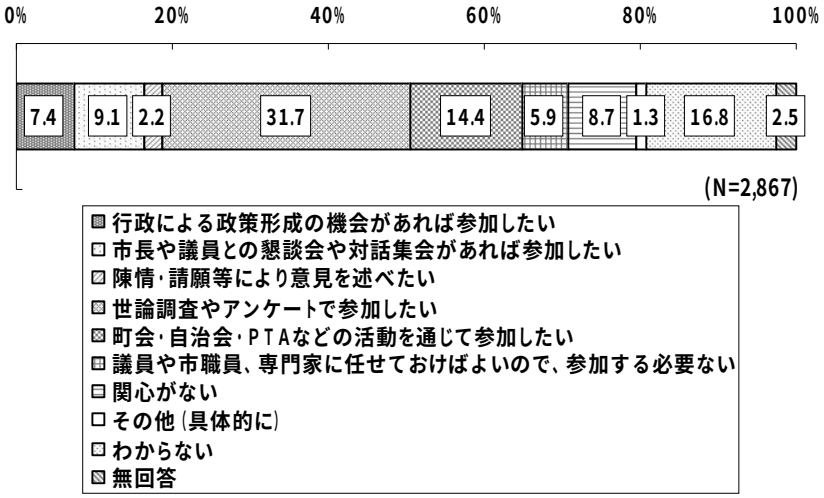
問７
行政（市役所）との関わりについて、あなたは今後どのような活動をしたいとお考えですか。次の中から関心のある主なものを１つ選び、その番号を○で囲んでください。

表７　市政との関わりについて、関心のある活動

（単位：人、%）

	全体	行政による政策形成の機会があれば参加したい	市長や議員との懇談会や対話集会があれば参加したい	陳情・請願等により意見を述べたい	世論調査やアンケートで参加したい	町会・自治会・ＰＴＡなどの活動を通じて参加したい	議員や市職員、専門家に任せておけばよいので、参加する必要ない	関心がない	その他（具体的に）	わからない	無回答
回答者数	2,867	212	260	64	910	412	168	250	38	481	72
割合	100	7.4	9.1	2.2	31.7	14.4	5.9	8.7	1.3	16.8	2.5

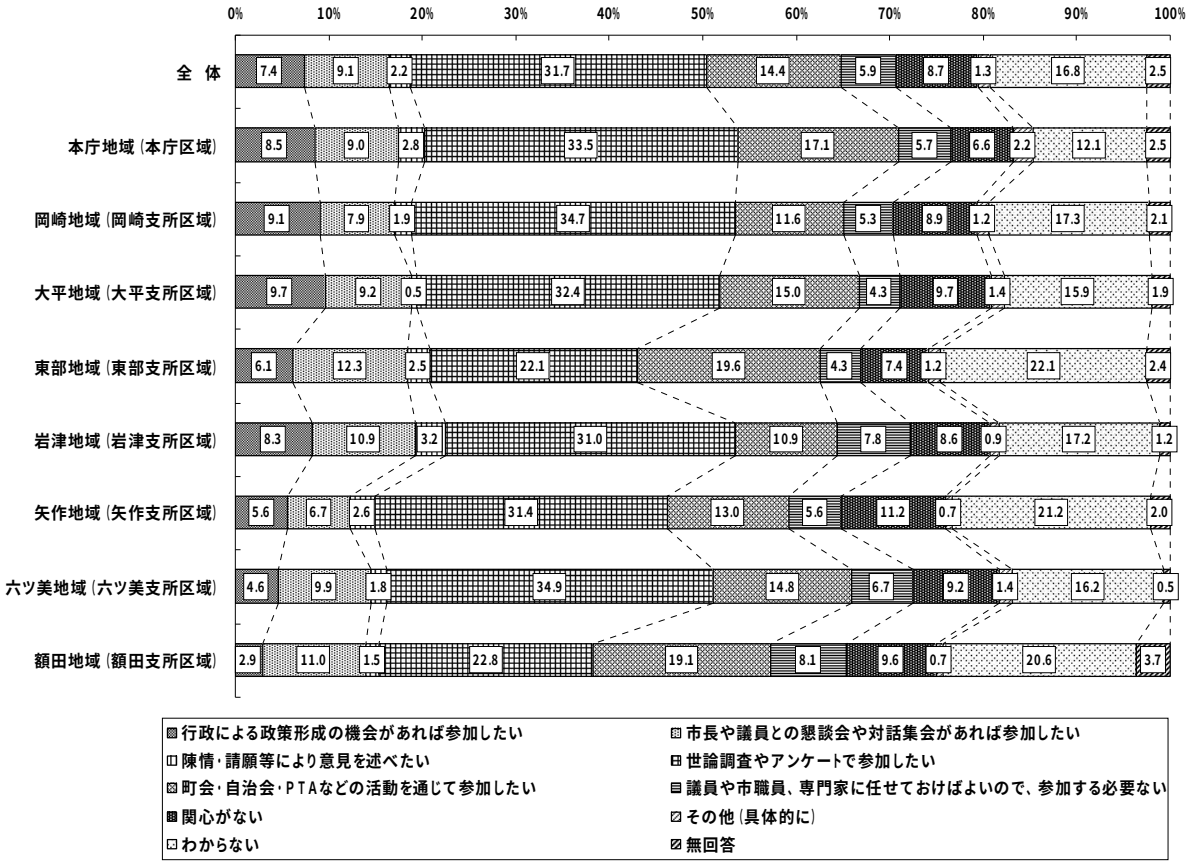
図７　市政との関わりについて、関心のある活動



＜地域別＞

地域別にみると、大平地域、岡崎地域では他地域と比較して「行政による政策形成の機会があれば参加したい」と回答した割合が高く（それぞれ 9.7%、9.1%）、東部地域、額田地域では「町会・自治会・PTA などの活動を通じて参加したい」と回答した割合が高い（それぞれ 19.6%、19.1%）。一方で額田地域では「議員や市職員、専門家に任せておけばよいので、参加する必要はない」という消極的な回答割合も他地域と比較して高い（8.1%）。何らかの形で市政に関わりたいと回答している割合は本庁地域で 70.9%と最も高く、一方で、矢作地域では「関心がない」と回答した割合が 11.2%と他地域と比較して最も高くなっている。

図 7a　市政との関わりについて、関心ある活動（地域別）

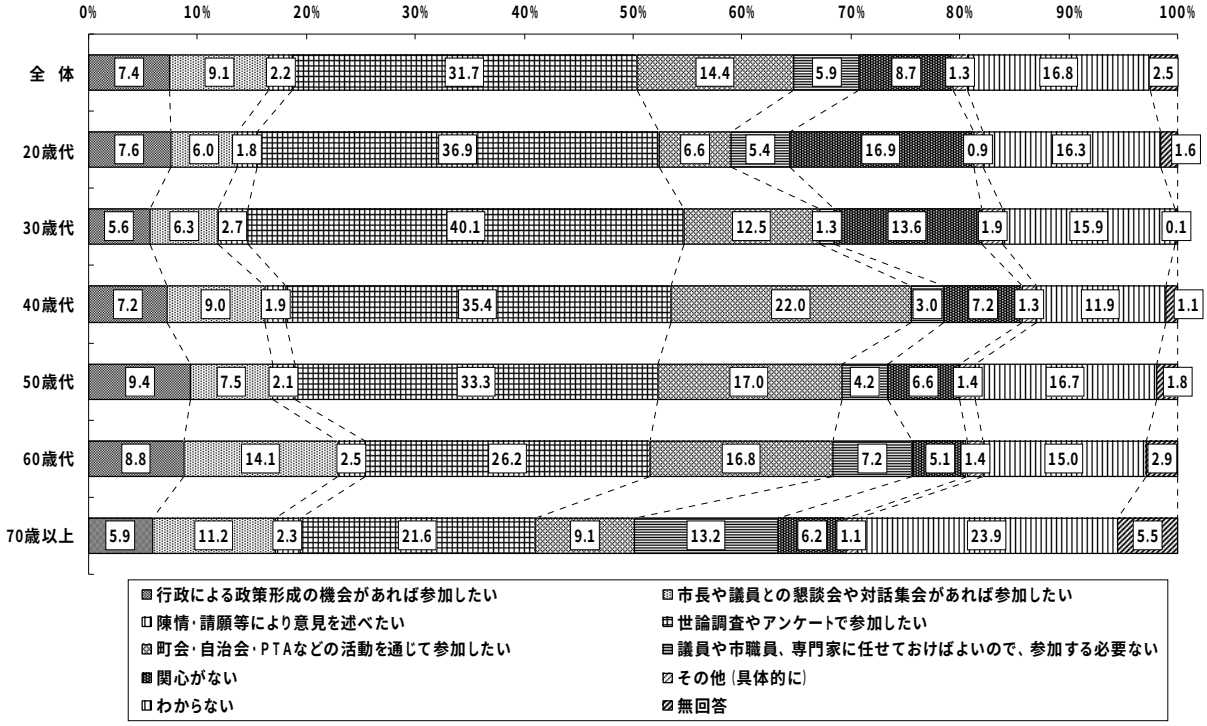


＜年齢別＞

年齢別にみると、50 歳代では「行政による政策形成の機会があれば参加したい」との回答割合が高く（9.4%）、60 歳代、70 歳以上では「市長や議員との懇談会や対話集会があれば参加したい」との回答割合が他の年代より高い（それぞれ 14.1%、11.2%）。一方で 70 歳以上では「議員や市職員、専門家に任せておけばよいので、参加する必要はない」という消極的な回答の割合も 13.2%と高い。40 歳代では「町会・自治会・PTA などの活動を通じて参加したい」との回答割合が 22.0%と高い。

何らかの形で関わりたいと答えた人の割合が最も高いのは 40 歳代で、75.5%と 4 分の 3 以上となっている一方、70 歳以上では 50.1%と最も低い。また、「関心がない」との回答割合は年齢が低くなるにつれ高くなっており、20 歳代では 16.9%となっている。

図 7b　市政との関わりについて、関心ある活動（年齢別）



Ｄ　市民参加のまちづくりについて

問８-１　「市民参加によるまちづくりの取り組み」への過去１年間での参加

「市民参加によるまちづくりの取り組み」に過去 1 年間で参加したかをうかがったところ、「環境保全や清掃活動など、地域の環境を守る活動」への参加経験は高く 51.7%であるが、そのほかの活動への参加経験はあまり高くない。参加経験が 2 番目に多い「道路・公園・公共施設の景観形成や維持などの活動」は 16.0%であり、そのほかの活動は 10%以下となっている。

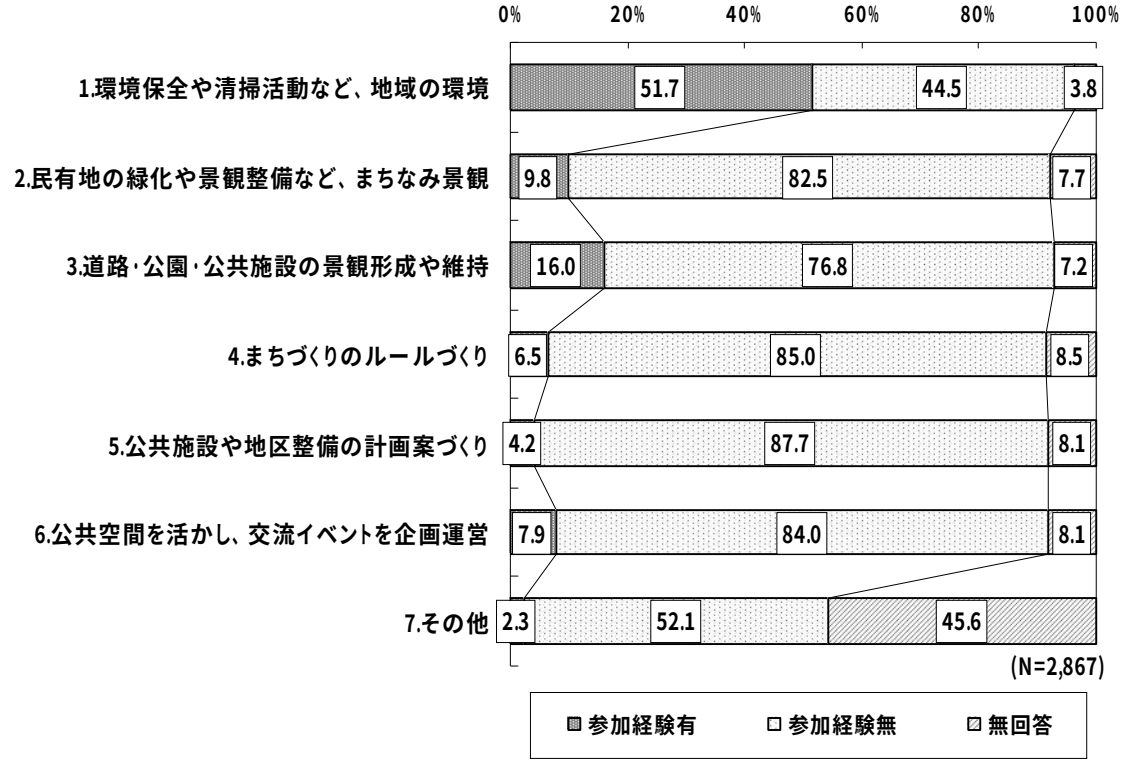
問８－１
地域をよりよくしていくための「市民参加によるまちづくりの取り組み」について、過去１年の間で参加したことがありますか。それぞれの項目について、１度でもあれば「有」に、無ければ「無」に、○を付けてください。

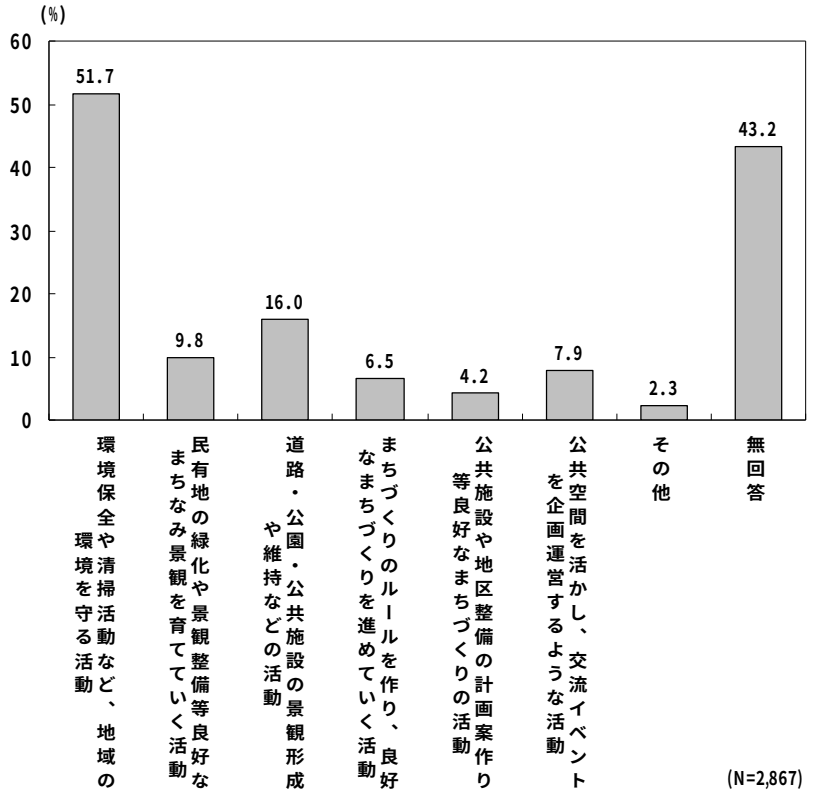
表 8－1　「市民参加によるまちづくりの取り組み」への参加

（単位：人、%）

	全 体	参加経験　有	参加経験　無	無回答
1.環境保全や清掃活動など、地域の環境を守る活動	2,867	1,482	1,276	109
	100	51.7	44.5	3.8
2.民有地の緑化や景観整備等良好なまちなみ景観を育てていく活動	2,867	282	2,365	220
	100	9.8	82.5	7.7
3.道路・公園・公共施設の景観形成や維持などの活動	2,867	459	2,202	206
	100	16.0	76.8	7.2
4.まちづくりのルールを作り、良好なまちづくりを進めていく活動	2,867	185	2,438	244
	100	6.5	85.0	8.5
5.公共施設や地区整備の計画案作り等良好なまちづくりの活動	2,867	120	2,513	234
	100	4.2	87.7	8.1
6.公共空間を活かし、交流イベントを企画運営するような活動	2,867	227	2,407	233
	100	7.9	84.0	8.1
7.その他	2,867	66	1,495	1,306
	100	2.3	52.1	45.6

図８－１　「市民参加によるまちづくりの取り組み」への参加（上段：有無、下段：有のみ）

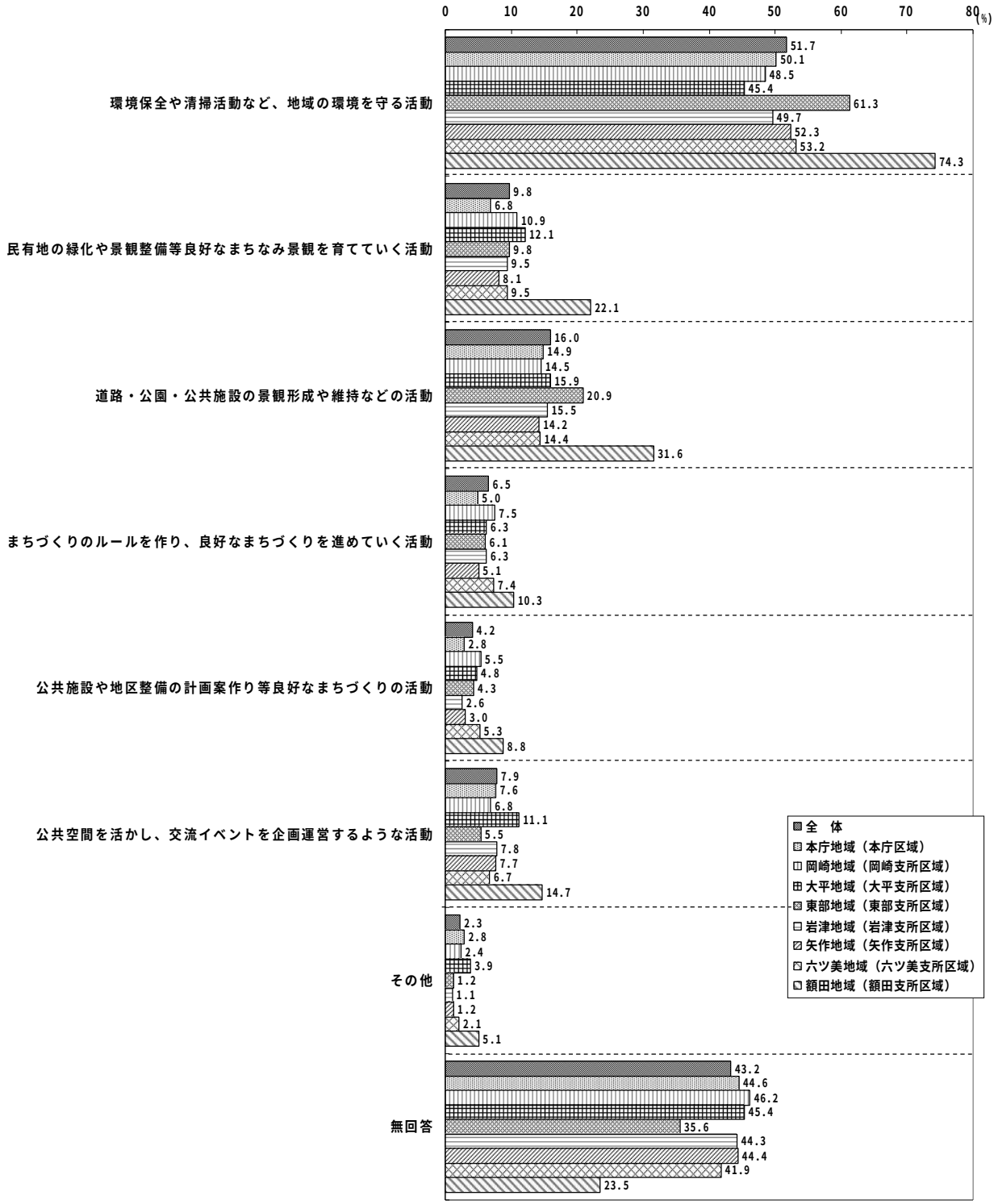




＜地域別＞

地域別にみると、額田地域ではいずれの活動においても、他地域より参加経験の割合が高くなっている。「環境保全や清掃活動など、地域の環境を守る活動」には 74.3%の回答者が参加経験を有しており、上記以外の活動についても、他地域と比較して 2 倍近い参加経験の割合となっているものが多い。額田地域以外では、東部地域で「環境保全や清掃活動など、地域の環境を守る活動」(61.3%)、「道路、公園、公共施設の景観形成や維持などの活動」(20.9%) との回答割合が高い。

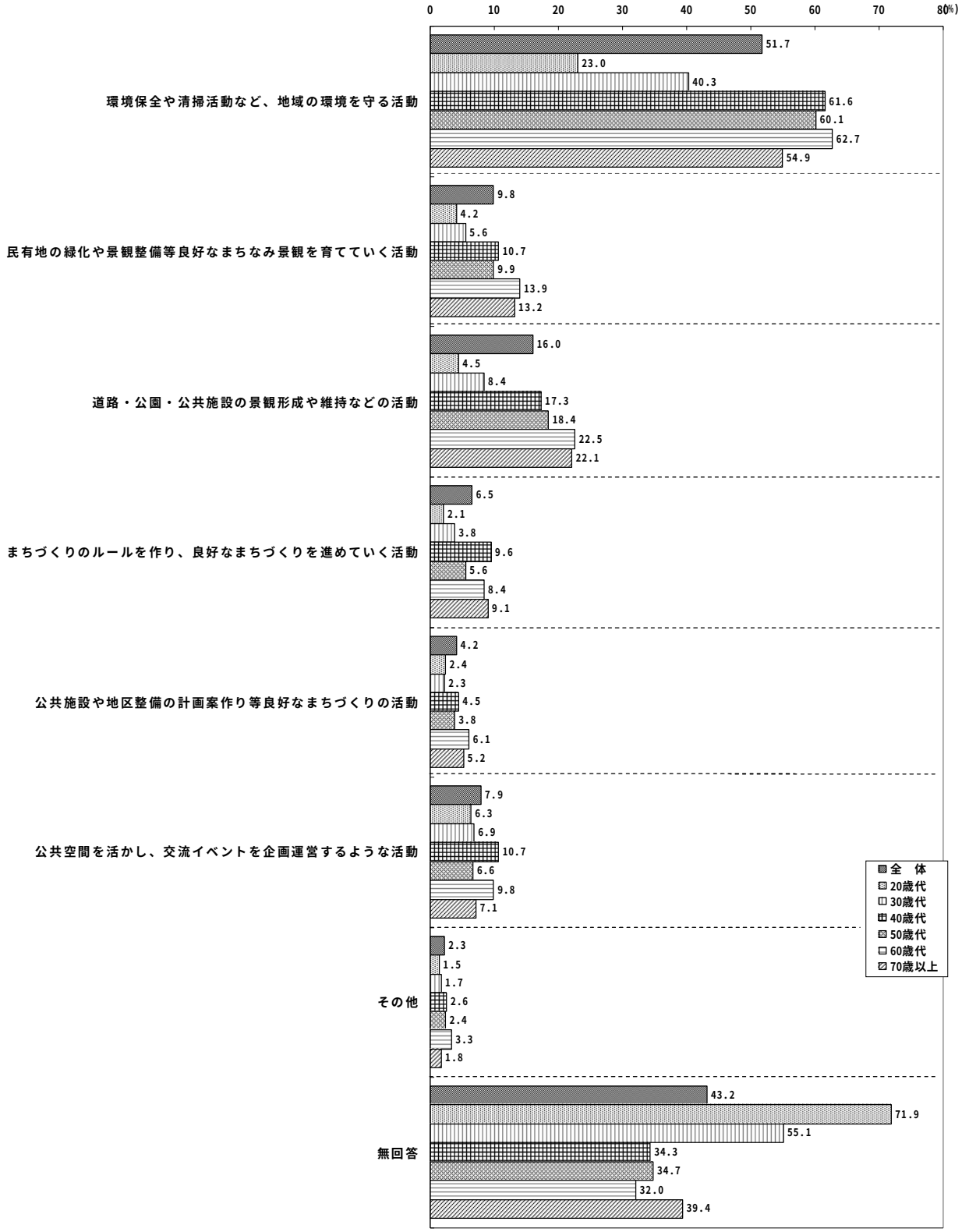
図 8－1a　「市民参加によるまちづくりの取り組み」への参加（地域別）



＜年齢別＞

年齢別にみると、「環境保全や清掃活動など、地域の環境を守る活動」、「民有地の緑化や景観整備等良好なまちなみ景観を育てていく活動」、「道路、公園、公共施設の景観形成や維持などの活動」は年齢が低くなるにつれ参加経験率が低くなっており、特に 20 歳代の参加経験率は低い。

図 8－1b　「市民参加によるまちづくりの取り組み」への参加（年齢別）



問８-２　今後市民活動を活発化させていくために重要な取組み

今後市民活動を活発化させていくために重要な取り組みについてうかがったところ、「環境保全や清掃活動など、地域の環境を守る活動」がもっとも多く 57.6%となっている。次いで、「道路・公園・公共施設の景観形成や維持などの活動」が 43.6%と多い。

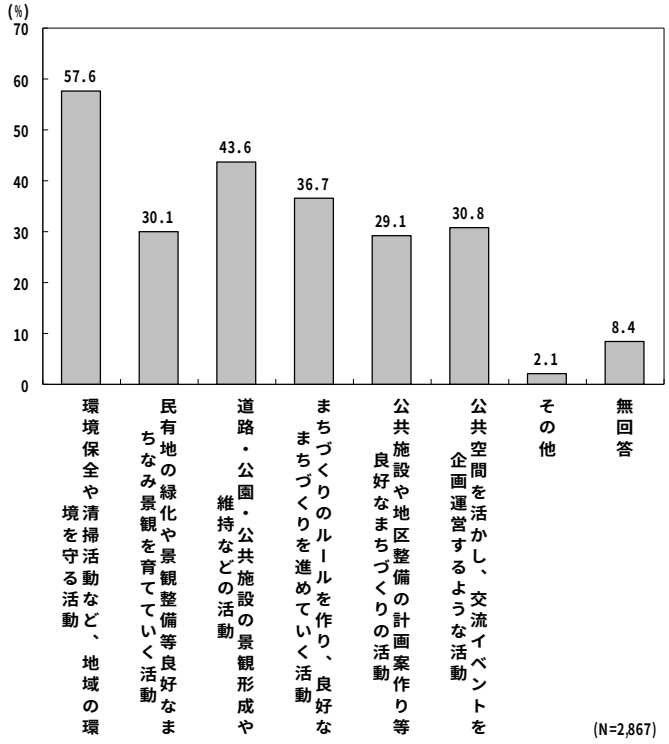
問８－２
また、今後、どのような市民活動を活発化させていくことが重要だとお考えですか。上記１～７の中から、あなたのお考えにもっとも近いものを最大３つまで選び、その番号を記入してください。

表 8－2　市民活動活発化のために重要な取り組み

（単位：人、%）

	全体	環境保全や清掃活動など、地域の環境を守る活動	民有地の緑化や景観整備等良好なまちなみ景観を育てていく活動	道路・公園・公共施設の景観形成や維持などの活動	まちづくりのルールを作り、良好なまちづくりを進めていく活動	公共施設や地区整備の計画案作り等良好なまちづくりの活動	公共空間を活かし、交流イベントを企画運営するような活動	その他	無回答
回答者数	2,867	1,650	864	1,249	1,052	833	883	59	241
割合	100	57.6	30.1	43.6	36.7	29.1	30.8	2.1	8.4

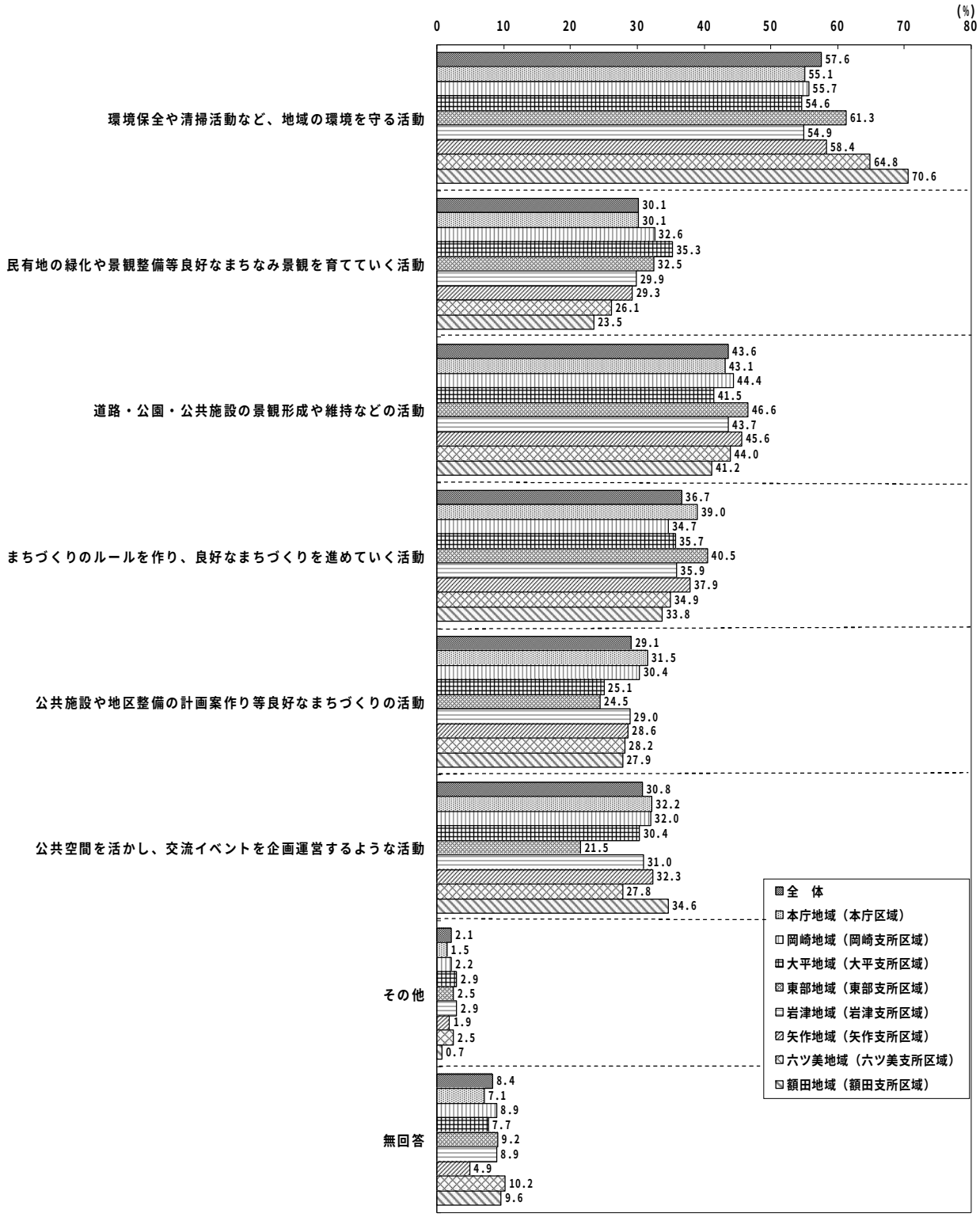
図 8－2　市民活動活発化のために重要な取り組み



＜地域別＞

地域別にみると、「環境保全や清掃活動など、地域の環境を守る活動」と答えた割合が高いのは、額田地域（70.6%）、六ツ美地域（64.8%）、東部地域（61.3%）である。どの地域でも 2 番目に高い回答は、「道路・公園・公共施設の景観形成や維持などの活動」であり、地域間での差異はあまりないが、そのなかで大平地域（41.5%）、額田地域（41.2%）は若干低くなっている。

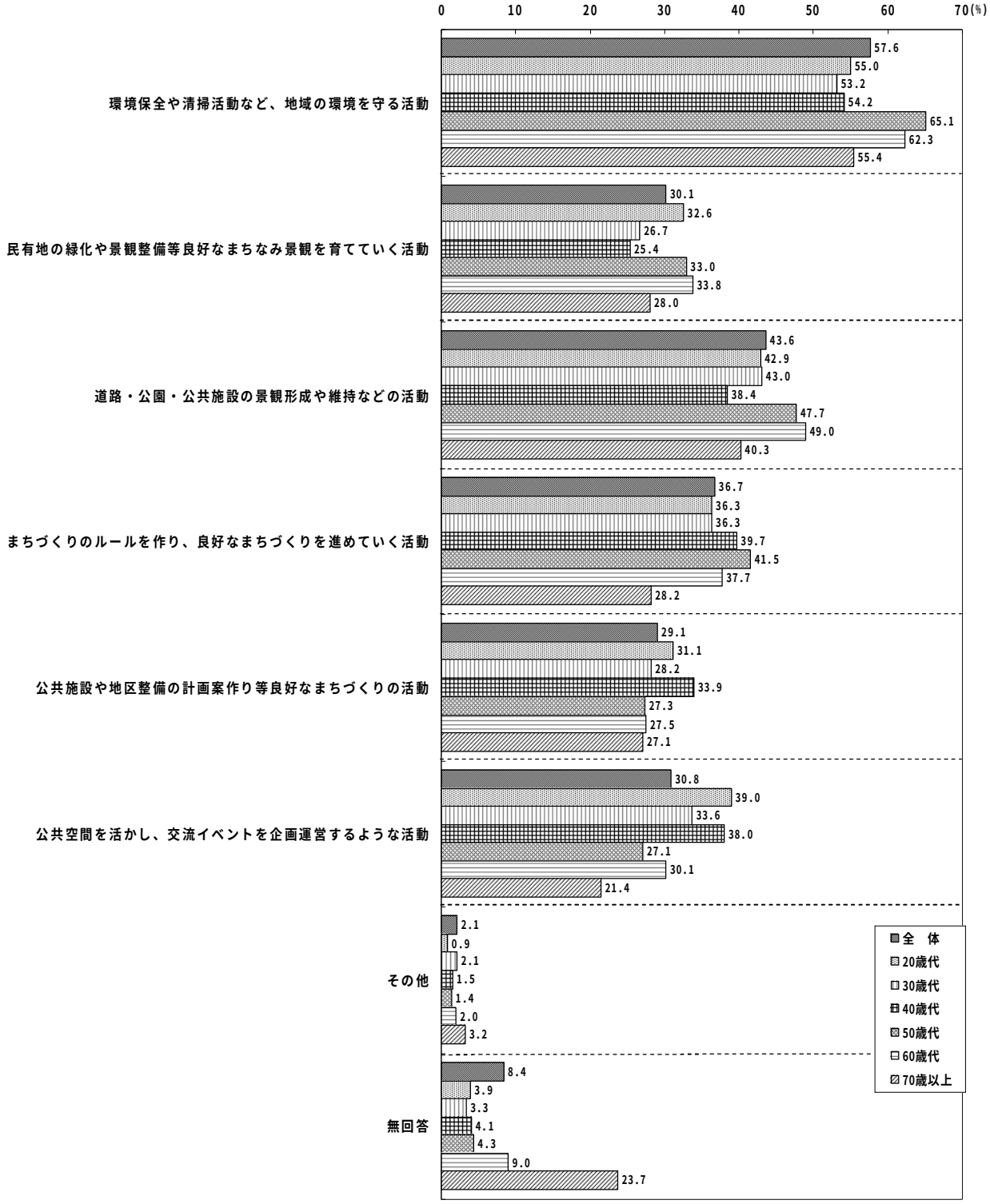
図 8－2a　市民活動活発化のために重要な取り組み（地域別）



＜年齢別＞

年齢別にみると、「環境保全や清掃活動など、地域の環境を守る活動」、「道路・公園・公共施設の景観形成や維持などの活動」とも 50 歳代（それぞれ 65.1%、47.7%）、60 歳代（それぞれ 62.3%、49.0%）で他の年齢と比較して高くなっている。一方、「公共空間を活かし、交流イベントを企画運営するような活動」と答えた人の割合は、20 歳代（39.0%）で他の年齢と比べて高くなっている。

図 8－2b　市民活動活発化のために重要な取り組み（年齢別）



問９　市民活動を活性化させていくため重要な「行政の支援」

「市民参加によるまちづくり」を活性化していくために重要な「行政の支援」についてうかがったところ、「市の広報紙や HP による、まちづくりに関する情報提供の充実」が 51.6%と最も多く、次いで、「まちづくりへの関心や機運を高めるための交流イベント等の充実」が 35.2%となっている。

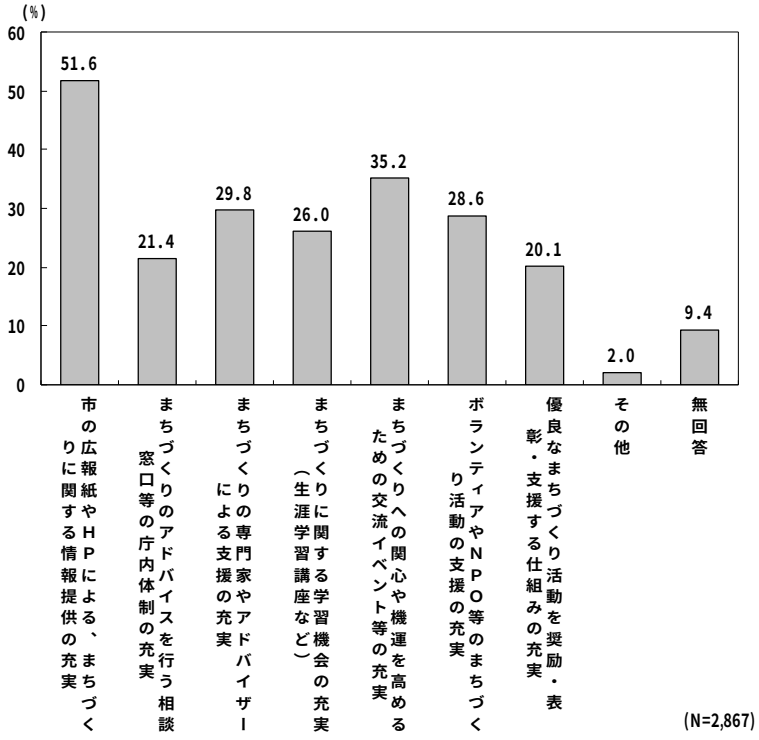
問９
「市民参加によるまちづくり」を活性化していくために、今後、どのような「行政の支援」が重要だとお考えですか。次の中から、あなたのお考えに最も近いものを最大３つまで選び、その番号を○で囲んでください。

表９　市民活動活性化のために重要な行政支援

（単位：人、%）

	全体	市の広報紙やHPによる、まちづくりに関する情報提供の充実	まちづくりのアドバイスを行う相談窓口等の庁内体制の充実	まちづくりの専門家やアドバイザーによる支援の充実	まちづくりに関する学習機会の充実（生涯学習講座など）	まちづくりへの関心や機運を高めるための交流イベント等の充実	ボランティアやNPO等のまちづくり活動の支援の充実	優良なまちづくり活動を奨励・表彰・支援する仕組みの充実	その他	無回答
回答者数	2,867	1,478	613	854	746	1,010	821	577	58	270
割合	100	51.6	21.4	29.8	26.0	35.2	28.6	20.1	2.0	9.4

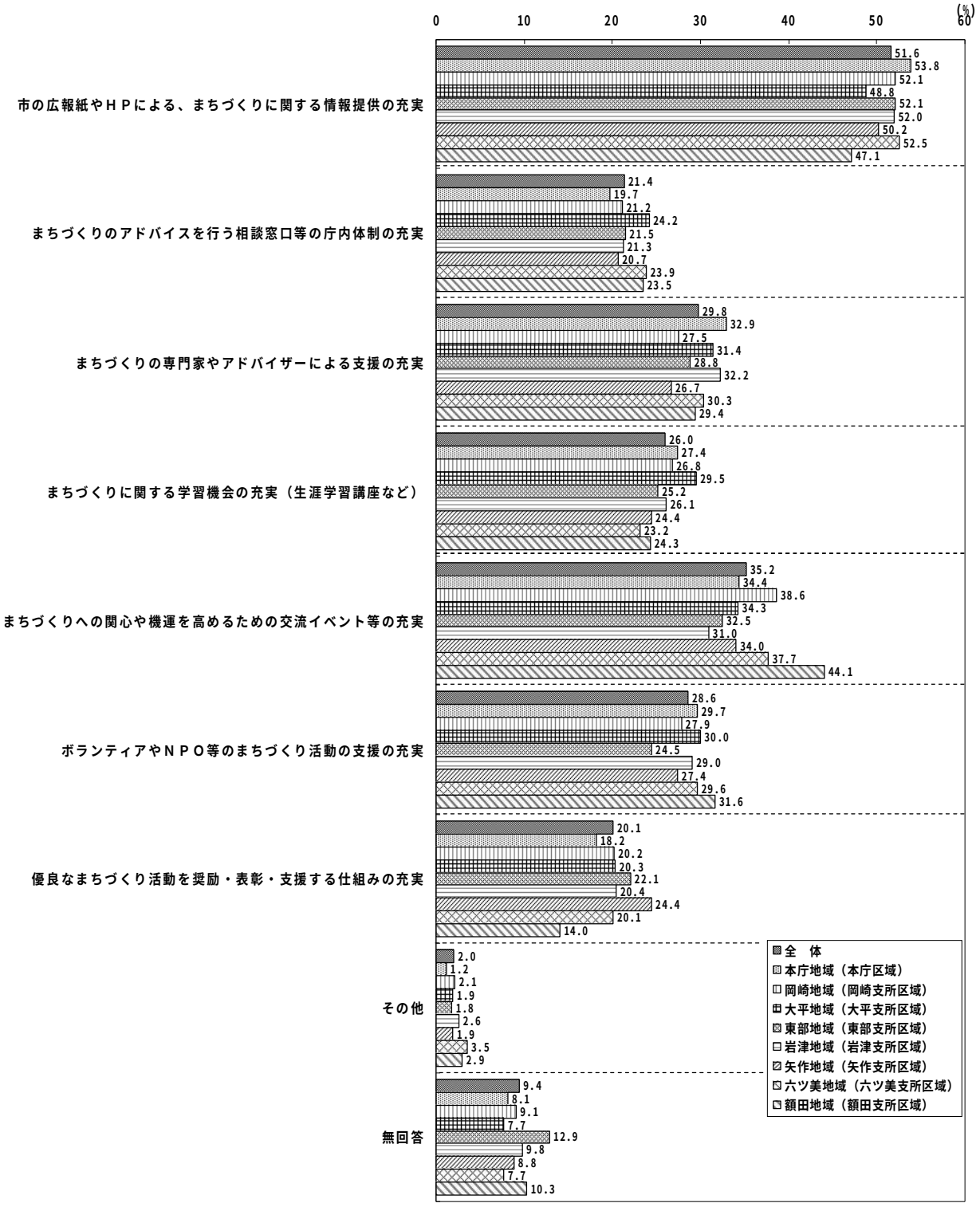
図９　市民活動活性化のために重要な行政支援



＜地域別＞

地域別にみると、「市の広報紙や HP による、まちづくりに関する情報提供の充実」と答えた人の割合が他地域と比較して低いのは大平地域（48.8%）と額田地域（47.1%）であり、5 割に達していない。一方、「まちづくりへの関心や機運を高めるための交流イベント等の充実」と答えた人の割合は、額田地域（44.1%）、岡崎地域（38.6%）で高くなっている。

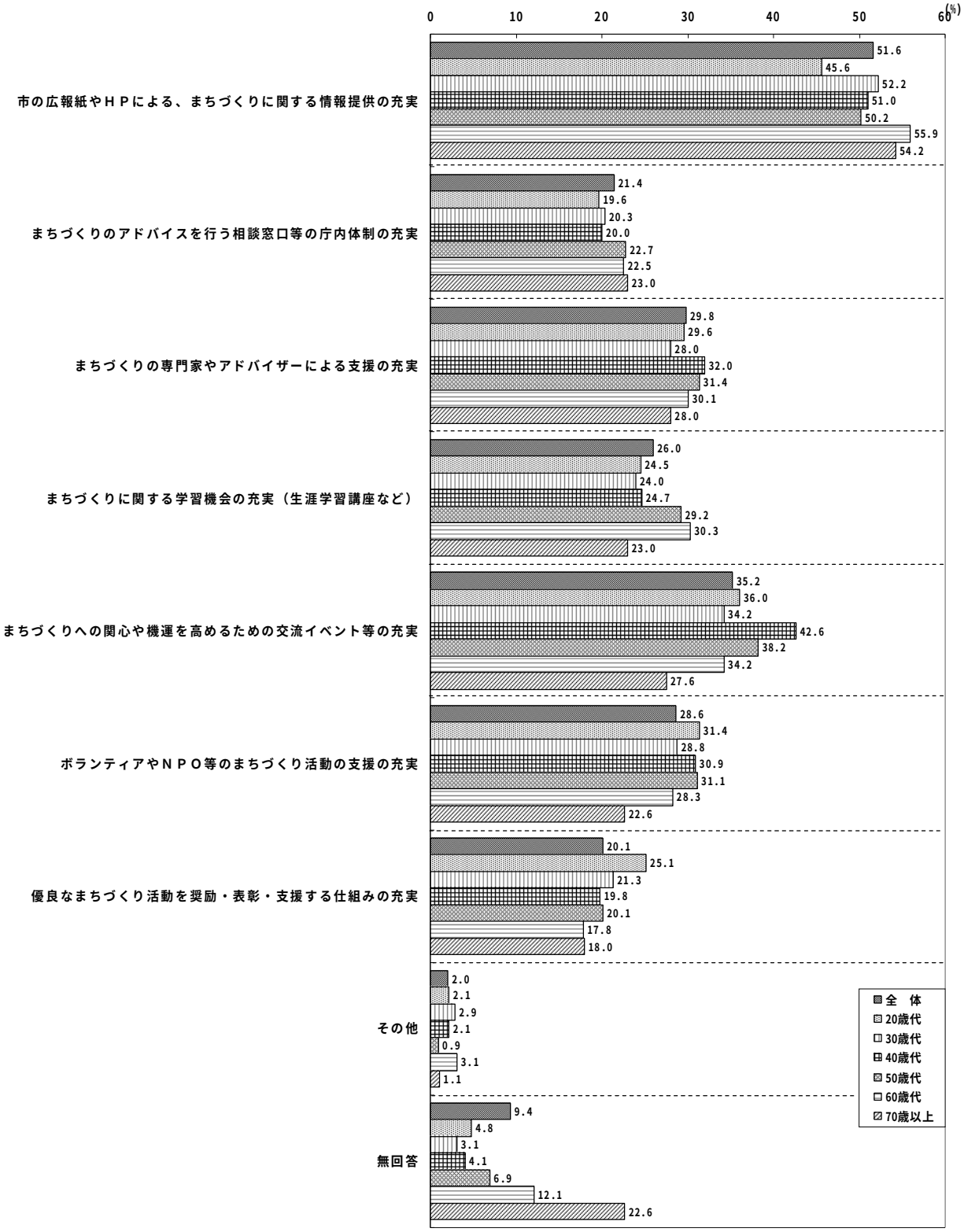
図 9a　市民活動活性化のために重要な行政支援（地域別）



＜年齢別＞

年齢別にみると、「市の広報紙や HP による、まちづくりに関する情報提供の充実」と答えた人の割合が高いのは、60 歳代（55.9%）、70 歳以上（54.2%）であり、「まちづくりへの関心や機運を高めるための交流イベント等の充実」と答えた人の割合は 40 歳代（42.6%）で高くなっている。

図 9b　市民活動活性化のために重要な行政支援（年齢別）



E　市全体の環境や交通について

問１０　美しい都市をめざすために重要な取り組み

美しい都市をめざすために重要な取り組みについてうかがったところ、「河川などの水辺景観の保全・整備」が 44.4%と最も多く、次いで「中心市街地や主要駅周辺等における景観づくり」が 40.4%と多くなっている。

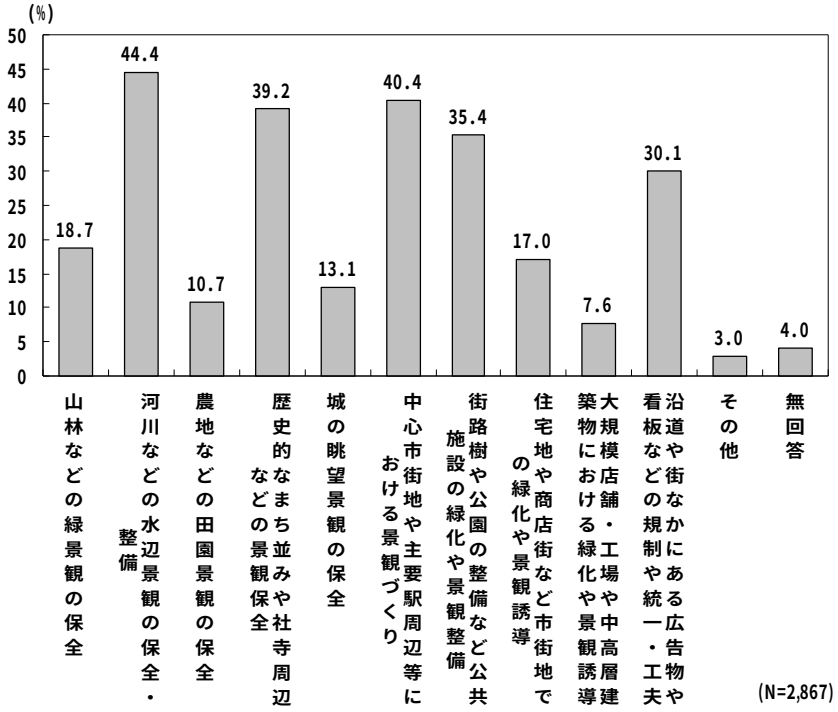
問１０
美しい都市をめざすためには、どのような取り組みが重要だとお考えですか。次の中からあなたのお考えに最も近いものを最大 3 つまで選び、その番号を○で囲んでください。

表 10　美しい都市をめざすために重要な取り組み

（単位：人、%）

	全体	山林などの緑景観の保全	河川などの水辺景観の保全・整備	農地などの田園景観の保全	歴史的なまち並みや社寺周辺などの景観保全	城の眺望景観の保全	中心市街地や主要駅周辺等における景観づくり	街路樹や公園の整備など公共施設の緑化や景観整備	住宅地や商店街など市街地での緑化や景観誘導	大規模店舗・工場や中高層建築物における緑化や景観誘導	沿道や街なかにある広告物や看板などの規制や統一・工夫	その他	無回答
回答者数	2,867	536	1,272	307	1,125	375	1,158	1,014	487	218	863	86	114
割合	100	18.7	44.4	10.7	39.2	13.1	40.4	35.4	17.0	7.6	30.1	3.0	4.0

図 10　美しい都市をめざすために重要な取り組み

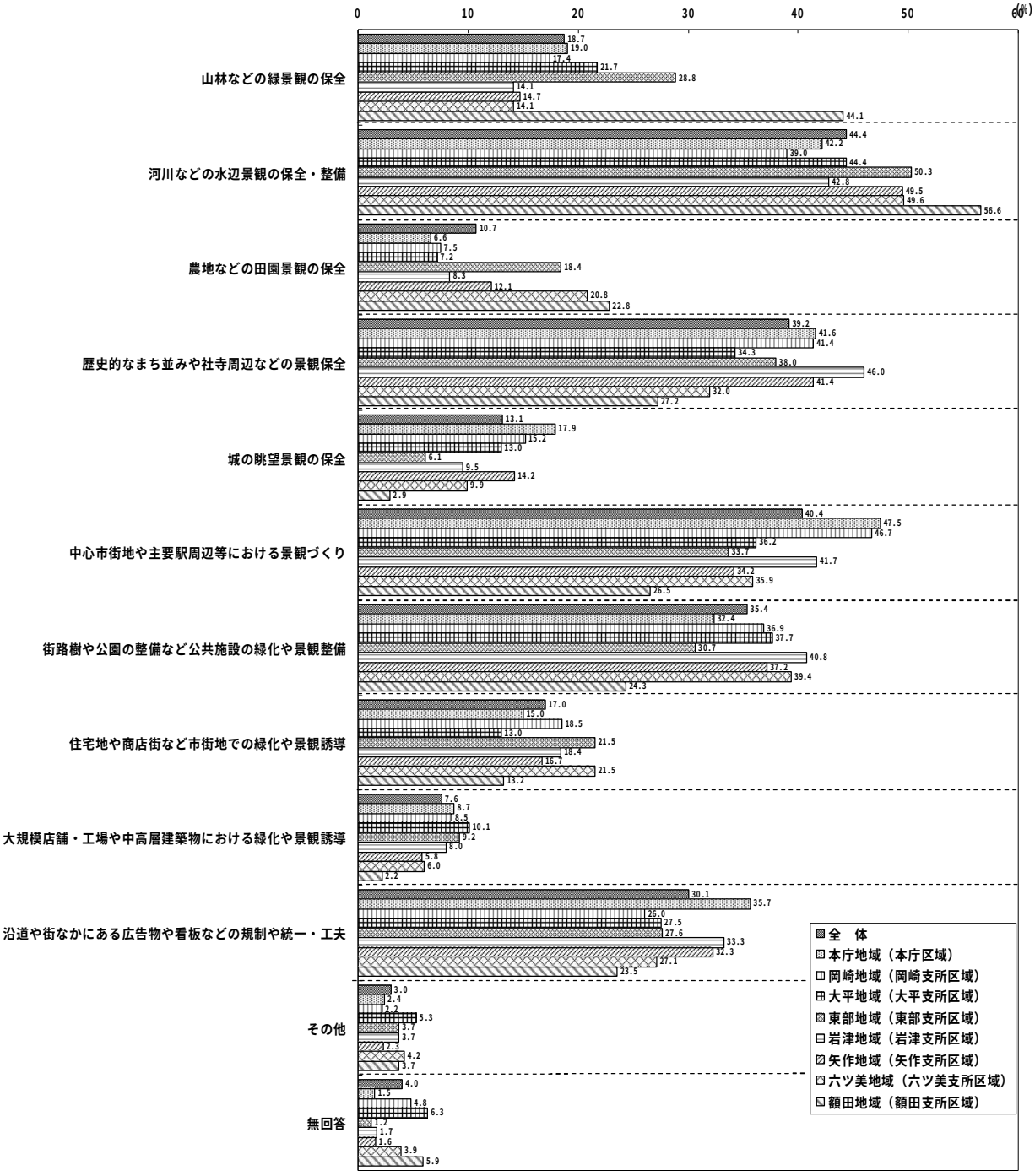


＜地域別＞

地域別にみると、「河川などの水辺景観の保全・整備」の回答割合が高いのは、額田地域（56.6%）で他地域と大差をつけている。また、額田地域は、「山林などの緑景観の保全」においても 44.1%と飛びぬけて高くなっている。

次に「中心市街地や主要駅周辺等における景観づくり」の回答割合が本庁地域（47.5%）、岡崎地域（46.7%）で高くなっている。また、「歴史的なまち並みや社寺周辺などの景観保全」と「街路樹や公園の整備など公共施設の緑化や景観整備」の回答割合が他地域より高いのは岩津地域で、それぞれ 46.0%、40.8%である。

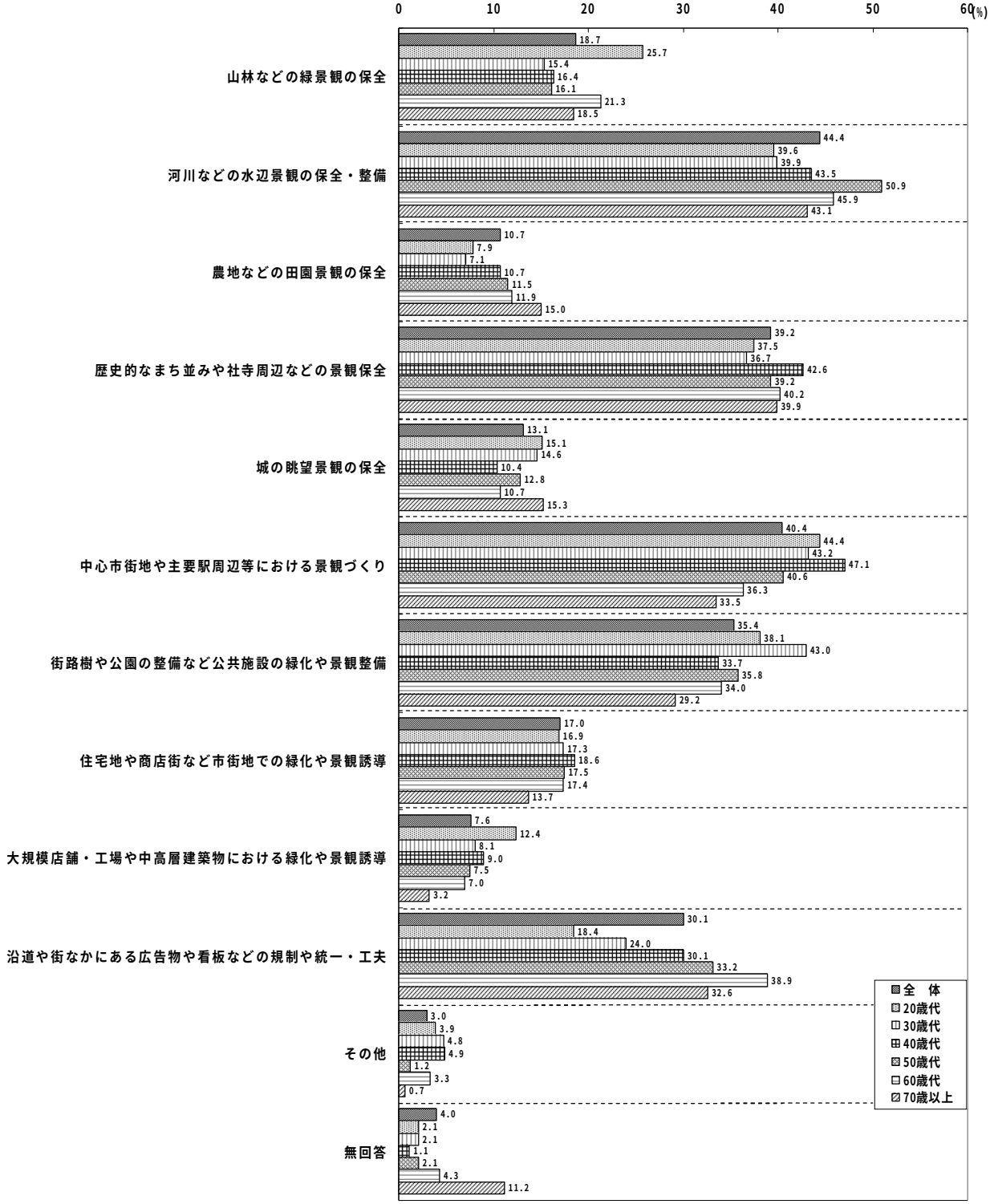
図 10a　美しい都市をめざすために重要な取り組み（地域別）



＜年齢別＞

年齢別にみると、「河川などの水辺景観の保全・整備」と答えた人の割合は 50 歳代で 50.9%と高いのに対し、20 歳代、30 歳代では 39.6%、39.9%と低い。次に「中心市街地や主要駅周辺等における景観づくり」と答えた人の割合は 40 歳代で 47.1%と高いのに対し、50 歳代以上では低く、年齢が上がるにつれて低くなっている。「歴史的なまち並みや社寺周辺などの景観保全」との回答は 40 歳代では 42.6%と高いが、20 歳代、30 歳代では低い。

図 10b　美しい都市をめざすために重要な取り組み（年齢別）



問１１　交通機関の利用頻度

交通機関の利用頻度についてうかがったところ、鉄道においては、「年に数回程度」が 44.5%と最も多く、バスについては「利用していない」が 41.0%と最も多い。一方、自家用車においては「週 5 日以上」が 59.7%と最も多くなっていることから、公共交通機関の利用が少なく、自家用車に依存した社会といえる。自転車については「利用していない」が 38.2%と最も多くなっている。

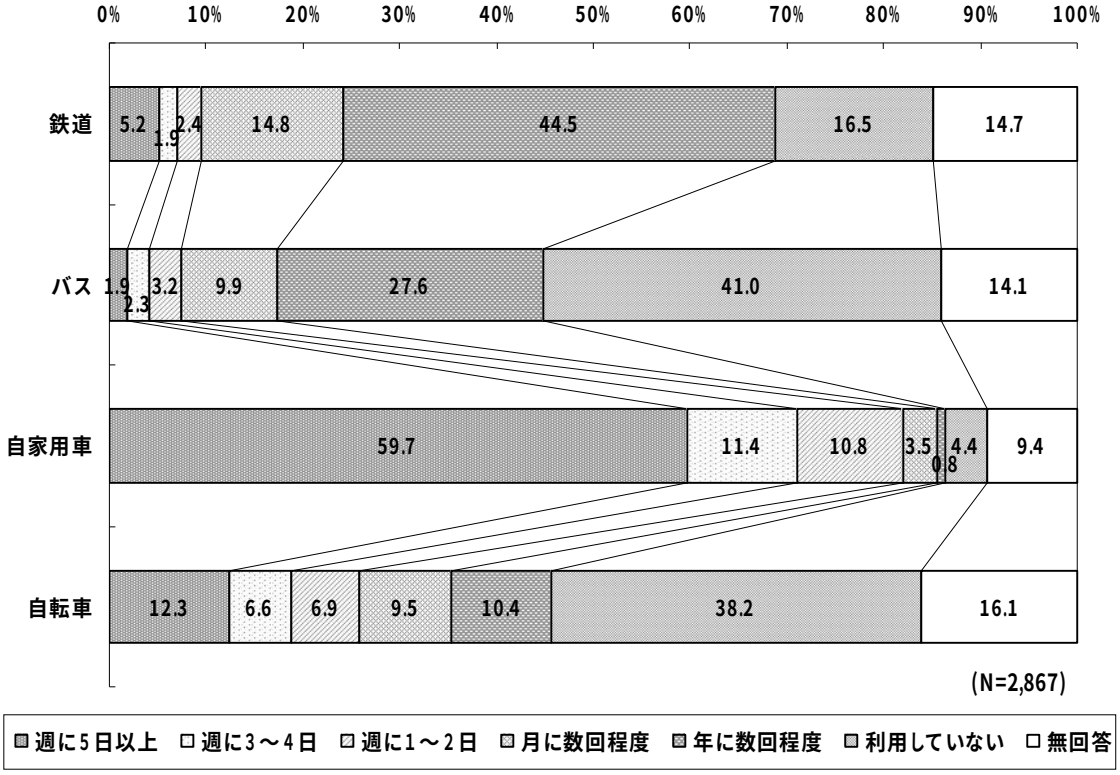
問１１
あなたは、次の交通機関をどの程度利用していますか。それぞれの交通機関ごとに、当てはまるものを１つ選び、その番号を○で囲んでください。

表 11　交通機関の利用頻度

（単位：人、%）

	全体	週に5日以上	週に3～4日	週に1～2日	月に数回程度	年に数回程度	利用していない	無回答
①鉄道	2,867	150	54	68	424	1,276	472	423
	100	5.2	1.9	2.4	14.8	44.5	16.5	14.7
②バス	2,867	54	65	92	284	792	1,175	405
	100	1.9	2.3	3.2	9.9	27.6	41.0	14.1
③自家用車	2,867	1,712	328	310	99	23	127	268
	100	59.7	11.4	10.8	3.5	0.8	4.4	9.4
④自転車	2,867	353	189	199	271	298	1,096	461
	100	12.3	6.6	6.9	9.5	10.4	38.2	16.1

図 11　交通機関の利用頻度



＜地域別＞

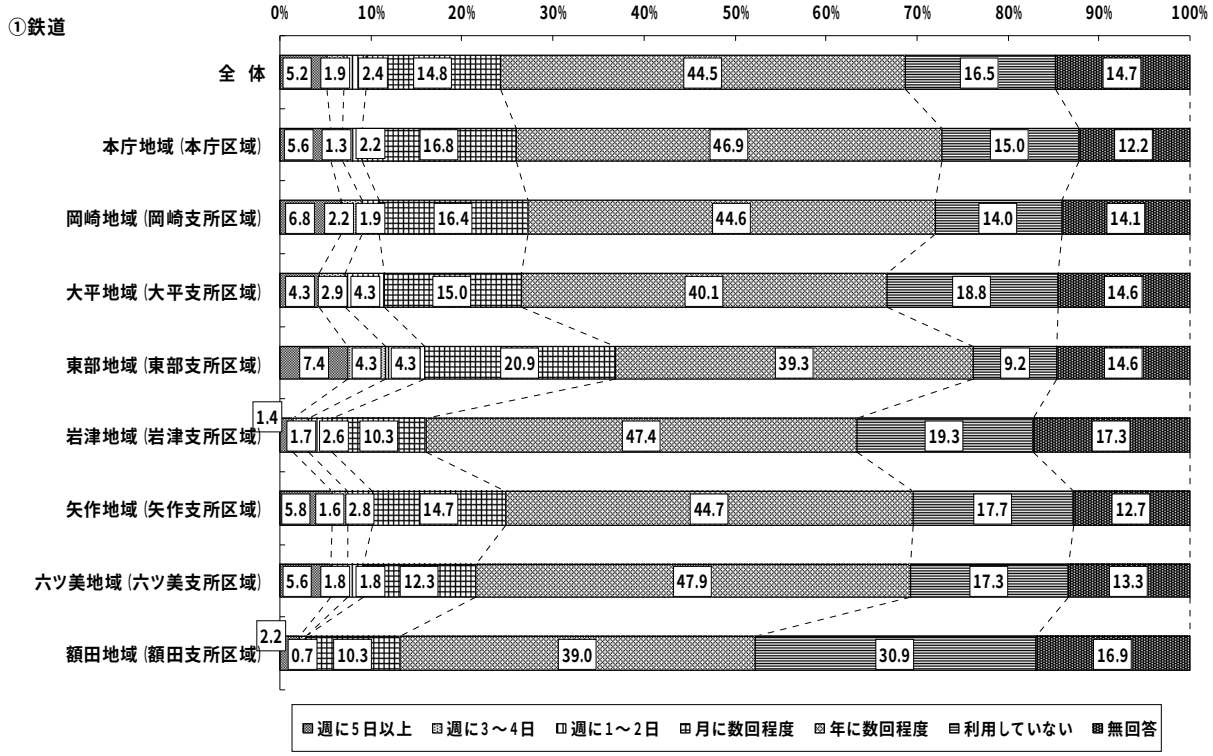
地域別にみると、鉄道においては、東部地域は「週に 5 日以上」の回答割合が 7.4%と他地域より高く、また「年に数回程度」「利用していない」を合わせた、ほとんど利用していないとの回答割合が、48.5%と他地域より低いことから、鉄道の利用率が他地域よりも高いことが読み取れる。

バスにおいては、額田地域と矢作地域において、「利用していない」の回答割合がそれぞれ 63.2%、58.6%であり、「年に数回程度」との回答を合わせた、バスをほとんど利用していない回答者が、4 分の 3 以上を占めている。

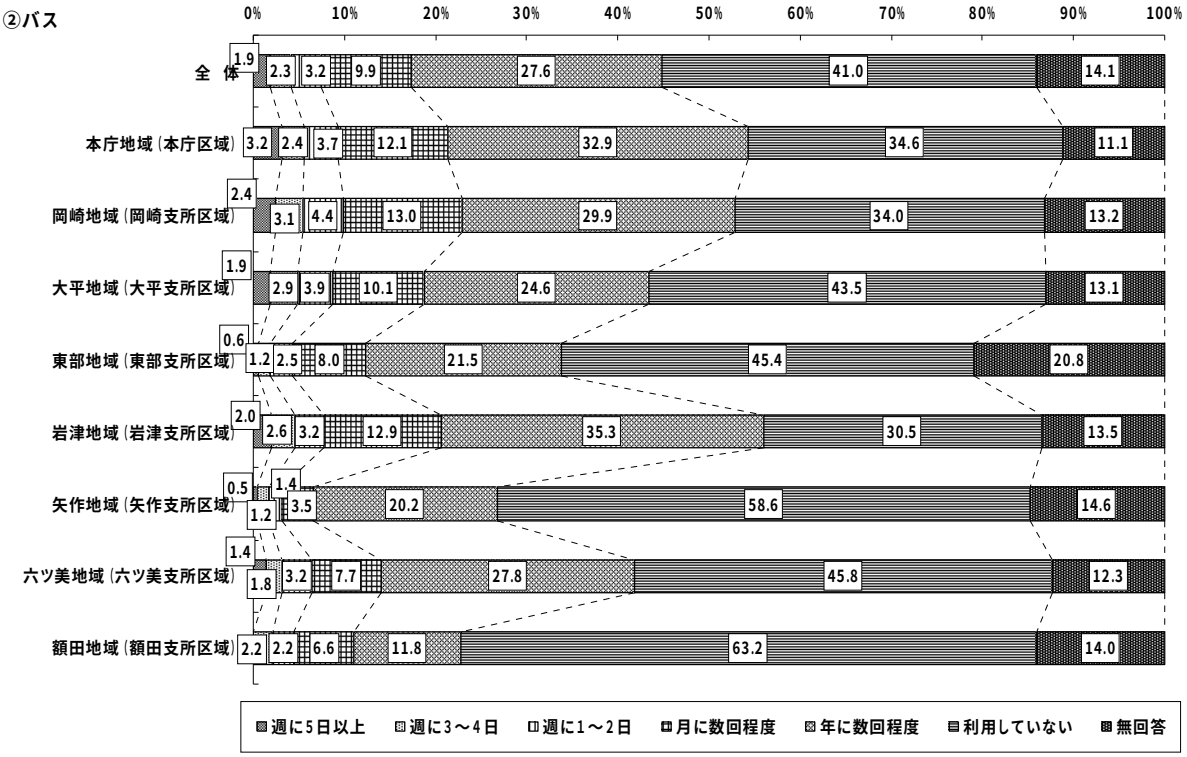
自家用車においては、額田地域、岩津地域で「週に 5 日以上」との回答割合がそれぞれ 69.9%、65.8%と高くなっている。一方で岡崎地域においては「利用していない」との回答割合が他地域より若干高く、6.0%である。「週に 5 日以上」との回答割合も 52.6%と他地域より低い。

自転車においては、「週に 5 日以上」との回答割合が矢作地域で 18.6%、六ツ美地域で 16.9%と、他地域より高い。一方、「利用していない」の回答割合が高い額田地域では、6 割を超えている。

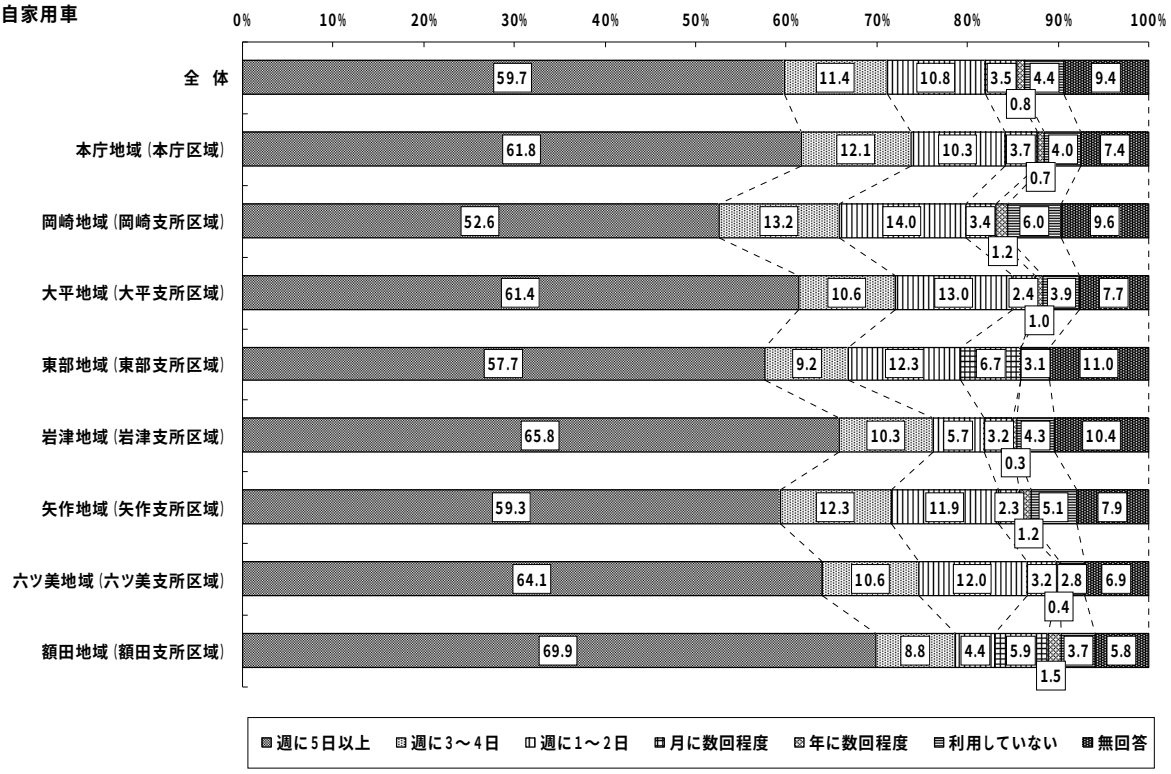
図 11a　交通機関の利用頻度（地域別）

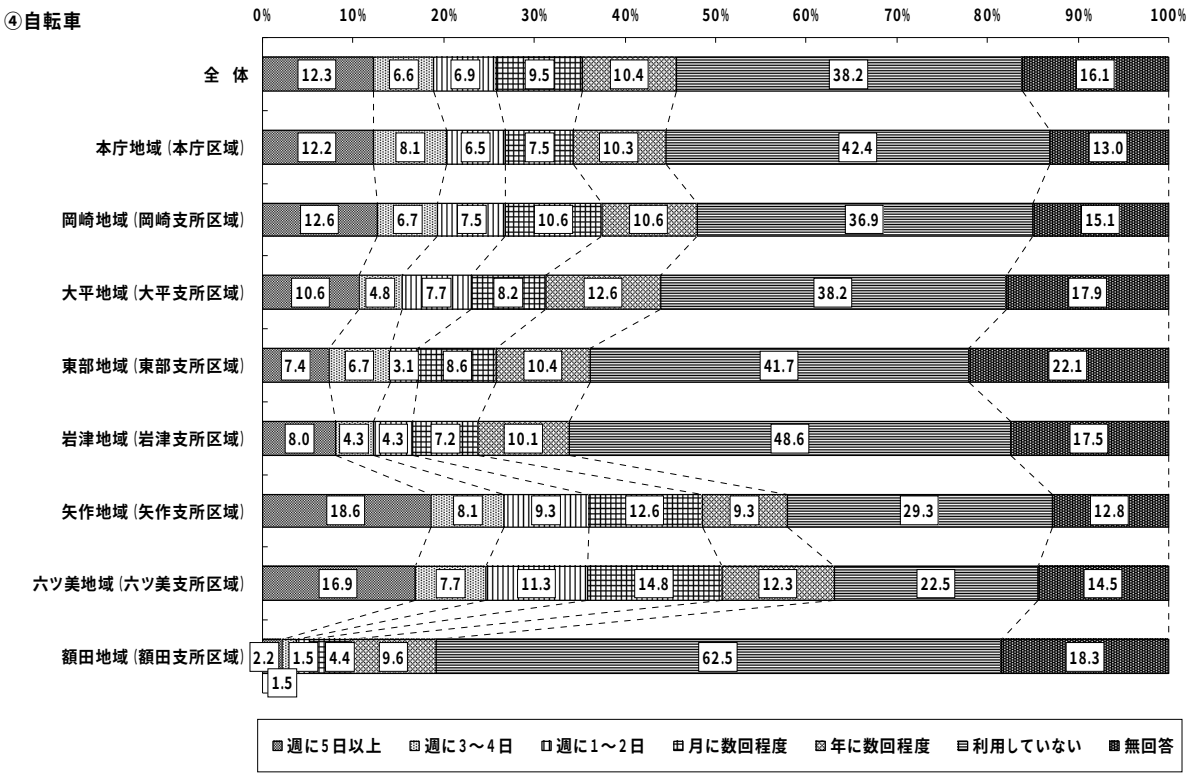


②バス


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全 体
1.9
2.3
3.2
9.9
27.6
41.0
14.1
本庁地域（本庁区域）
3.2
2.4
3.7
12.1
32.9
34.6
11.1
岡崎地域（岡崎支所区域）
2.4
3.1
4.4
13.0
29.9
34.0
13.2
大平地域（大平支所区域）
1.9
2.9
3.9
10.1
24.6
43.5
13.1
東部地域（東部支所区域）
0.6
1.2
2.5
8.0
21.5
45.4
20.8
岩津地域（岩津支所区域）
2.0
2.6
3.2
12.9
35.3
30.5
13.5
矢作地域（矢作支所区域）
0.5
1.4
1.2
3.5
20.2
58.6
14.6
六ツ美地域（六ツ美支所区域）
1.4
1.8
3.2
7.7
27.8
45.8
12.3
額田地域（額田支所区域）
2.2
2.2
6.6
11.8
63.2
14.0
週に5日以上
週に3～4日
週に1～2日
月に数回程度
年に数回程度
利用していない
無回答

③自家用車


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全 体
59.7
11.4
10.8
3.5
0.8
4.4
9.4
本庁地域（本庁区域）
61.8
12.1
10.3
3.7
0.7
4.0
7.4
岡崎地域（岡崎支所区域）
52.6
13.2
14.0
3.4
1.2
6.0
9.6
大平地域（大平支所区域）
61.4
10.6
13.0
2.4
1.0
3.9
7.7
東部地域（東部支所区域）
57.7
9.2
12.3
6.7
3.1
11.0
岩津地域（岩津支所区域）
65.8
10.3
5.7
3.2
0.3
4.3
10.4
矢作地域（矢作支所区域）
59.3
12.3
11.9
2.3
1.2
5.1
7.9
六ツ美地域（六ツ美支所区域）
64.1
10.6
12.0
3.2
0.4
2.8
6.9
額田地域（額田支所区域）
69.9
8.8
4.4
5.9
1.5
3.7
5.8
週に5日以上
週に3～4日
週に1～2日
月に数回程度
年に数回程度
利用していない
無回答



＜年齢別＞

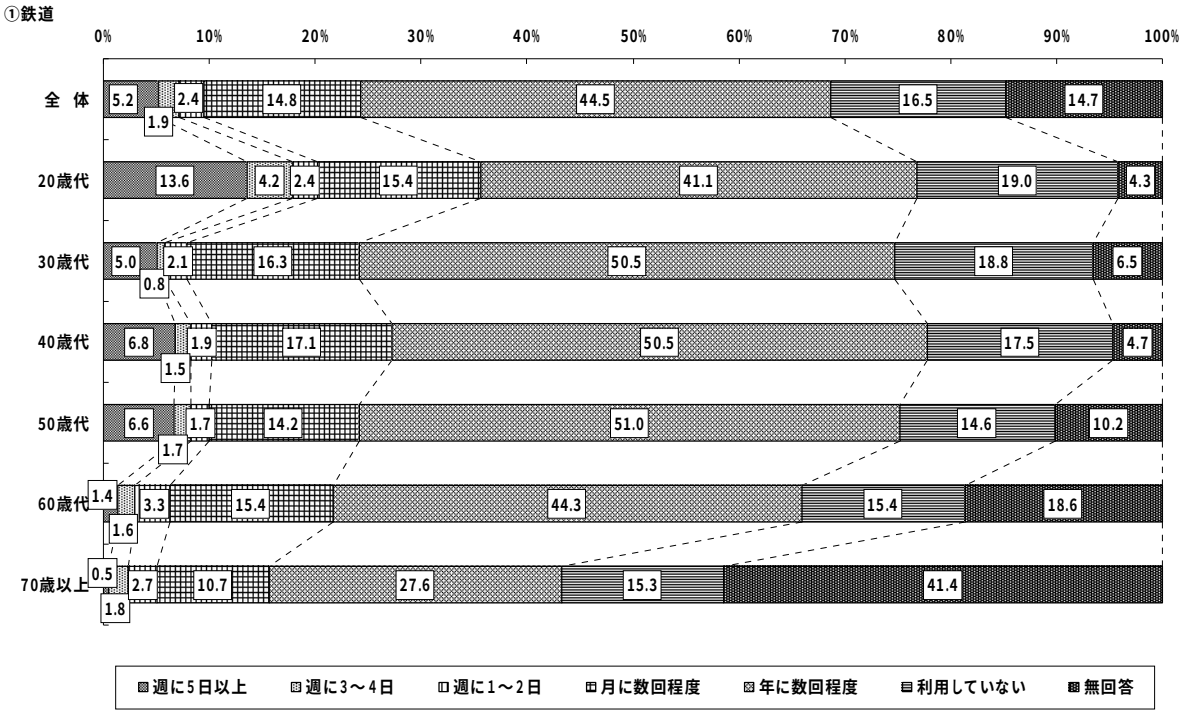
年齢別にみると、鉄道の利用頻度については、20 歳代で「週に 5 日以上」との回答が 13.6%と最も高く、他の年代より利用頻度が高い。

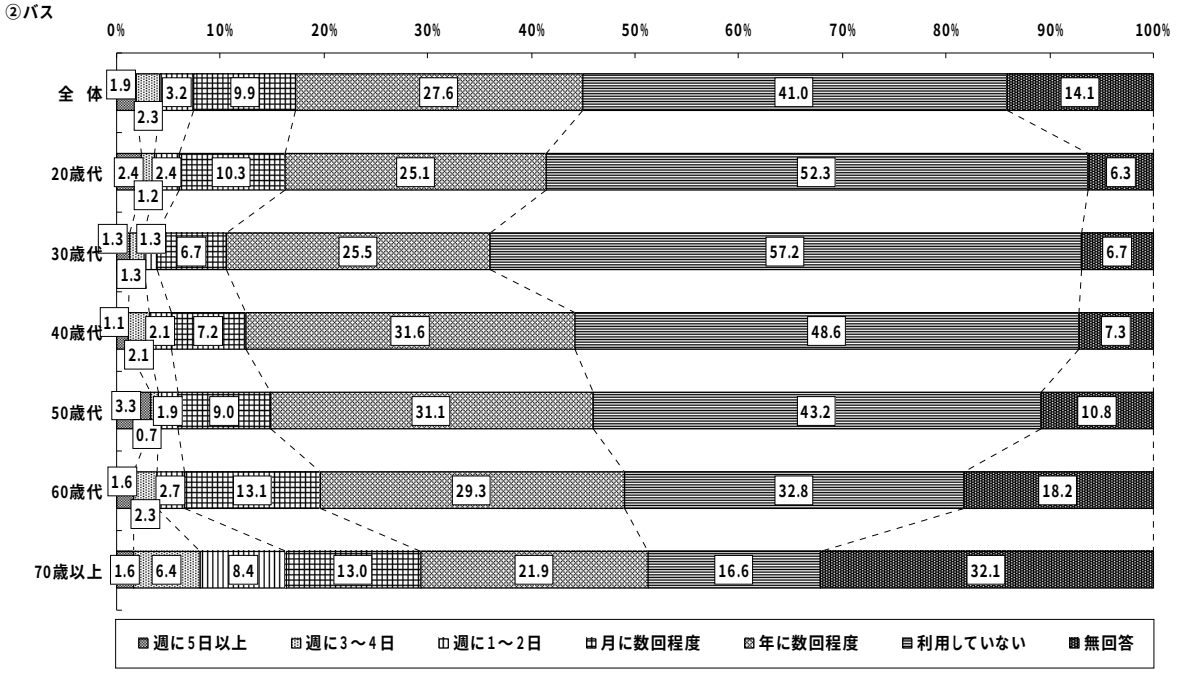
バスの利用頻度については、「利用していない」と「年に数回程度」との回答を合わせた、ほとんど利用していない回答者の割合が最も高いのが 30 歳代（82.7%）で、年齢が高くなるにつれ利用しているとの回答割合が高くなり、70 歳以上では、29.4%が月に数回までは利用している。

自家用車の利用頻度は「週に 5 日以上」との回答割合が最も高いのが 40 歳代で 76.3%となっている。40 歳代以降は年齢の上昇に伴い減少し、70 歳以上では 25.1%となっている。

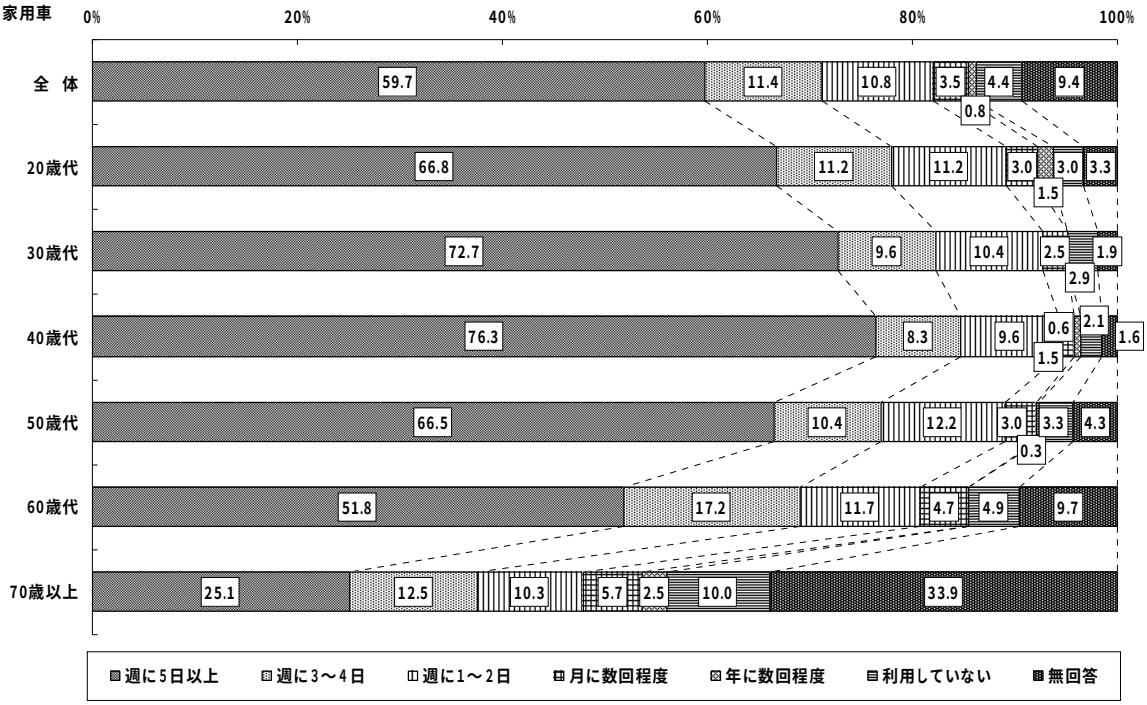
自転車の利用頻度については年齢による差はほとんどないものの、70 歳以上で「週に 5 日以上」と回答した人の割合が他の年齢より若干高く、15.7%となっている。

図 11b　交通機関の利用頻度（年齢別）

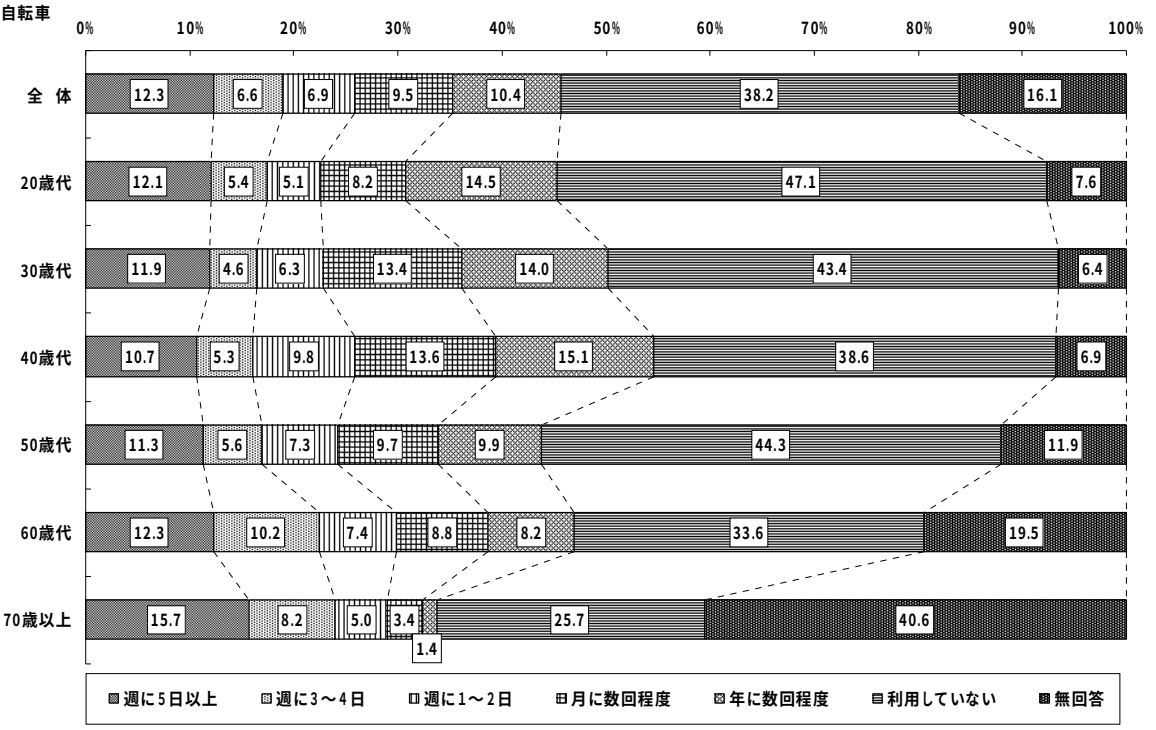




③自家用車


0%
20%
40%
60%
80%
100%
全 体
59.7
11.4
10.8
3.5
4.4
9.4
0.8
20歳代
66.8
11.2
11.2
3.0
3.0
3.3
1.5
30歳代
72.7
9.6
10.4
2.5
1.9
2.9
40歳代
76.3
8.3
9.6
0.6
2.1
1.6
1.5
50歳代
66.5
10.4
12.2
3.0
3.3
4.3
0.3
60歳代
51.8
17.2
11.7
4.7
4.9
9.7
70歳以上
25.1
12.5
10.3
5.7
2.5
10.0
33.9
週に5日以上
週に3～4日
週に1～2日
月に数回程度
年に数回程度
利用していない
無回答

④自転車


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全 体
12.3
6.6
6.9
9.5
10.4
38.2
16.1
20歳代
12.1
5.4
5.1
8.2
14.5
47.1
7.6
30歳代
11.9
4.6
6.3
13.4
14.0
43.4
6.4
40歳代
10.7
5.3
9.8
13.6
15.1
38.6
6.9
50歳代
11.3
5.6
7.3
9.7
9.9
44.3
11.9
60歳代
12.3
10.2
7.4
8.8
8.2
33.6
19.5
70歳以上
15.7
8.2
5.0
3.4
1.4
25.7
40.6
週に5日以上
週に3～4日
週に1～2日
月に数回程度
年に数回程度
利用していない
無回答

問１２　市内の主要駅において重要な交通環境の整備・拡充項目

市内の主要駅において重要な交通環境の整備・拡充についてうかがったところ、「駅前広場の自家用車の乗降場の整備」とする回答が 51.4%と最も多く、他の項目と大差をつけている。次いで「駅前の駐車場の整備」が 33.7%と多く、駅前における自家用車の利用に対する需要の高さが明らかとなっている。

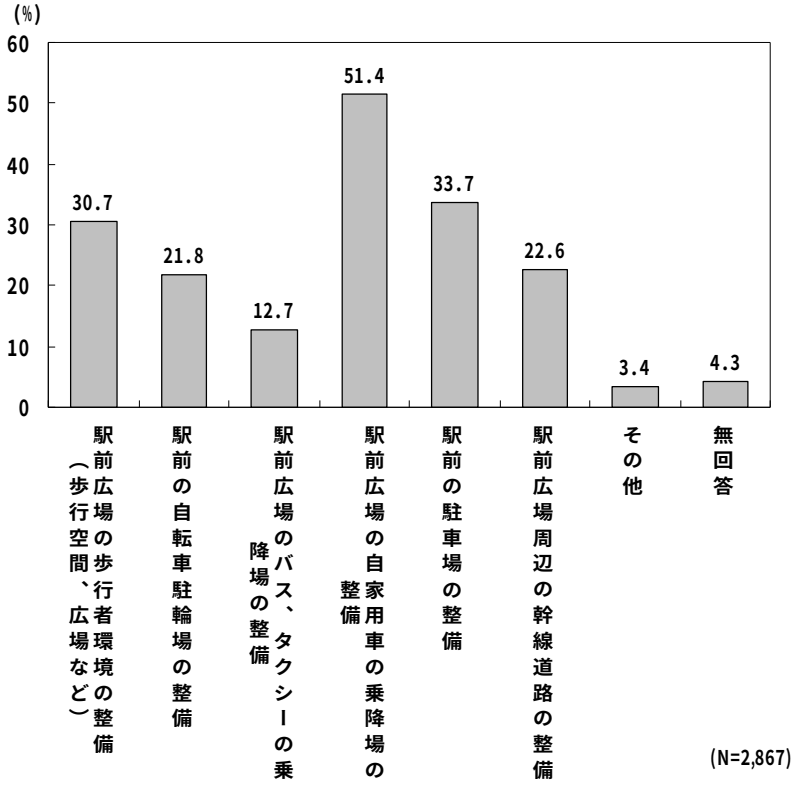
問１２
市内の主要駅では、どのような交通環境の整備・拡充が重要だとお考えですか。次の中からあなたのお考えに最も近いものを最大２つまで選び、その番号を○で囲んでください。

表 12　主要駅において重要な交通環境の整備・拡充項目

（単位：人、%）

	全体	駅前広場の歩行者環境の整備（歩行空間、広場など）	駅前の自転車駐輪場の整備	駅前広場のバス、タクシーの乗降場の整備	駅前広場の自家用車の乗降場の整備	駅前の駐車場の整備	駅前広場周辺の幹線道路の整備	その他	無回答
回答者数	2,867	879	624	364	1,474	967	648	97	122
割　合	100	30.7	21.8	12.7	51.4	33.7	22.6	3.4	4.3

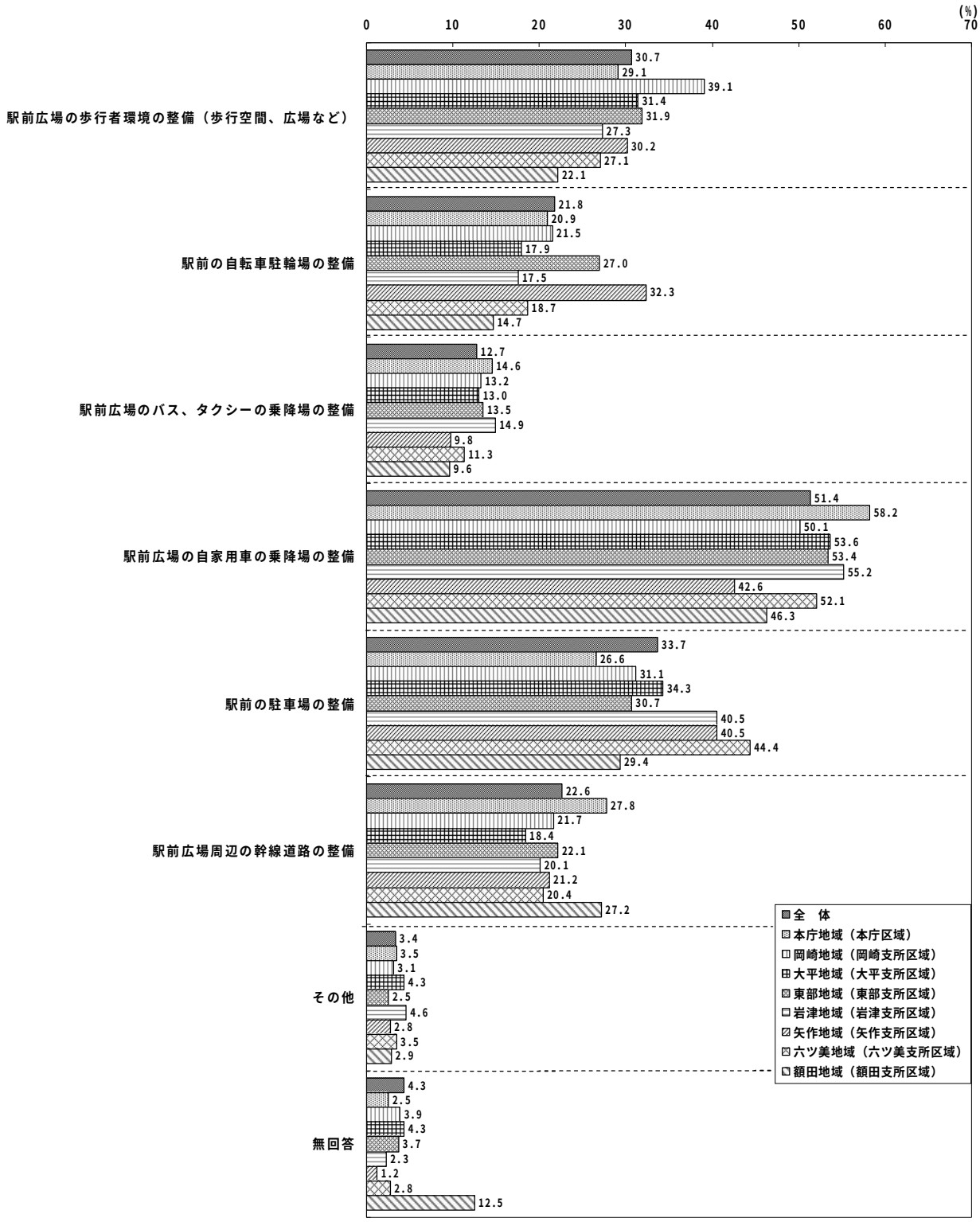
図 12　主要駅において重要な交通環境の整備・拡充項目



＜地域別＞

地域別にみると、最も需要の多かった「駅前広場の自家用車の乗降場の整備」の回答割合が高いのは本庁地域（58.2%）、岩津地域（55.2%）であり、次いで需要の多かった「駅前の駐車場の整備」では六ツ美地域で 44.4%と他地域より高い。また、「歩行者環境の整備」について他地域と違う傾向を示したのが岡崎地域で、39.1%と他地域よりも高い回答割合を示している。

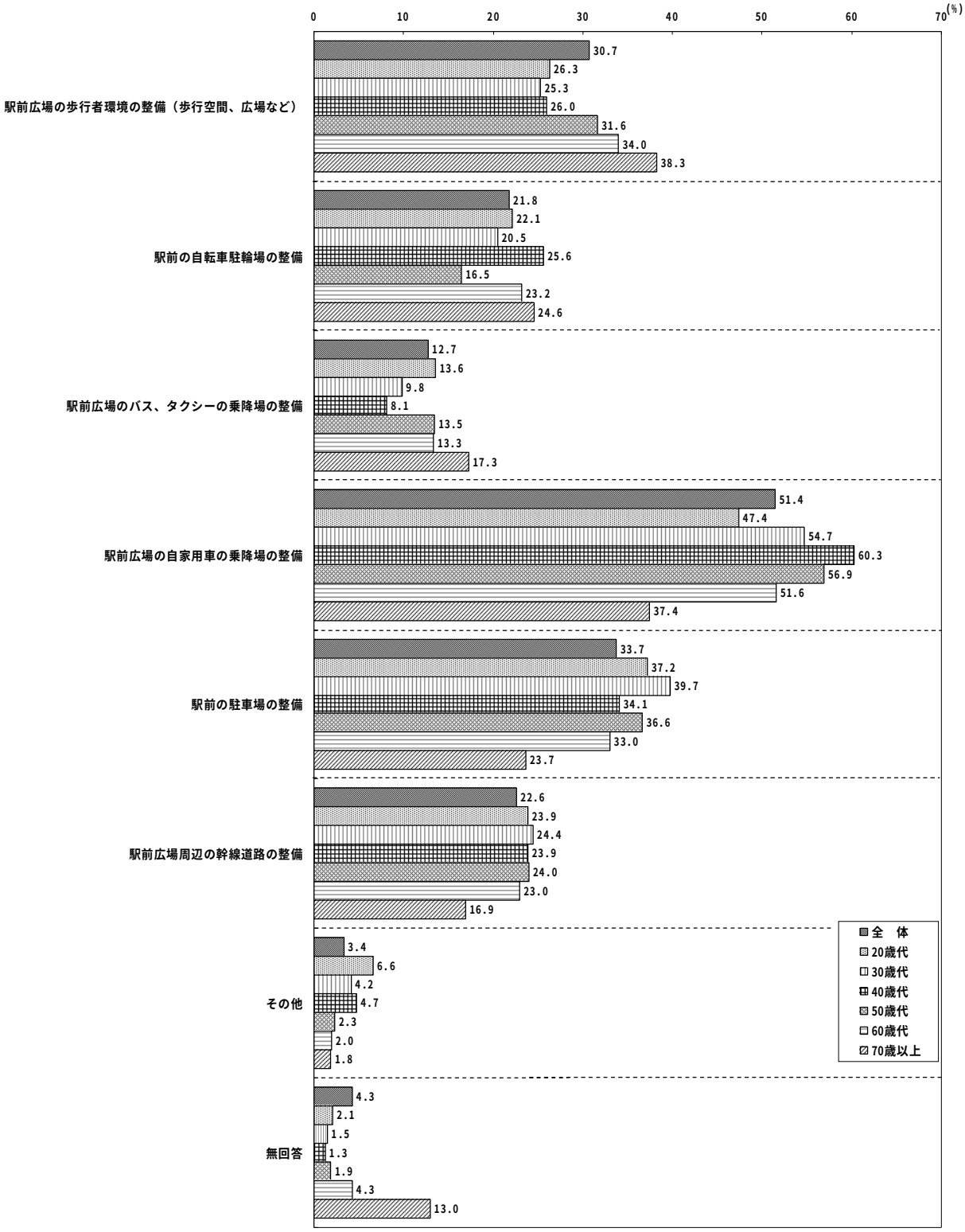
図 12a　主要駅において重要な交通環境整備・拡充項目（地域別）



＜年齢別＞

年齢別にみると、「駅前広場の自家用車の乗降場の整備」では 40 歳代の回答割合が最も高く、60.3%となっている。「駅前の駐車場の整備」では 30 歳代、20 歳代でそれぞれ 39.7%、37.2%と高くなっている。「駅前広場の歩行者環境の整備」については年齢が高くなるにつれ高くなり、50 歳代以上では 3 割を超えている。

図 12b　主要駅において重要な交通環境整備・拡充項目（年齢別）



Ｆ　居住地域のまちづくりについて

問１４（１）　居住地域のまちづくりについての「現状の満足度」

回答者の居住地域におけるまちづくりについて「現状の満足度」についてうかがったところ、「16.日常的な買い物の利便性」（51.7%）、「1.地域内の幹線道路の整備」（44.3%）の項目で「満足している」「やや満足している」の回答が多く、満足度が高い一方で、「3.歩道の整備」（41.5%）、「6.地域でのバス利用の利便性」（39.9%）の項目で「やや不満である」「不満である」の回答が多く、満足度が低くなっている。

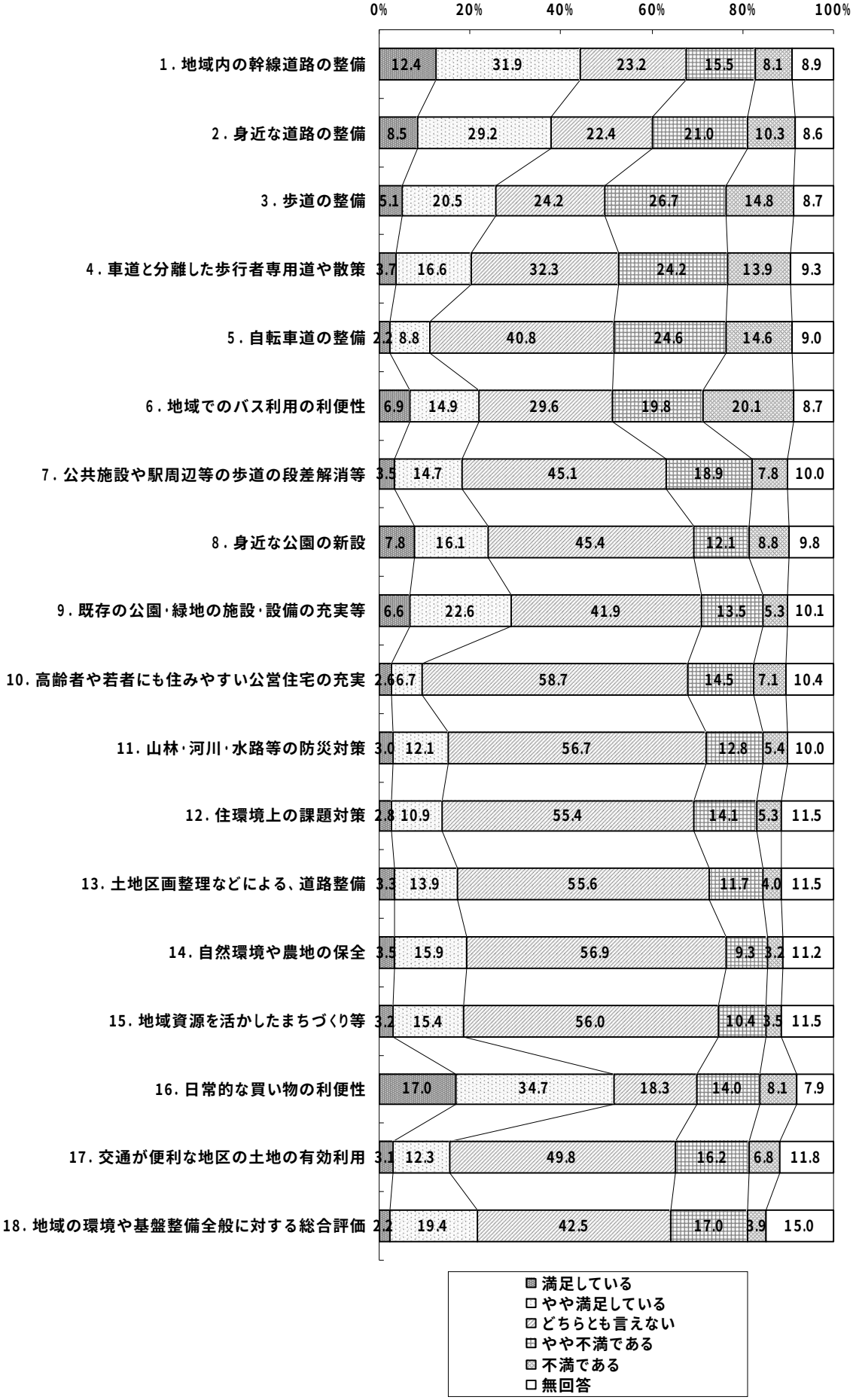
問１４
現在、あなたがお住まいの地域（支所区域）のまちづくりについて、どのようにお考えですか。以下のそれぞれの取り組みに係る「現状の満足度」と「今後の重要度」について、あなたのお考えに最も近いものをそれぞれ１つずつ選び、その番号を○で囲んでください。

表 14（1）　居住地域のまちづくりについて「現状の満足度」

（単位：人、%）

問 14　居住地域のまちづくりについて「現状の満足度」	全体	満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	無回答	平均
１．地域内の幹線道路の整備	2,867	356	914	665	443	231	258	1.38
	100	12.4	31.9	23.2	15.5	8.1	8.9	
２．身近な道路の整備	2,867	243	838	641	603	296	246	0.25
	100	8.5	29.2	22.4	21.0	10.3	8.6	
３．歩道の整備	2,867	146	587	694	765	424	251	-1.40
	100	5.1	20.5	24.2	26.7	14.8	8.7	
４．車道と分離した歩行者専用道や散策道の整備	2,867	106	476	926	693	399	267	-1.54
	100	3.7	16.6	32.3	24.2	13.9	9.3	
５．自転車道の整備	2,867	63	251	1,169	705	418	261	-2.23
	100	2.2	8.8	40.8	24.6	14.6	9.0	
６．地域でのバス利用の利便性	2,867	197	426	850	568	576	250	-1.72
	100	6.9	14.9	29.6	19.8	20.1	8.7	
７．公共施設や駅周辺等の歩道の段差解消、エレベーター設置等	2,867	100	422	1,292	542	224	287	-0.71
	100	3.5	14.7	45.1	18.9	7.8	10.0	
８．身近な公園の新設	2,867	225	461	1,302	347	251	281	0.12
	100	7.8	16.1	45.4	12.1	8.8	9.8	
９．既存の公園・緑地の施設・設備の充実や緑化推進など	2,867	189	647	1,200	388	151	292	0.65
	100	6.6	22.6	41.9	13.5	5.3	10.1	
10．高齢者や若者にも住みやすい公営住宅の充実	2,867	75	191	1,683	415	203	300	-0.93
	100	2.6	6.7	58.7	14.5	7.1	10.4	
11．山林・河川・水路等の防災対策	2,867	86	346	1,627	367	155	286	-0.31
	100	3.0	12.1	56.7	12.8	5.4	10.0	
12．住環境上の課題対策	2,867	81	313	1,587	404	152	330	-0.46
	100	2.8	10.9	55.4	14.1	5.3	11.5	
13．土地区画整理などによる、道路整備と一体的な宅地の整備	2,867	95	398	1,593	335	115	331	0.05
	100	3.3	13.9	55.6	11.7	4.0	11.5	
14．自然環境や農地の保全	2,867	99	457	1,631	267	92	321	0.40
	100	3.5	15.9	56.9	9.3	3.2	11.2	
15．地域資源を活かしたまちづくりや特色ある景観づくり	2,867	92	442	1,605	297	101	330	0.25
	100	3.2	15.4	56.0	10.4	3.5	11.5	
16．日常的な買い物の利便性	2,867	488	995	525	400	231	228	2.10
	100	17.0	34.7	18.3	14.0	8.1	7.9	
17．交通が便利な地区の土地の有効利用	2,867	89	354	1,428	465	196	335	-0.64
	100	3.1	12.3	49.8	16.2	6.8	11.8	
18．地域の環境や基盤整備全般に対する総合評価	2,867	64	557	1,218	488	111	429	-0.05
	100	2.2	19.4	42.5	17.0	3.9	15.0	

図 14（1）　居住地域のまちづくりについて「現状の満足度」



問１４（２）　居住地域のまちづくりについての「今後の重要度」

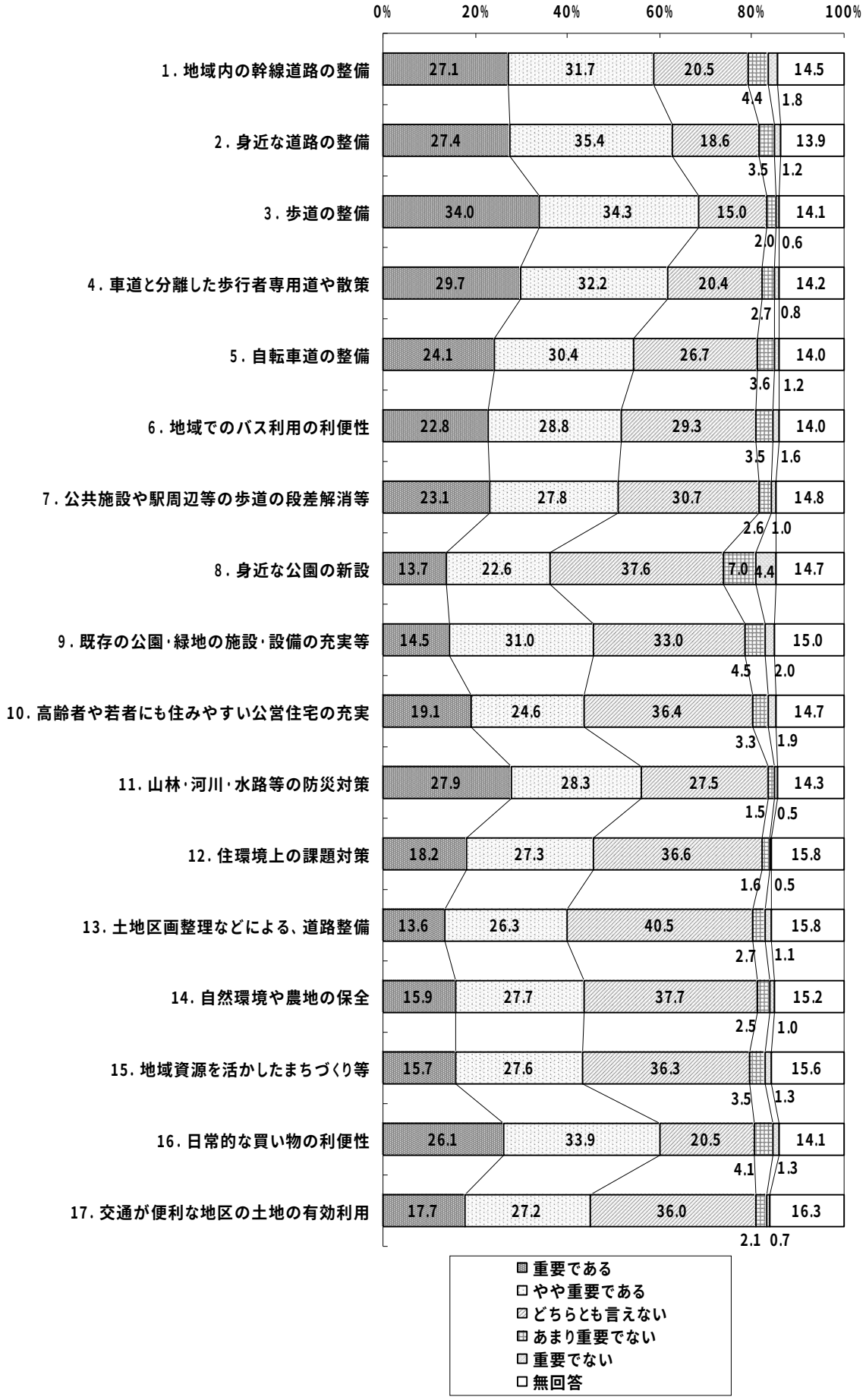
回答者の居住地域におけるまちづくりの「今後の重要度」をうかがったところ、「3.歩道の整備」（68.3%）、「2.身近な道路の整備」（62.8%）の項目で、「重要である」「やや重要である」との回答割合が高く、市民が重要性を感じているといえる。

表 14（2）　居住地域のまちづくりについての「今後の重要度」

（単位：人、%）

問 14　居住地域のまちづくりについて「今後の重要度」	全体	重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない	無回答	平均
１．地域内の幹線道路の整備	2,867	777	909	589	126	51	415	4.56
	100	27.1	31.7	20.5	4.4	1.8	14.5	
２．身近な道路の整備	2,867	786	1,015	533	99	35	399	4.90
	100	27.4	35.4	18.6	3.5	1.2	13.9	
３．歩道の整備	2,867	976	982	431	56	17	405	5.78
	100	34.0	34.3	15.0	2.0	0.6	14.1	
４．車道と分離した歩行者専用道や散策道の整備	2,867	852	924	584	76	24	407	5.09
	100	29.7	32.2	20.4	2.7	0.8	14.2	
５．自転車道の整備	2,867	692	871	765	102	35	402	4.23
	100	24.1	30.4	26.7	3.6	1.2	14.0	
６．地域でのバス利用の利便性	2,867	653	826	841	101	46	400	3.93
	100	22.8	28.8	29.3	3.5	1.6	14.0	
７．公共施設や駅周辺等の歩道の段差解消、エレベーター設置等	2,867	661	798	880	74	28	426	4.08
	100	23.1	27.8	30.7	2.6	1.0	14.8	
８．身近な公園の新設	2,867	394	649	1,077	201	127	419	2.01
	100	13.7	22.6	37.6	7.0	4.4	14.7	
９．既存の公園・緑地の施設・設備の充実や緑化推進など	2,867	417	888	947	129	56	430	3.04
	100	14.5	31.0	33.0	4.5	2.0	15.0	
10．高齢者や若者にも住みやすい公営住宅の充実	2,867	548	705	1,045	96	55	418	3.26
	100	19.1	24.6	36.4	3.3	1.9	14.7	
11．山林・河川・水路等の防災対策	2,867	799	810	787	42	13	416	4.77
	100	27.9	28.3	27.5	1.5	0.5	14.3	
12．住環境上の課題対策	2,867	522	784	1,049	46	15	451	3.63
	100	18.2	27.3	36.6	1.6	0.5	15.8	
13．土地区画整理などによる、道路整備と一体的な宅地の整備	2,867	389	753	1,161	77	31	456	2.89
	100	13.6	26.3	40.5	2.7	1.1	15.8	
14．自然環境や農地の保全	2,867	456	794	1,081	71	30	435	3.24
	100	15.9	27.7	37.7	2.5	1.0	15.2	
15．地域資源を活かしたまちづくりや特色ある景観づくり	2,867	449	790	1,042	99	36	451	3.14
	100	15.7	27.6	36.3	3.5	1.3	15.6	
16．日常的な買い物の利便性	2,867	748	973	589	118	38	401	4.61
	100	26.1	33.9	20.5	4.1	1.3	14.1	
17．交通が便利な地区の土地の有効利用	2,867	507	781	1,033	60	21	465	3.52
	100	17.7	27.2	36.0	2.1	0.7	16.3	

図 14（2）　居住地域のまちづくりについて「今後の重要度」



問１５　「地域の資源や特性」を活かしたまちづくりでの重要項目

回答者が居住する地域でのまちづくりの将来方向についてうかがったところ、「鉄道やバス路線が整備された公共交通利用が便利な交通環境」の項目が 49.9%と最も多くなっており、次いで「公共・公益施設の集積」が 49.5%と多くなっている。

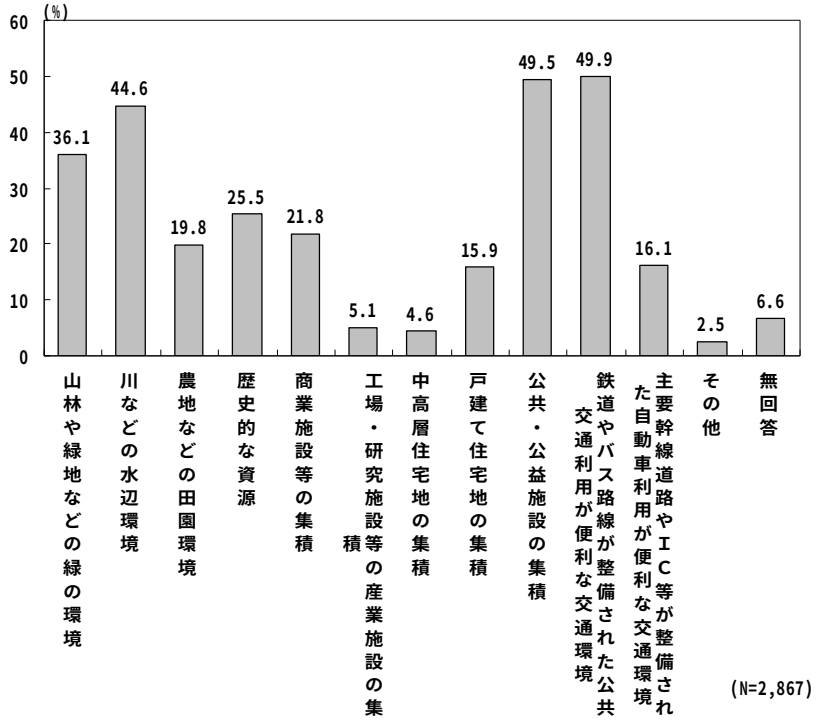
問１５
あなたがお住まいの地域（支所区域）のまちづくりの将来方向について、どのような「地域の資源や特性」を活かした方向をめざしていくことが重要だとお考えですか。次の中から、あなたのお考えに最も近いものを最大４つまで選び、その番号を○で囲んでください。

表 15　「地域の資源や特性」を活かしたまちづくりでの重要項目

（単位：人、%）

	全体	山林や緑地などの緑の環境	川などの水辺環境	農地などの田園環境	歴史的な資源	商業施設等の集積	工場・研究施設等の産業施設の集積	中高層住宅地の集積	戸建て住宅地の集積	公共・公益施設の集積	鉄道やバス路線が整備された公共交通利用が便利な交通環境	主要幹線道路やＩＣ等が整備された自動車利用が便利な交通環境	その他	無回答
回答者数	2,867	1,035	1,278	568	732	626	147	132	457	1,419	1,431	462	72	190
割合	100	36.1	44.6	19.8	25.5	21.8	5.1	4.6	15.9	49.5	49.9	16.1	2.5	6.6

図 15　「地域の資源や特性」を活かしたまちづくりでの重要項目



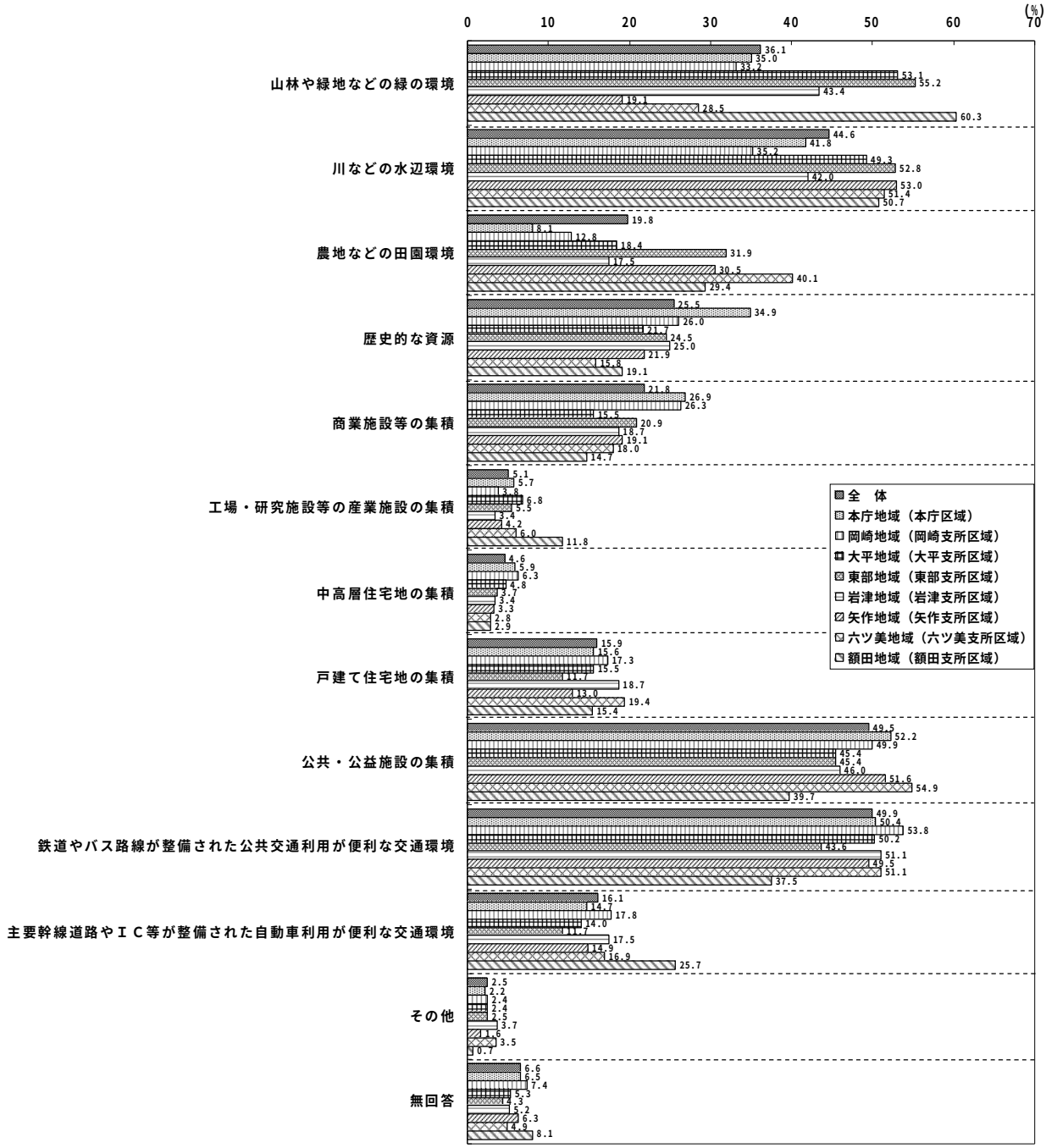
＜地域別＞

地域別にみると、「鉄道やバス路線が整備された公共交通利用が便利な交通環境」について、他地域が 50%以上の回答を示しているのに対し、額田地域（37.5%）と東部地域（43.6%）は著しく低い。また、額田地域では「公共・公益施設の集積」に対する意識についても他地域と比較して著しく低く、39.7%となっている。

額田地域は、「山林や緑地などの緑の環境」（60.3%）、「主要幹線道路や IC 等が整備された自動車利用が便利な交通環境」（25.7%）の回答割合が他地域と比して高い。

また、本庁地域では「歴史的な資源」（34.9%）と「商業施設等の集積」（26.9%）との回答が、六ツ美地域では「農地などの田園環境」（40.1%）との回答が、他地域と比して高くなっている。

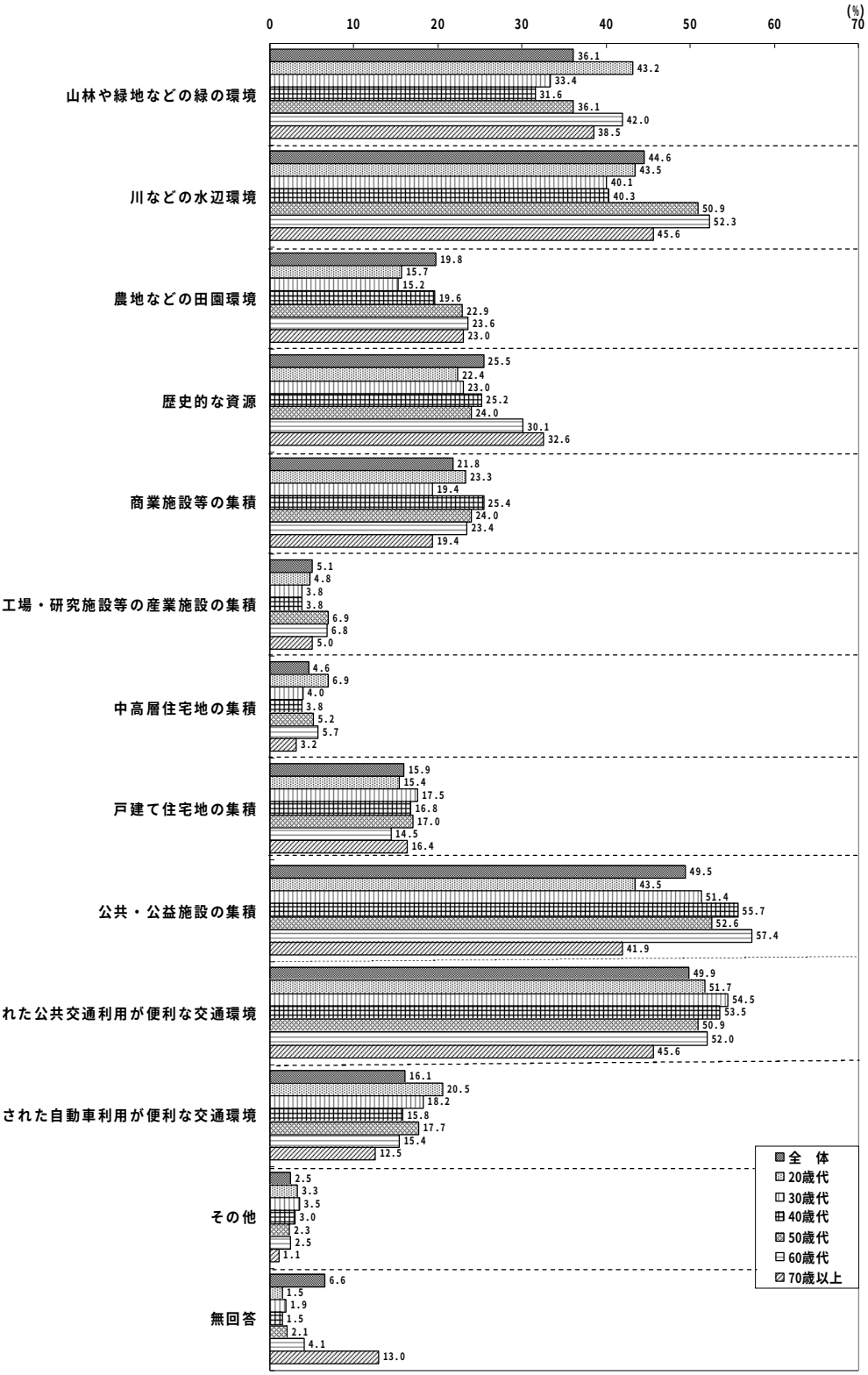
図 15a　「地域の資源や特性」を活かしたまちづくりでの重要項目（地域別）



＜年齢別＞

年齢別にみると、「公共・公益施設の集積」については 20 歳代、70 歳以上だけ、他の年齢と比べて意識がやや低くなっている（43.5%、41.9%）。「川などの水辺環境」との回答割合は 60 歳代で最も高く（52.3%）、「歴史的な資源」は 70 歳以上が最も高い（32.6%）。

図 15b　「地域の資源や特性」を活かしたまちづくりでの重要項目（年齢別）



Ｇ　自由回答

岡崎市の行政施策について、ご意見・ご提案をうかがったところ、992 件の意見が寄せられた。その中で、特に多くの意見が寄せられた分野は、土地利用の推進、交通体系の整備、安心・安全なまちづくりの推進、保健医療の充実、社会福祉の充実、国際交流の推進、景観・自然環境の保全、文化芸術・生涯学習の充実、行財政運営の改善、市民サービスの改善などである。

＜土地利用の推進＞

（駅周辺の整備について）

- 「東岡崎駅前の再開発を考えてほしい。岡崎の顔だと思います。」
- 「ＪＲ岡崎駅にショッピングセンターを作ると市外からの集客が見込まれ、ますます活性化するのでは。」
- 「大型スーパーまでは車を利用しないと行けないので困っています。駅北口も使いづらいので、駅ビルを新しくし、新しい商業施設（食料品、日用品、雑貨などを扱う店）を作ってほしい。」

（中心市街地の再生について）

- 「康生の再開発も考えてほしい。公共施設を集積してほしい。」
- 「公共施設や、ジャスコ、などを次々に南へ持っていった責任はとり戻せません。康生地区にシネマコンプレックス（映画館）や、音楽のミュージアム、大きな本屋、レンタルビデオなどが必要。」
- 「せっかく歴史の深い岡崎市。康生あたりがさびしいように感じます。康生ももう少し駐車場の整備について考えたらいいと思う。」

（中心部以外の発展について）

- 「中心部だけが岡崎では無い。額田も矢作も岡崎市です。中心部だけを発展させるのではなく、例えば名古屋市のように区で分けそれぞれを発展させ、それから中心部を発展させてほしい。」

＜交通体系の整備＞

（渋滞の緩和について）

- 「信号の流れをなんとかしてほしい。ただでさえ車が多いので、渋滞しやすい。」
- 「国道２４８号と国道１号線の立体交差化を早くしてほしい。」

（歩行者や自転車のための道路整備について）

- 「歩行者や自転車が安全に通行できる道路環境を整えるべきだと思います。この街は車の交通事情しか考えていないといっても過言ではないと思います。」
- 「道路巾が狭く交通量も多いのに歩道の整備されていない場所があります。小学生の通学路にもなって居り、高校生も自転車で車道を（通学に）走って戻る姿を見るととても危険です。」
- 「自転車で、歩道を走るとでこぼこしていて走りづらい。」
- 「大きな道路を作るのはいいですが、歩道橋などをつけて欲しい。」
- 「障害者も歩きやすい段差のない道造りを希望します。」

（公共交通機関の充実について）

- 「今後はマイカーの利用を制限し、公共交通機関の発展を進めるべきだと思っています。若い世代がバスを利用したくなるような政策を考えてもらえないでしょうか。」

・　「バスの時間帯が悪いので、不便に感じています。朝と夕方の便を増やせないでしょうか。」

（駅や公共施設の駐車場について）

・　「東岡崎駅北側を広く出来ないか。自家用車の入る場がない。」

・　「市役所、図書館等、駐車場をもっと増やして下さい。」

＜安心・安全なまちづくりの推進＞

（防犯等について）

・　「防犯面に力を入れていただき、安全で安心して暮らせる市になってほしいと思います。」

・　「岡崎駅から西側は街灯が少なく暗い。夜、１人で歩くのが怖いです。街灯を増やして、夜でも安全に帰宅できる環境を整えてほしいです。」

・　「最近、不審者などによる犯罪が増えています。不審者が出た時、事件が起きた時などメール配信して頂けると、早く対策が取れて、親同士の連絡にも安心できると思います。」

（災害等について）

・　「昨年から、無秩序に田が埋めたてられ、水に対するバッファがなくなってきている。早急に、水害に対する対応を要望する。」

・　「洪水が心配です。大雨の時、何故かサイレンが鳴ったりしますが、何の意味をもって鳴っているのかわかりません。避難せよなのか、注意しろなのか、不安ばかりが募ります。」

＜保健医療の充実＞

・　「病院は、数的には十分だと思いますが、質が上がってほしいです。」

・　「夜間救急に小児科医がいるのはとても安心できて良いと思います。」

・　「小児科の病院が少なく、すぐに検査をしてもらいたいなどの時に、市民病院は車がなくて行けないという事が、たびたびあります。」

・　「毎年老人検診が行なわれるが、「仕方なし受けに来た」という老人が半分以上いるのに、税金のムダ使いと思えて仕方ない。」

＜社会福祉の充実＞

（仕事と家庭の両立支援）

・　「働く女性の為の育児、介護支援を充実させてほしい。」

・　「ハローワークに、「子育て中の人が安心して働ける職場」「託児所付きの職場」等の案内があると、活用する人がもっと増えると思います。」

（子育て環境について）

・　「保育園の数をもっと増やしたらいいと思うし（この辺りは小学校も少子化で空き教室もいっぱいあります）、病み上がりの子どもでも余裕をもってみられるように、保育士さんの数ももっと増やしてほしいです。」

・　「子供の医療費を小学生まで無料にしてくれると助かります。」

（障害者福祉の充実について）

・　「障害者又は障害者の家族を持つ人の交流窓口（イベント等）」

（高齢者福祉の充実について）

・　「安心して老後のすごせる様、老人施設の人員制限などきびしい現状を緩和されるといいと思います。」

＜国際交流の推進＞

- 「増加している外国籍住民にたいするフォローや通訳、情報提供の充実を、期待しています。」
- 「外国人の方が多数在住しているが、異文化交流ができれば、活性化が進むのではないだろうか。」

＜景観・自然環境の保全＞

- 「道路建設の予定となっている土地が今現在雑草地となり、大変景観を損ねています。」
- 「犬の排泄物を取ることもせず、舗道の上にも時々見かけます。広報でもっと呼びかけて下さい。」
- 「景観、住宅環境が悪化するので、住宅地における中高層マンションの乱開発を抑止して欲しい。」
- 「ＪＲ岡崎駅開発が進んでいます。夏は、非常に熱いので駅周りのヒートアイランド構想も考え開発をして頂きたい。」
- 「大きな公園の整備ではなく、小さな公園を地域の人がふれあえて、子供たちが安全に遊べる所を増やして欲しい。」
- 「東岡崎駅周辺を整備し、康生地区や岡崎公園へ続く道を歩いて楽しく行けるように、江戸時代のような街並みを再現したらいかがでしょうか。」

＜文化芸術・生涯学習の充実について＞

- 「岡崎市は文化・芸術の面で他市より遅れています。文化施設の充実を望みます。」
- 「公共施設の有効利用。学校、保育所等統廃合が進む中で、廃止された公共施設の有効利用をお願いします。」
- 「各地域に気軽に低料金で参加できるような、生きがい学習の場が増えたらと思います。」

＜効率的な行政運営と健全な財政運営の推進＞

（市民への情報提供について）

- 「意識をもって知ろうとしないと情報が入らない。身近で簡単に知ることのできる環境にしてほしい。」

（市政に対する市民の参加について）

- 「町内会を通さないと、市民の意見・願いが市に届かないのは、おかしいと思います。支所に気楽に相談に行けるようにしてほしいです。」
- 「一部の利権を守るために、一般市民の意見を広く聞くこともなく施策遂行されることは許されない。」
- 「今回のようなアンケートは続けてほしいと思います。市政に参加出来るいい機会です。」
- 「市民主導市政を充実して下さい。」

（公共事業の実施について）

- 「大型予算を投入する大規模公共施設の建設にあたっては、事前にその必要性を充分検討してほしい。」

（職員数の適正化等について）

- 「支所、市役所の窓口の人員が多すぎる。もっと効率化をはかるべき。」

- 「全職員が民間企業で研修をして、人間力を鍛え直さないと、どのような行政施策も、絵に描いたモチになってしまうと思います。」
- 「無駄を無くすことは大切だと思いますが、全てが効率だけで判断していくのではなく、税やお金を効果的に使用していってほしいと望みます。」

＜市民サービスの改善＞

（サービス時間等について）

- 「役所に行けるのは土日だけだ。役所も土日やるべき。全国で唯一、土日やる役所になって下さい。」
- 「市の駐車場がいつも混雑しています。出来れば増設をお願いしたい。」

（職員の対応について）

- 「市職員は、市民に対するサービスを提供するのが仕事である。横柄な対応が多々見受けられる。」
- 「市民の悩み相談に対して、しっかりとした窓口、相談者を設けてほしい。」
- 「市民共働を本気で考えているのならば、熱意ある行政マンが育つ役所内の環境が必要に感じます。」

参考：調査票

平成１８年度市民意識調査

－あなたの声をお寄せください－

日頃は、市政にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

このたび郵送させていただいた市民意識調査は、平成 18 年 1 月 1 日からスタートした「新岡崎市」が今後進むべき方向性を検討するにあたり、市民の皆さんから貴重なご意見やご提言をいただき、本市のまちづくりに反映していくことを目的として実施させていただくもので、市内にお住まいの 20 歳以上の方から無作為に選ばせていただいた 5,000 人の方にご協力をお願いしております。

お忙しいところ大変恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご回答いただけますようよろしくお願い申し上げます。

平成 18 年 10 月

岡崎市長　柴 田 紘 一

ご記入にあたって

◎ できるだけあて名のご本人が、ご回答くださいますようお願いします。
本人が回答できない場合は、ご家族がお答えいただいても結構です。

◎ 回答は、この調査票の２ページ以降に、直接、記入してください。

◎ ご記入が済みましたら、10 月 22 日（日）までに、同封の返信用封筒に入れて、切手をはらずに、ご投函ください。

◎ アンケートの結果は、統計的に処理しますので、回答していただいた方にご迷惑をおかけすることはありません。

問い合わせ先
岡崎市役所　企画課企画班　電話(0564)23-6812

A 岡崎のまちについておたずねします

問1　あなたは、岡崎市を住みよいまちだと思いますか。次の中から**1つ選び、その番号を○で囲んでください。**

1.　住みよい
2.　まあ住みよい
3.　やや住みにくい
4.　住みにくい

↓ 問1－1にお進みください

↓ 問1－2にお進みください

問1－1　それはどういった理由からですか。次の中から主なものを**最大3つまで選び、その番号を○で囲んでください。**

1.　交通の便がよい
2.　買い物が便利である
3.　公害が少ない
4.　下水道などの基盤整備がよい
5.　災害の危険性が少ない
6.　犯罪が少なく風紀がよい
7.　緑や自然環境が豊かである
8.　近所づきあいなどの人間関係がよい
9.　教育など子どもを育てる環境がよい
10.　医療や福祉環境が充実している
11.　文化やスポーツの機会に恵まれている
12.　まちに魅力や活気がある
13.　その他（　　）

問1－2　それはどういった理由からですか。次の中から主なものを**最大3つまで選び、その番号を○で囲んでください。**

1.　交通の便が悪い
2.　買い物が不便である
3.　公害により環境が悪い
4.　下水道などの基盤整備が遅れている
5.　災害に対する不安が大きい
6.　犯罪に対する不安が大きい
7.　緑や自然環境が少ない
8.　近所づきあいなどの人間関係がよくない
9.　教育など子どもを育てる環境がよくない
10.　医療や福祉環境が不足している
11.　文化やスポーツにふれる機会が少ない
12.　まちに魅力や活気がない
13.　その他（　　）

問2　あなたは今後も岡崎のまちに住み続けたいと思いますか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

1.　ずっと住んでいたい	2. しばらくは住むつもりだ
3.　市内の他の地域に移りたい	4. 市外に移りたい
5.　わからない	

問3　あなたは岡崎市の市政に関心をお持ちですか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

1.　非常に関心がある	3.　あまり関心がない
2.　ある程度関心がある	4.　まったく関心がない
↓	↓
問3－1にお進みください	問3－2にお進みください

問3－1　それはどういった理由からですか。次の中から主なものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

1.　自分の暮らし向きに直接関係がある

2.　岡崎市政が身近なものになってきた

3.　市政に興味がある

4.　自分の住む岡崎市をもっとよくしたい

5.　その他（　　）

問3－2　市政に関心を持ってもらうには、どのようにしたらよいと思いますか。次の中から主なものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

1.　市政だよりやホームページなどで、市政について詳しく説明する

2.　市政について勉強会や講習を行う

3.　岡崎市をもっと魅力的なまちにする

4.　いろいろなメディアを使って市政をPRする

5.　市政に対する市民参加の機会を増やす

6.　その他（　　）

7.　わからない

B 市の取り組みに対する満足度･重要度についておたずねします

問4 あなたは市の行政施策について、どのようにお考えですか。以下のそれぞれの取り組みに係る「現状の満足度」と「今後の重要度」について、あなたのお考えに最も近いものをそれぞれ**1つずつ**選び、その番号を○で囲んでください。

設問項目 ＼ 満足度・重要度 それぞれ１つを選択		現状の満足度					今後の重要度				
		満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない
	(例) ○○の整備	1	②	3	4	5	1	②	3	4	5
生活基盤	1. 消防･救急体制の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2. 防犯･交通安全対策の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3. 市民相談･消費者保護の取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4. 地震や風水害などの防災対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	5. 大気汚染･騒音などの公害対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	6. ごみ処理･リサイクルなどの環境対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	7. 上水道の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	8. 下水道の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	9. 情報通信網の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
都市基盤	10. 中心部や市街地の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	11. 道路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	12. 公共交通（鉄道･バスなど）の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	13. 公園･緑地の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	14. 街並み景観や街路樹の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	15. 川･山林などの自然環境の保全と活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

設問項目 ＼ 満足度・重要度 それぞれ１つを選択		現状の満足度					今後の重要度				
		満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない
福祉・保健・医療	16. 児童福祉（保育所、手当て、子育て支援等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	17. 高齢者への福祉サービス（介護保険、生きがいづくり等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	18. 障害者への福祉サービス（在宅サービス、社会参加等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	19. 健康診断などの保健予防対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	20. 病院の数など医療体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
教育・文化	21. 青少年健全育成や男女共同参画	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	22. 学校施設や教育課程の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	23. 生涯学習の場と機会の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	24. 文化活動の場と機会の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	25. スポーツ･レクリエーションの場と機会の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	26. 文化財の保存や活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	27. 外国人市民との共生や交流	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	28. 市民活動･地域活動の支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
産業	29. 産業(農林漁業･商工業)の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	30. 観光資源の整備や観光客の誘致	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	31. 雇用対策や勤労者福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
行政	32. 市政情報の提供	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	33. 市政への市民参加	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	34. 市職員の市民への対応	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	35. 市の行財政改革の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
36. 市の取り組み全般の総合評価（上記１～３５全体の評価）		1	2	3	4	5					

C 今後の公共サービスのあり方についておたずねします

問5 あなたは公共サービス（福祉、教育、基盤整備など）を受けるなどの「権利」と、市民としての「義務」との関係についてどのようにお考えになりますか。次の中からあなたの気持ちに最も近いものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

1. 税金や公共料金を極力安くして、公共サービスを負担額に見合ったサービス内容にすべき
2. 税金や公共料金が多少高くなっても、公共サービスを充実させていくべき
3. 公共サービスの一端を市民・ボランティアが担うことによって、税金などの負担を軽減すべき
4. 公共サービスの一端を市民・ボランティアが担うことによって、余ったお金や人材を新たな公共サービスに振り向けるべき
5. 一概には言えない・わからない

問6 あなたは公共サービスの一部を民間に委託することについて、どのようにお考えになりますか。次の中からあなたの気持ちに最も近いものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

1. サービスの質が向上するのであれば、民間にまかせてよい
2. 利用料金などの負担が低いのであれば、民間にまかせてよい
3. 公共サービスは、原則として市（行政）が提供すべき
4. 一概には言えない・わからない

問7 行政（市役所）との関わりについて、あなたは今後どのような活動をしたいとお考えですか。次の中から関心のある主なものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

1. 行政による政策形成（まちづくり審議会など）の機会があれば参加したい
2. 市長や議員との懇談会や対話集会があれば参加したい
3. 陳情・請願等により意見を述べたい
4. 世論調査やアンケートで参加したい
5. 町会・自治会・PTA などの活動を通じて参加したい
6. 議員や市職員、専門家にまかせておけばよいので、参加する必要はない
7. 関心がない
8. その他（具体的に　　）
9. わからない

D 市民参加のまちづくりについておたずねします

問8－1 地域をより良くしていくための「市民参加によるまちづくりの取り組み」について、過去1年の間で参加したことがありますか。**それぞれの項目について、1度でもあれば「有」に、無ければ「無」に、○をつけてください。**

設問項目	参加の有無
1. 環境保全や清掃活動など、地域の環境を守る活動	有 ・ 無
2. 民有地の緑化や花を活かした景観整備など、良好なまちなみ景観を育てていく活動	有 ・ 無
3. 道路・公園・公共施設の景観形成や維持などの活動	有 ・ 無
4. まちづくりのルールをつくり、良好なまちづくりを進めていくような活動	有 ・ 無
5. 公共施設や地区整備の方向について、計画案づくりに参加し、良好なまちづくりを進めていくような活動	有 ・ 無
6. 公共空間を活かし、地域の賑わいやコミュニティ増進のための交流イベントを企画運営するような活動	有 ・ 無
7. その他 (具体的に　　)	有 ・ 無

問8－2

また、今後、どのような市民活動を活発化させていくことが重要だとお考えですか。上記1～7の番号の中から、あなたのお考えに最も近いものを**最大3つまで選び、その番号を記入してください。**

今後の重要な取り組み
（番号を最大３つまで記入）　→　□　□　□

問9 「市民参加によるまちづくり」を活性化していくために、今後、どのような「行政の支援」が重要だとお考えですか。次の中から、あなたのお考えに最も近いものを**最大3つまで選び、その番号を○で囲んでください。**

1. 市の広報紙やホームページによる、まちづくりに関する情報提供の充実
2. まちづくりのアドバイスを行う相談窓口等の庁内体制の充実
3. まちづくりの専門家やアドバイザーによる支援の充実
4. まちづくりに関する学習機会の充実(生涯学習講座など)
5. まちづくりへの関心や機運を高めるための交流イベント等の充実
6. ボランティアやＮＰＯ(民間非営利活動団体)等のまちづくり活動の支援の充実
7. 優良なまちづくり活動を奨励・表彰・支援する仕組みの充実
8. その他(具体的に　　)

E 市全体の環境や交通についておたずねします

問10 美しい都市をめざすためには、どのような取り組みが重要だとお考えですか。次の中からあなたのお考えに最も近いものを**最大3つまで**選び、その番号を○で囲んでください。

1. 山林などの緑景観の保全
2. 河川などの水辺景観の保全･整備
3. 農地などの田園景観の保全
4. 歴史的なまち並みや社寺周辺などの景観保全
5. 城の眺望景観の保全
6. 中心市街地や主要駅周辺等における景観づくり
7. 街路樹や公園の整備など公共施設の緑化や景観整備
8. 住宅地や商店街など市街地での緑化や景観誘導
9. 大規模店舗･工場や中高層建築物における緑化や景観誘導
10. 沿道や街なかにある広告物や看板などの規制や統一･工夫
11. その他（具体的に　　）

問11 あなたは、次の交通機関をどの程度利用していますか。それぞれの交通機関ごとに、当てはまるものを**1つ**選び、その番号を○で囲んでください。

	週に５日以上	週に３～４日	週に１～２日	月に数回程度	年に数回程度	利用していない
① 鉄　道	1	2	3	4	5	6
② バ　ス	1	2	3	4	5	6
③ 自家用車	1	2	3	4	5	6
④ 自転車	1	2	3	4	5	6

問12 市内の主要駅では、どのような交通環境の整備･拡充が重要だとお考えですか。次の中からあなたのお考えに最も近いものを**最大2つまで**選び、その番号を○で囲んでください。

1. 駅前広場の歩行者環境の整備（歩行空間、広場など）
2. 駅前の自転車駐輪場の整備
3. 駅前広場のバス、タクシーの乗降場の整備
4. 駅前広場の自家用車の乗降場の整備
5. 駅前の駐車場の整備
6. 駅前広場周辺の幹線道路の整備
7. その他（具体的に　　）

F お住まいの地域のまちづくりについておたずねします

問13　あなたはどちらにお住まいですか。お住まいの地域（支所区域）と中学校区をそれぞれお答えください。

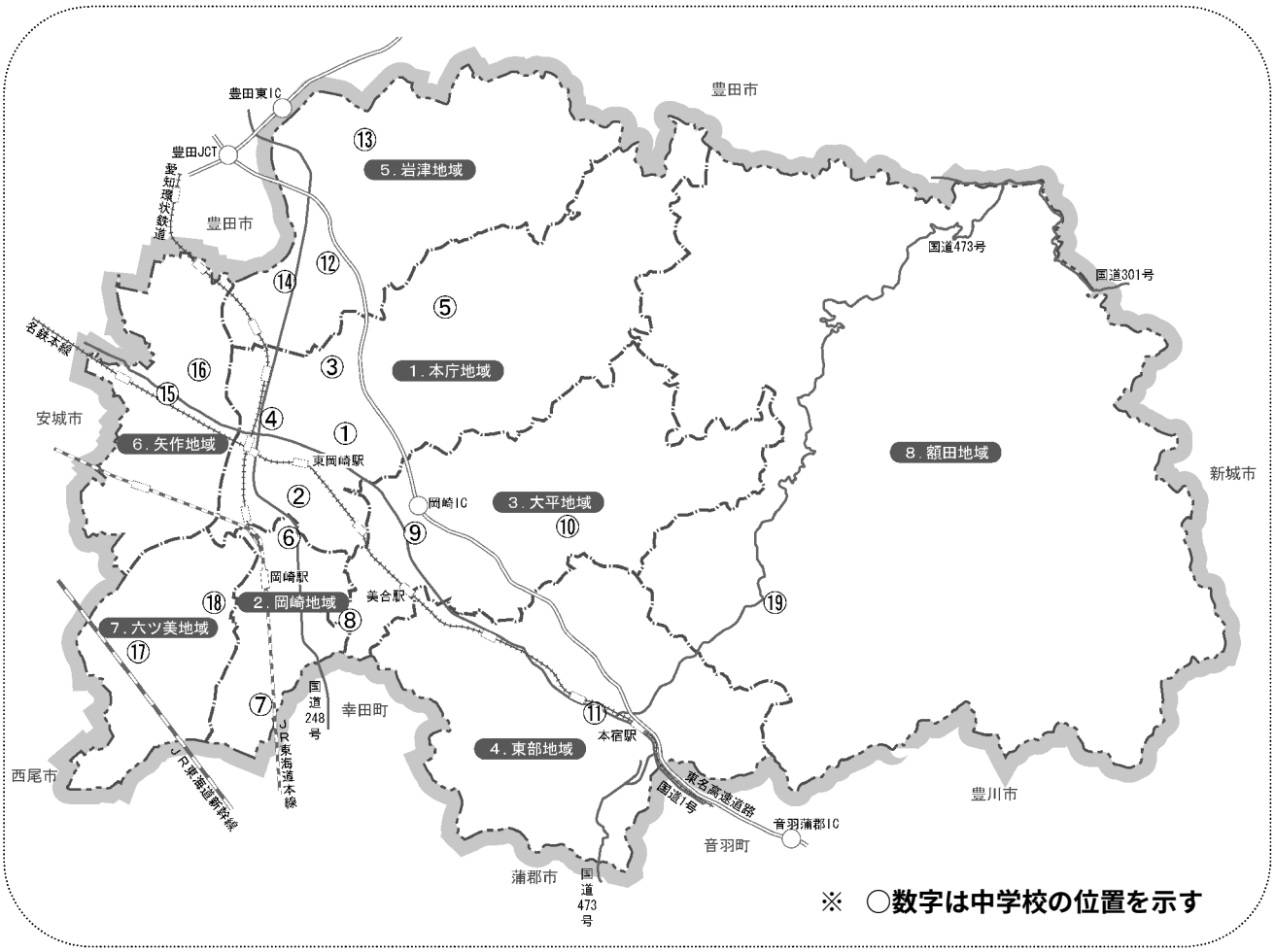
（番号を○で囲んでください）

地域（支所区域）
1.　本庁地域（本庁区域）
2.　岡崎地域（岡崎支所区域）
3.　大平地域（大平支所区域）
4.　東部地域（東部支所区域）
5.　岩津地域（岩津支所区域）
6.　矢作地域（矢作支所区域）
7.　六ツ美地域（六ツ美支所区域）
8.　額田地域（額田支所区域）

（中学校区の番号を○で囲んでください）

中学校区
①甲山、　②竜海、　③葵、　④城北、　⑤常磐
⑥南、　⑦福岡、　⑧竜南
⑨美川、　⑩河合
⑪東海
⑫岩津、　⑬新香山、　⑭北
⑮矢作、　⑯矢作北
⑰六ツ美、　⑱六ツ美北
⑲額田

地域もしくは中学校区が不明の場合は町名を記入してください。（　　）町



■<u>あなたがお住まいの地域（支所区域）</u>を、具体的にイメージしながら、以下の質問にお答えください。

問14　現在、あなたがお住まいの地域（支所区域）のまちづくりについて、どのようにお考えですか。以下のそれぞれの取り組みに係る「現状の満足度」と「今後の重要度」について、あなたのお考えに最も近いものをそれぞれ<u>1つずつ選び、その番号を○で囲んでください。</u>

設問項目 ＼ 満足度・重要度 それぞれ１つを選択		現状の満足度					今後の重要度				
		満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない
都市施設・基盤	1. 地域内の幹線道路の整備（2車線以上の幅員の大きな道路の整備）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2. 身近な道路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3. 歩道の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4. 車道と分離した歩行者専用道や散策道の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	5. 自転車道の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	6. 地域でのバス利用の利便性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	7. 公共施設や駅舎・駅周辺等における歩道の段差解消、エレベーター設置など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	8. 身近な公園の新設	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	9. 既存の公園・緑地の施設・設備の充実や緑化推進など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	10. 高齢者や若者にも住みやすい公営住宅の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	11. 山林・河川・水路等の防災対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
土地利用・居住環境など	12. 住環境上の課題対策(住宅と工場の混在、無秩序な開発、密集による防災問題など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	13. 土地区画整理などによる、道路整備と一体的な宅地の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	14. 自然環境や農地の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	15. 自然・農地・歴史文化等の地域資源を活かしたまちづくりや特色ある景観づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	16. 日常的な買い物の利便性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	17. 交通が便利な地区の土地の有効利用（主要幹線道路・駅周辺の商業立地など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
18. 地域の環境や基盤整備全般に対する総合評価（上記1～17全体の評価）		1	2	3	4	5					

問15　あなたがお住まいの地域（支所区域）のまちづくりの将来方向について、どのような「地域の資源や特性」を活かした方向をめざしていくことが重要だとお考えですか。次の中から、あなたのお考えに最も近いものを**最大4つまで選び、その番号を○で囲んでください。**

1.　山林や緑地などの緑の環境
2.　川などの水辺環境
3.　農地などの田園環境
4.　歴史的な資源
5.　商業施設等の集積
6.　工場・研究施設等の産業施設の集積
7.　中高層住宅地の集積
8.　戸建て住宅地の集積
9.　公共・公益施設の集積（教育・文化・スポーツ・保健医療・福祉等）
10. 鉄道やバス路線が整備された公共交通利用が便利な交通環境
11. 主要幹線道路やインターチェンジ等が整備された自動車利用が便利な交通環境
12. その他（具体的に　　）

G　あなた自身のことについておたずねします

問16　あなたの性別をお答えください（番号を○で囲んでください）。

1. 男性　　2. 女性

問17　あなたの年齢をお答えください（番号を○で囲んでください）。

1.　20歳代　　2.　30歳代
3.　40歳代　　4.　50歳代
5.　60歳代　　6.　70歳以上

問18　あなたの職業をお答えください（番号を○で囲んでください）。

1.　勤め人（常勤）　　2.　学生
3.　自営業・家業（農林業、商業、工業、サービス業など）
4.　パート・アルバイト　　5.　専業主婦（夫）
6.　無職　　7.　その他（　　）

問19　あなたが、市内（旧額田町含む）にお住まいになっている年数（市外へ転出され戻られた方は通算の年数）をお答えください（番号を○で囲んでください）。

1.　5年未満　　2.　5年以上10年未満
3.　10年以上20年未満　　4.　20年以上30年未満
5.　30年以上

問20　一緒に住んでいるあなたの家族構成は、次のうちどれに当てはまりますか（当てはまるもの**全て**の番号を○で囲んでください）。

1.　3歳以下の同居家族がいる	2.　4～18歳の同居家族がいる
3.　19～64歳の同居家族がいる	4.　65歳以上の同居家族がいる
5.　夫婦のみである	6.　同居家族はいない（単身である）

H　あなたの自由なご意見をお聞かせください

問21　将来に残したい・伸ばしていきたい「自然・歴史等の地域資源」がございましたら下欄に、具体的な資源の名称やセールスポイント、活かしたまちづくりのアイデア等をご記入ください。
（地域資源の例）○○山の眺望、鮎釣りが楽しめる○○川、歴史的な○○の建物、○○地区の田園風景、等

問22　岡崎市の行政施策について、ご意見・ご提案がございましたら下欄にご記入ください。

設問は以上です。最後までご回答いただき、ありがとうございました。
調査票は、同封の返信用封筒に入れてご返送ください。

岡崎市市民意識調査　報告書
平成１９年３月発行
岡崎市企画政策部企画課
岡崎市十王町２丁目９番地
TEL　0564-23-6812